

令和6年度使用

小学校・義務教育学校前期課程用  
教科用図書調査研究資料

国語

那須塩原市・那須町採択地区協議会

## 令和6年度使用小学校用教科用図書調査研究資料

| 教科用図書の記号・番号・名称                               |   |   |                                   |                           |   | 種 目  | 国 語 |
|--|---|---|-----------------------------------|---------------------------|---|--|-----|
| 1 年  | 2 年   | 3 年   | 4 年                               | 5 年                       | 6 年   | 発 行 者 名  |     |
| 国語109 110<br>新編<br>あたらしいこくご<br>一上・一下         | 国語209 210<br>新編<br>新しい国語<br>二上・二下   | 国語309 310<br>新編<br>新しい国語<br>三上・三下   | 国語409 410<br>新編<br>新しい国語<br>四上・四下 | 国語509<br>新編<br>新しい国語<br>五 | 国語609<br>新編<br>新しい国語<br>六   | 東京書籍株式会社   |     |
| 大<br>観<br>点                                  | 小<br>観<br>点   | 調 査 の 結 果   |                                   |                           |   |  |     |
|  |   | 小観点及び内容の全体的なもの  |                                   |                           |   | 各学年の特記事項   |     |
| 1<br>内<br>容<br>に<br>つ<br>い<br>て              | (1) 学習指導要領に示された目標・内容について配慮されているか。   | (1)   |                                   |                           |   | (1)  |     |
|  | ① 理解力と表現力の育成  | ① 「読むこと」の説明的な文章で学習した「言葉の力」を「情報のとびら」で整理することで、理解する力を育成することができるよう配慮されている。また「書くこと」の単元でそれらを活用して文章を書く活動を通して、書き方のポイントを明確にして表現する力を育成することができるよう工夫されている。    |                                   |                           |   | ① 2年「『どうぶつカード』を作ろう」<br>4年「『和と洋新聞』を作ろう」<br>5年「和の文化を発信しよう」     |     |
|  | ② 伝え合う力の育成  | ② 「話すこと・聞くこと」の各単元では、話し合いで注意することや方法を示すことで、対話例に沿って話し合うことを通して、目的や条件に応じて伝え合う力を育成することができるよう工夫されている。また、話し合い活動の「見通し」部分で、二次元コードを活用することで目的が明確になるよう配慮されている。 |                                   |                           |   | ② 1年「すきなきょうかをはなそう」<br>3年「グループの合い言葉を決めよう」<br>6年「話し合って考えを深めよう」 |     |
|  | ③ 思考力や想像力の育成  | ③ 「読むこと」における文学的な文章の単元では、読みの「ポイント」を手掛かりに、題名や情景描写などの表現の効果について話し合ったり、想像したことや感じたことを伝え合ったりすることを通して、思考力や想像力を育成できるように配慮されている。                            |                                   |                           |   | ③ 2年「お手紙」<br>4年「ごんぎつね」<br>6年「模型のまち」                          |     |
| ④言葉がもつよさについての理解及び言語感覚を豊かにすること                | ④ 「言葉相談室」では、日本語の文法や語彙について普段の生活でも誤りやすい具体例を示し、よりよい日本語の表現のために、知識を得たり特徴について理解したりすることができるよう工夫されている。さらに、巻末資料「言葉の広場」もあり、言語感覚を豊かにしようと工夫されている。 |   |                                   |                           | ④ 2～6年「言葉相談室」<br>各学年「言葉の広場」   |  |     |
| (2) 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるよう配慮されているか。 | (2) 各単元に「見通す」、「取り組む」、「ふり返る」を示すことで課題解決的な学習に主体的に取り組むことができるよう配慮されている。また、各単元の終末に友達との伝え合いが設定され、対話を通して自分の考えが深められるよう工夫されている。                 |   |                                   |                           | (2) 1年「おもい出してかこう」<br>2年「みんなで話し合おう」<br>3年「クラスの思い出作りのために」<br>4年「わたしたちのクラスの『生き物図かん』」<br>5年「問題を解決するために話し合おう」<br>6年「海のいのち」 |  |     |
| (3) 読書習慣の形成に配慮されているか。                        | (3) 児童が興味・関心をもてるような本を多く掲載し、本の紹介に著名人の読書体験エッセーを併記することで、作者・筆者のものの見方や考え方に触れ、読書する楽しさを実感することができるよう配慮されている。                                  |   |                                   |                           | (3) 各学年「本は友達」   |  |     |
| (4) 我が国の言語文化に親しめるよう配慮されているか。                 | (4) 昔話や俳句、百人一首、古典芸能などを取り上げることで、伝統的な言語文化に親しめるように配慮されている。また、古典や古典芸能などの写真や解説を載せ、理解を深めることができるよう工夫されている。                                   |   |                                   |                           | (4) 各学年「伝えたい言の葉」<br>1年「むかしばなしをたのしもう」<br>4年「百人一首に親しもう」<br>6年「古典芸能への招待状」  |  |     |

| 大観点                           | 小観点                            | 調 査 の 結 果   |   |
|-------------------------------|--------------------------------|---|---|
|                               |                                | 小観点及び内容の全体的なもの  | 各学年の特記事項  |
| 2<br>程度・<br>選択・<br>取扱<br>について | (1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。   | <p>(1)・説明的な文章など「読むこと」や「書くこと」の学習では、SDGsなどの様々な現代的諸課題に関連の深い題材を取り上げ、児童の興味・関心を引き出すことができるように配慮されている。</p> <p>・大きな挿し絵や写真を掲載することで、児童の興味・関心をもたせたり、理解を深めたりできるよう配慮されている。</p> <p>・視覚化や動作化を取り入れることで、児童がつまずきやすい拗音や促音などの特殊音節について、音節と文字の関係を分かりやすく理解することができるよう配慮されている。さらに、拗音や促音を横書きでも書くことができるように関連が図られている。</p>          | <p>(1)・5年「インターネットは冒険だ」<br/>6年「『永遠のごみ』プラスチック」<br/>「発信しよう、私たちのSDGs」</p> <p>・2年「あなのやくわり」</p> <p>・1年「ねことねっこ」<br/>「いしやといしゃ」</p>  |
|                               | (2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。 | <p>(2)・巻末には、「新しく習った漢字」の使い方を豊富な熟語や文例とともに示すことで、正しい漢字の使い方を身に付けることができるよう配慮されている。また、「小学校で習う漢字」では音読み・訓読みそれぞれを合わせて五十音順に掲載され、関連が図られている。</p> <p>・二次元コードを読み込むことによって、学習に関連する様々なデジタル資料が見ることができ、今までの学習をふり返り定着を図り、さらに理解を深めることができるよう工夫されている。</p> <p>・児童が興味・関心をもてる著名人からの児童へのメッセージを掲載し、主体的に物事を考えるきっかけになるよう配慮されている。</p> | <p>(2)・各学年「新しく習った漢字」</p> <p>・2～6年「言葉の相談室」<br/>2年「みんなで話し合おう」<br/>6年「話し合って考えを深めよう」<br/>各学年付録「デジタル資料を活用」<br/>・2～6年「未来を生きる君へ」</p>   |
| 3<br>組織・<br>配列等<br>について       | (1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。     | <p>(1)・単元で身に付けたい「言葉の力」を冒頭で提示し、また終末に再度確認することができるように構成され、言葉を学ぶ学習であることを意識付けることができるように工夫されている。</p> <p>・「書くこと」の教材の前に「情報のとびら」を配置することで、情報を整理し、「読むこと」の説明的な文章で学習したことを「書くこと」の学習につなげることができるよう工夫されている。</p>  | <p>(1)・各学年「言葉の力」</p> <p>・共通「情報のとびら」</p>   |
|                               | (2) 他教科等との関連について配慮されているか。      | <p>(2)・「言葉の力」を活用する場面が「生かそう」で具体的に示され、他教科等と関連付けた学習を展開することができるよう配慮されている。</p> <p>・高学年の説明文では、インターネットやAIなどに関する教材を取り上げることにより、情報の扱い方への意識を高めることができるよう配慮されている。</p>  | <p>(2)・1年「子どもをまもるどうぶつたち」<br/>2年「町で見つけたことを話そう」<br/>3年「自然のかくし絵」<br/>4年「ヤドカリとイソギンチャク」<br/>5年「地域のみりよくを伝えよう」<br/>6年「『永遠のごみ』プラスチック」</p> <p>・5年「インターネットは冒険だ」<br/>「弱いロボットだからできること」<br/>6年「インターネットの投稿を読み比べよう。」</p> |

令和6年度使用小学校用教科用図書調査研究資料

| 教科用図書の記号・番号・名称                               |                                       |  |   |                                     |                                     | 種 目      | 国 語      |
|--|---------------------------------------|--|---|-------------------------------------|-------------------------------------|----------|----------|
| 1 年  | 2 年                                   | 3 年  | 4 年   | 5 年                                 | 6 年                                 | 発 行 者 名  |          |
| 国語111 112<br>ひろがることば<br>しょうがくこくご<br>一上・一下    | 国語211 212<br>ひろがることば<br>小学国語<br>二上・二下 | 国語311 312<br>ひろがる言葉<br>小学国語<br>三上・三下   | 国語411 412<br>広がる言葉<br>小学国語<br>四上・四下   | 国語511 512<br>広がる言葉<br>小学国語<br>五上・五下 | 国語611 612<br>広がる言葉<br>小学国語<br>六上・六下 | 教育出版株式会社 |          |
| 大<br>観<br>点                                  | 小 観 点                                 |  | 調 査 の 結 果   |                                     |                                     |          |          |
|  |                                       |  | 小観点及び内容の全体的なもの  |                                     |                                     |          | 各学年の特記事項 |
| 1<br>内<br>容<br>に<br>つ<br>い<br>て              | (1) 学習指導要領に示された目標・内容について配慮されているか。     |  | (1)   |                                     |                                     |          |          |
|  | ① 理解力と表現力の育成                          |  | ① 「たしかめよう」「くわしくよもう」の段階で、理解力の育成を図り、「まとめよう」「つたえあおう」の段階で感想をまとめ、友達に伝える等の表現力の育成を図ることができるよう配慮されている。 |                                     |                                     |          |          |
|  | ② 伝え合う力の育成                            |  | ② 「読むこと」の単元では、文学的な文章・説明的な文章において、どの単元でも「つたえあおう」という学習活動へと展開することで、年間をとおして伝えあう力を育成できるように工夫されている。  |                                     |                                     |          |          |
|  | ③ 思考力や想像力の育成                          |  | ③ 学習内容と「ここが大事→P.95」、「言葉→P.94」など学習を紐付ける表示がされ、自らの学習の進め方をわかりやすくする配慮されている。                        |                                     |                                     |          |          |
| ④ 言葉がもつよさについての理解及び言語感覚を豊かにすること               |                                       | ④ 単元末の「！ここが大事」により、言葉の効果的な表現やその役割についての理解を深めることができるように配慮されている。   |   |                                     |                                     |          |          |
| (2) 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるよう配慮されているか。 |                                       | (2) 単元を通して学習したことをもとに、言葉に注目し、語彙をふやす活動が取り入れられている。さらに教材と関連させた学習用語を取り上げ、自分の学習に生かせるように項立てする工夫されている。   |   |                                     |                                     |          |          |
| (3) 読書習慣の形成に配慮されているか。                        |                                       | (3) 「読書の広場」は関連する本の紹介のみならず、読後の感想を話し合ったり、おすすめの本をスピーチしたりする活動へとつなげる内容となっており、表現力育成への工夫されている。  |   |                                     |                                     |          |          |
| (4) 我が国の言語文化に親しめるよう配慮されているか。                 |                                       | (4) 「言葉の文化」という小単元を年間通して配置し、学年段階に応じて、俳句、古典、ことわざなどにふれることができるよう配慮されている。   |   |                                     |                                     |          |          |
|  |                                       | ① 2年「はるねこ」(物)<br>4年「花を見つける手がかり」(説)<br>5年「まんがの方法」(説)<br>6年「川とノリオ」(物)<br><br>② 2年「きつねのおきやくさま」<br>5年「大造じいさんとがん」<br>6年「きつねの窓」<br><br>③ 3年「川をつなぐちえ」<br><br>④ 5年「大造じいさんとがん」<br>2年「ないた赤おに」<br><br>(2)各学年<br>付録「言葉の工具箱」・言葉の木<br><br>(3)各学年「読書の広場」<br>1年「にほんのおはなし<br>がいくのおはなし」<br>2・3・4・5・6年<br>「ひろがる読書の世界」<br><br>各学年「〇年生で読みたい本」<br><br>(4)各学年「言葉の文化」<br>2年「回文をたのしもう」<br>3年「俳句に親しむ」<br>4年「短歌の世界」<br>5年「漢文に親しむ」<br>6年「春はあけぼの」 |   |                                     |                                     |          |          |

| 大観<br>点   | 小観<br>点                        | 調 査 の 結 果  |  |
|---|--------------------------------|--|--|
|   |                                | 小観点及び内容の全体的なもの   | 各学年の特記事項   |
| 2<br>程<br>度<br>・<br>選<br>択<br>・<br>取<br>扱<br>に<br>つ<br>い<br>て | (1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。   | (1) ・説明的文章や「話すこと・聞くこと」の単元では、児童の発達段階に合わせた友達との関わり方や生活に結び付いた身近な題材が多い。また、題材をもとに児童が興味関心をもったり、自分の経験と関連付けながら考えたりできるように配慮されている。<br><br>・各学年の始めの単元では、新しい出会いを意識した内容があり、対話を中心とした活動で学習が進められるように配慮されている。また低学年では、声の大きさを視覚的に分かりやすく扱われていたり、各学年ですごろくやビンゴなどのゲームを通じて、テーマに合わせて楽しく対話したりできるように工夫されている。                                 | (1) ・1年「みぶりでつたえる」<br>2年「クラスお楽しみ会をひらこう」<br>3年「わたしのたからもの」<br>4年「ぞうの重さを量る」<br>5年「ことなる見方」<br>6年「アイスは暑いほどおいしい？」<br><br>・1年「くまさんとありさんのあいさつ」<br>2年「すごろくトーク」<br>3年「じこしょうかいビンゴゲーム」<br>4年「つないで つないで」<br>5年「見つけたよ！」<br>「自分との会話」 |
|   | (2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。 | (2) ・説明的文章や物語的文章と「書くこと」や「話すこと・聞くこと」の題材を関連させた単元を設定することで、「読むこと」での学習が「書くこと」「話すこと・聞くこと」に活用できるように工夫されている。<br><br>・巻末の付録においては、漢字や言葉の内容を扱い語彙力を高めたり、各学年に合わせた内容の読み物教材を紹介して、児童の読書への興味関心を高めたりすることができるように配慮されている。  | (2) ・2年「すみれとあり」<br>「『生きものクイズ』でしらせよう」<br>4年「くらしを便利にするために」<br>「『便利』をさがそう」<br><br>・各学年巻末<br>「楽しく読もう」<br>「言葉の道具箱」<br>「漢字を学ぼう」  |
| 3<br>組<br>織<br>・<br>配<br>列<br>等<br>に<br>つ<br>い<br>て           | (1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。     | (1) ・「書くこと」では、年間を通して身近な内容から始まり、新聞や手紙などの社会とのつながりの深い内容を扱ったり、物語や俳句などの想像を広げる内容を扱ったりして、年度末には学習のまとめを位置付けている。一年間の学習のつながりや学年間のつながりを意識して学習できるように工夫されている。<br><br>・物語的文章の後に「読書の広場」を位置付けたり、「漢字の広場」や「言葉の広場」で大単元の間で、漢字や言葉の学習の補充を位置付けたりして、児童の読書に対する興味関心や語彙力を高めることができるように工夫されている。また、巻末の「言葉の木」では、発達段階に合わせて、多くの言葉に触れられるように配慮されている。 | (1) ・6年「言葉と私たち」<br>「考えや図を表に」<br>「みんなで作ろうパンフレット」<br>「あなたは作家」<br>「十二歳の主張」<br>「6年間の思い出をつづろう」<br><br>・各学年「言葉の木」<br>「読書の広場」<br>「漢字の広場」<br>「言葉の広場」<br>「言葉の文化」  |
|   | (2) 他教科等との関連について配慮されているか。      | (2) ・説明的な文章や「書くこと」の内容を中心として、生活科や総合的な学習の時間、社会科などに関連した題材を取り上げている。また、観察カードの書き方を扱い、生活科での学習に活用できるようにしたり、環境や福祉、SDGsに関する内容を扱い総合的な学習の時間の調べ学習などに活用したりすることができるように配慮している。   | (2) ・1年「しらせたい、いきもののひみつ」<br>2年「おもちゃのせつめい書を書こう」<br>3年「くらしと絵文字」<br>4年「くらしをべんりにするために」<br>5年「世界遺産 白神山地からの提言」<br>6年「雪は新しいエネルギー」  |

## 令和6年度使用小学校用教科用図書調査研究資料

| 教科用図書の記号・番号・名称                                |  |   |  |                     |                     | 種 目   | 国 語 |
|---|--|---|--|---------------------|---------------------|---|-----|
| 1 年   | 2 年  | 3 年                                       | 4 年  | 5 年                 | 6 年                 | 発 行 者 名   |     |
| 国語 113 114<br>こくご一上<br>かざぐるま<br>こくご一下<br>ともだち | 国語 213 214<br>こくご二上<br>たんぼぼ<br>こくご二下<br>赤とんぼ         | 国語 313 314<br>国語三上<br>わかば<br>国語三下<br>あおぞら | 国語 413 414<br>国語四上<br>かがやき<br>国語四下<br>はばたき   | 国語 513<br>国語五<br>銀河 | 国語 613<br>国語六<br>創造 | 光村図書出版株式会社  |     |
| 大<br>観<br>点                                   | 小 観 点  |   | 調 査 の 結 果  |                     |                     |   |     |
|   |  |   | 小観点及び内容の全体的なもの   |                     |                     | 各学年の特記事項  |     |
| 1<br>内<br>容<br>に<br>つ<br>い<br>て               | (1) 学習指導要領に示された目標・内容について配慮されているか。<br><br>①理解力と表現力の育成 |   | (1)<br><br>①「書くこと」の教材では、説明的な文章で学んだ内容を活用して表現する活動を示すことで、必要な情報を整理し、伝えたいことが明確に表現することができるよう工夫されている。   |                     |                     | (1)<br><br>① 1年「じどうしゃくらべ」<br>2年「おもちゃの作り方を説明しよう」<br>3年「すがたをかえる大豆」<br>「食べもののひみつを教えてください」<br>4年「工芸品のみりよくを伝えよう」<br>5年「自然環境を守るために」<br>6年「発見、日本文化のみりよく」 |     |
|   | ②伝え合う力の育成  |   | ②「話すこと・聞くこと」の単元では、学年に応じて、ペアやグループ学習などで大切にするとところの考えを明確にできるよう配慮されている。また、話し合いの活動後、感想を伝え合うだけでなく、次の話し合いに生かすためのポイントが取り上げられている。  |                     |                     | ② 3年「おすすめの一さつを決めよう」<br>5年「よりよい学校生活のために」   |     |
|   | ③思考力や想像力の育成  |   | ③「読むこと」における文学的文章の教材では、「問いをもとう」において、自分の考えを意識してもつことができるように工夫している。  |                     |                     | ③ 2年「ふきのとう」<br>5年「銀色の裏地」  |     |
|   | ④言葉がもつよさについての理解及び言語感覚を豊かにすること                        |   | ④言葉がもつよさを考えさせる教材では、相手に伝わらなかった場面を具体的に想起させ、言葉が持つ意味の違いに気付きやすいよう配慮されている。   |                     |                     | ④ 2年「ようすをあらわすことば」<br>3年「つたわる言葉であらわそう」<br>5年「言葉を使い分けよう」  |     |
|   | (2) 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるよう配慮されているか。         |   | (2) 各単元に「問いをもとう」、「目標」、「学習過程」を提示することで、各自が取り組むべき課題を明確にするよう配慮されている。また、「深い学び」の実現のために「習得・活用・探求」が計画的に指導されるよう「とらえよう・ふかめよう・まとめよう・ひろげよう」という段階をおって指導できるよう配慮されている。                    |                     |                     | (2)各単元「どうやって学んでいくのかな」<br>3年「すがたをかえる大豆」<br>4年「白いぼうし」   |     |
|   | (3) 読書習慣の形成に配慮されているか。                                |   | (3) 各単元に「この本を読もう」が示されていることで、作者や単元に関連した本が紹介されている。各学年「本は友達」という単元が示されており、学年に応じた読書習慣が形成されるように配慮されている。  |                     |                     | (3)<br>・各学年「この本を読もう」<br>「本は友達」  |     |
|   | (4) 我が国の言語文化に親しめるよう配慮されているか。                         |   | (4) 神話や短歌・俳句、古典文学など伝統的な言語文化を発達段階に合わせた方法で親しめるよう配慮されている。低学年では音読や身振りを通して言葉の豊かさに気付き、中学年では、慣用語や故事成語を作成する活動を通して自ら使えるようになり、高学年では、古人と自分を対比させる活動を通して昔の人のもの見方や感じ方を知ることができるよう配慮されている。 |                     |                     | (4) 3年 ことわざ・故事成語<br>5年 浦島太郎「御伽草子」より   |     |

| 大観点                           | 小観点                            | 調 査 の 結 果  |   |
|-------------------------------|--------------------------------|--|---|
|                               |                                | 小観点及び内容の全体的なもの   | 各学年の特記事項  |
| 2<br>程度・<br>選択・<br>取扱<br>について | (1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。   | (1) ・文学や説明文の内容や文章量が、学年の発達に応じて配慮されている。<br><br>・低学年では、身近なことを表す語句が、中学年では様子や行動、気持ちや性格を表す語句が、また高学年では思考に関わる語句が豊富に用いられ、発達の段階に配慮されている。   | (1) ・文学的な文章<br>1年「ずうっと、ずっと、大すきだよ」<br>2年「みきのたからもの」<br>3年「まいごのかぎ」<br>4年「友情のかべ新聞」<br>5年「銀色の裏地」<br>6年「ぼくのブック・ウーマン」<br><br>・説明的な文章<br>1年「つぼみ」<br>2年「ロボット」<br>3年「ありの行列」<br>4年「風船で宇宙へ」<br>5年「固有種が教えてくれること」<br>6年「インターネットでニュースを読もう」 |
|                               | (2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。 | (2) ・各単元の冒頭にある「たしかめよう」に、これまでに学んだことを振り返ることができる単元名が記されている。また、単元の終末にある「生かそう」には本単元で学んだことを生かせる活動が例示され発展的な学習につながるように配慮されている。<br><br>・巻末にある「言葉のたから箱」には自分の表現を豊かにする言葉の例が豊富に掲載されている上、二次元コードで遡って「言葉のたから箱」を見ることができ、児童が理解を深められるよう工夫されている。 | (2) ・1～6年 大単元<br><br>・各学年「言葉のたから箱」  |
| 3<br>組織・<br>配列等<br>について       | (1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。     | (1) ・巻末の「図を使って考えよう」では、全ての学年で発達の段階に即した考えの整理の仕方や伝え方が提示することで、児童の思考力・判断力の向上を図ることができるよう工夫されている。<br><br>・「問いをもとう」「目標」「ふりかえろう」と学習過程を明示することで、段階を踏んだ系統的な学習ができるよう工夫されている。  | (1) ・各学年「図を使って考えよう」<br><br>・各学年単元「問いをもとう」「目標」「ふりかえろう」   |
|                               | (2) 他教科等との関連について配慮されているか。      | (2) ・各教科等で学習する内容と関連する題材を取り上げたり、各教科等での活用場面を示したりすることで、他教科等で学んだことを生かすことができるよう配慮されている。   | (2)<br>・1年「どうぶつの赤ちゃん」<br>2年「かんざつ名人になろう」<br>3年「わたしの町のよいところ」<br>4年「パンフレットを読もう」<br>「都道府県の旅」<br>「未来につなぐ工芸品」<br>5年「固有種が教えてくれること」<br>「自然環境を守るために」<br>6年「日本語の特徴」   |

令和6年度使用

小学校・義務教育学校前期課程用  
教科用図書調査研究資料

書 写

那須塩原市・那須町採択地区協議会

## 令和6年度使用小学校用教科用図書調査研究資料

| 教科用図書の記号・番号・名称                  |  |                             |  |                             |                             | 種 目  | 書 写 |
|---------------------------------|--|-----------------------------|--|-----------------------------|-----------------------------|--|-----|
| 1 年                             | 2 年  | 3 年                         | 4 年  | 5 年                         | 6 年                         | 発 行 者 名  |     |
| 書写 106<br>新編<br>あたらしい しょしゃ<br>一 | 書写 206<br>新編<br>新しい しょしゃ<br>二  | 書写 306<br>新編<br>新しい 書写<br>三 | 書写 406<br>新編<br>新しい 書写<br>四  | 書写 506<br>新編<br>新しい 書写<br>五 | 書写 606<br>新編<br>新しい 書写<br>六 | 東京書籍株式会社   |     |
| 大<br>観<br>点                     | 小 観 点  |                             | 調 査 の 結 果  |                             |                             | 各学年の特記事項   |     |
|                                 |  |                             | 小観点及び内容の全体的なもの   |                             |                             |  |     |
| 1<br>内<br>容<br>に<br>つ<br>い<br>て | (1) 学習指導要領に示れた目標・内容について配慮されているか。<br><br>〔1・2年〕<br>「姿勢」<br>「筆記具の持ち方」<br>「点画の書き方」<br>「文字の形」<br>「筆順」<br><br>〔3・4年〕<br>「文字の組立て方」<br>「漢字・仮名の大きさ」<br>「配列」<br>「点画の書き方」<br><br>〔5・6年〕<br>「目的に応じた書き方」 |                             | (1)<br><br>〔1・2年〕<br>・ 姿勢や筆記具の持ち方について、イラストや写真とあわせて、児童に伝わりやすい音を使った言葉で説明することで、児童が確かめながら学習することができるよう配慮されている。<br><br>・ 点画の書き方や文字の形について、注目してほしい部分に色が付けられていたり、文字の形の特徴をイラストを用いて説明したりすることで、児童が学習内容を理解することができるよう配慮されている。<br><br>〔3・4年〕<br>・ 毛筆の点画について、書き始めや書き終わりの筆圧の大きさや筆先の角度をイラストで表されており、児童が点画の書き方を理解することができるよう配慮されている。<br><br>・ 文字の組み立て方について、「土地」や「竹笛」という題材により、一字の漢字がへんやかんむりに変化したときの特徴を理解することができるよう工夫されている。<br><br>〔5・6年〕<br>・ 目的に応じた書き方については、「生活に広げよう」で様々な事例が示されており、目的や場面に応じて文字の大きさや筆記具、用紙などに気を付けて書くことができるよう配慮されている。 |                             |                             | (1)<br><br>〔1・2年〕<br>1年「はじめに」<br>2年「しせい・もち方」<br><br>1年「むすび」<br>2年「はらいのほうこう」<br><br>〔3・4年〕<br>1年「むすび」<br>3・4年「毛筆で書いてみよう」<br><br>3・4年「組み立て方」<br><br>〔5・6年〕<br>5・6年「生活に広げよう」<br>5年「目的に合った筆記具」 |     |
|                                 | (2) 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるよう配慮されているか。   |                             | (2)<br><br>・ 各単元のはじめには、整った文字を書くためにはどうしたらよいか「書写のかぎ」を見つける問題があり、主体的に学習に課題を見つけることができるよう配慮されている。<br><br>・ 各単元に対話的な学習を促す設問があり、児童同士などの対話を通して、自分の考えを深めることができるよう工夫されている   |                             |                             | (2)<br><br>3年「横画」<br>6年「点画のつながり」<br><br>4年「画の長さの間かく」<br>5年「漢字どうしの大きさ」  |     |
|                                 | (3) 挿絵や写真等は、内容に対応した適切なものであるか。  |                             | (3)<br><br>・ 筆記具の持ち方の写真が児童の目線で示されており、自身の持ち方と教科書の持ち方を比べ、正しい持ち方を身に付けることができるよう工夫されている。また、左利きの児童についても道具の置き方が掲載されるなど、ユニバーサルデザインに関連が図られている。  |                             |                             | (3)<br><br>1年「かきやすいもちかた」<br>3年「毛筆で書いてみよう」  |     |

| 大観点               | 小観点                            | 調 査 の 結 果      |          |
|-------------------|--------------------------------|----------------|----------|
|                   |                                | 小観点及び内容の全体的なもの | 各学年の特記事項 |
| 2<br>程度・選択・取扱について | (1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。   | (1)            | (1)      |
|                   | (2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。 | (2)            | (3)      |
| 3<br>組織・配列等について   | (1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。     | (1)            | (1)      |
|                   | (2) 他教科等との関連について配慮されているか。      | (2)            | (2)      |

## 令和6年度使用小学校用教科用図書調査研究資料

| 教科用図書の記号・番号・名称                  |  |                       |   |   |  | 種 目  | 書 写 |
|---------------------------------|--|-----------------------|---|---|--|--|-----|
| 1年                              | 2年   | 3年                    | 4年  | 5年  | 6年   | 発 行 者 名  |     |
| 書写 107<br>しょうがく しょしゃ<br>一ねん     | 書写 207<br>小学 しょしゃ<br>二年  | 書写 307<br>小学 書写<br>三年 | 書写 407<br>小学 書写<br>四年   | 書写 507<br>小学 書写<br>五年   | 書写 607<br>小学 書写<br>六年  | 教育出版株式会社   |     |
| 大<br>観<br>点                     | 小 観 点  |                       | 調 査 の 結 果   |   |  |  |     |
|                                 |  |                       | 小観点及び内容の全体的なもの  |   |  | 各学年の特記事項   |     |
| 1<br>内<br>容<br>に<br>つ<br>い<br>て | (1) 学習指導要領に示れた目標・内容について配慮されているか。   |                       | (1)   |   |  |  |     |
|                                 | <p>[1・2年]</p> <p>「姿勢」<br/>「筆記具の持ち方」<br/>「点画の書き方」<br/>「文字の形」<br/>「筆順」</p> <p>[3・4年]</p> <p>「文字の組立て方」<br/>「漢字・仮名の大きさ」<br/>「配列」<br/>「点画の書き方」</p> <p>[5・6年]</p> <p>「目的に応じた書き方」</p> |                       | <p>[1・2年]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>姿勢や筆記具の持ち方について、写真・イラストを使って確かめられるように配慮されている。また、「びた」「とん」などの言葉でも表し、低学年の児童が正しい方法をイメージしやすくする工夫されている。</li> </ul> <p>[3・4年]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>点画の書き方について、色や記号を使い筆使いや筆圧、穂先の向きを示すことで、児童が点画の書き方を理解できるよう配慮されている。また、文字の組み立て方を分かりやすくするために、線で囲んだり、色別に表したりするなど配慮されている。</li> </ul> <p>[5・6年]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>毛筆は手本となるページに動画の二次元コードがあり、運筆を自分で確かめることができるよう、工夫されている。</li> <li>「文字の世界」や「レッツ・トライ」があり、知識や学習の幅を広げるページがあり、筆記具の選び方や罫紙の使い方についても配慮されている。</li> </ul> | <p>[1・2年]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1・2年「はじめのがくしゅう」<br/>1年「かくのおわりのかきかた」<br/>2年「画の方こう」</li> </ul> <p>[3・4年]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3年「横画の筆使い」<br/>「たて画筆使い」<br/>4年「点画の筆使い」<br/>「文字の組み立て方」</li> </ul> <p>[5・6年]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>5年「文字の組み立て方」<br/>6年「文字の大きさと配列」</li> <li>5・6年「知りたい文字の世界」<br/>「レッツ・トライ」</li> </ul> |  |  |     |
|                                 | (2) 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるよう配慮されているか。   |                       | (2)   | <ul style="list-style-type: none"> <li>各單元には「めあて」と「ふりかえろう」が示されており、児童が見通しをもって学習に取り組めるよう配慮されている。また、終末の「ふりかえろう」で、「めあて」に対する自己評価をすることで、主体的な学びができるよう配慮されている。</li> <li>「ここが大切」では、文字の整え方や釣り合いの取り方が分かりやすく説明され、要点が捉えやすくなるよう工夫されている。</li> </ul>  |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>各学年<br/>2年「画の方こう」</li> <li>3年「ひらがなの筆使い」<br/>4年「文字の組み立て方(左右)」</li> </ul> |     |
| (3) 挿絵や写真等は、内容に対応した適切なものであるか。   |  | (3)                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>当該学年の児童が友達と一緒に学んでいる写真は、書写を通して交流する楽しさや学び甲斐を想起させるものになるよう配慮されている。また、筆記用具や毛筆に関する知識を習得できるよう、用具制作中の写真が取り上げられている。</li> </ul>  |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>各学年<br/>2年「文字をくらべて話し合おう」<br/>4年「ふり返り 伝え合おう」<br/>6年「紙・すずり・すみの作り方」</li> </ul> |  |     |

| 大観<br>点   | 小<br>観<br>点                    | 調 査 の 結 果  |  |
|---|--------------------------------|--|--|
|   |                                | 小観点及び内容の全体的なもの   | 各学年の特記事項   |
| 2<br>程<br>度<br>・<br>選<br>択<br>・<br>取<br>扱<br>に<br>つ<br>い<br>て | (1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。   | (1) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学年の発達段階に応じて、姿勢や鉛筆の持ち方を、分かりやすい言葉「びたっ」「すうっと」などの擬態語や写真などを使って説明することで、基礎的な技術が習得できるよう工夫されている。</li> <li>・ 漢字の成り立ちや活字の形、文字の歴史など、日常生活の中で文字が使われている様々な場面を取り上げることで、文字に対する興味・関心を高められるよう工夫されている。</li> </ul> | (1) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各学年 「はじめの学習」</li> <li>・ 各学年「知りたい 文字の世界」<br/>1・2年「なんのかたちからでき たかん字かな」<br/>3年「手書き文字と活字」<br/>4年「さまざまなかるた」<br/>5年「平仮名のもとになる漢字」<br/>6年「文字の旅」</li> </ul> |
|   | (2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。 | (2) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「レッツトライ」として、暑中見舞いや年賀状を書く内容が扱われ、学習のまとめとして「書きぞめ」のほかに「書いて 伝え合おう」という単元が設定されており、書写で学習したことを生活や授業の中で活用することができるように工夫されている。</li> <li>・ 「学習活動で生かす」として、書写の学習で学んだことの活かし方を紹介し、活用の仕方を具体的に提示している。</li> </ul> | (2) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各学年<br/>「レッツトライ」<br/>「学習のまとめ」</li> <li>・ 各学年<br/>「学習活動で生かす」</li> </ul>  |
| 3<br>組<br>織<br>・<br>配<br>列<br>等<br>に<br>つ<br>い<br>て           | (1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。     | (1) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各学年の学習のまとめなどでは、次の学年の学習に触れ、学年ごとの学習のつながりが分かるように配慮されている。</li> <li>・ 各単元に、統一された学習の進め方が明記されており、見直しをもって学習に取り組めるように工夫されている。</li> </ul>   | (1) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各学年 「学習のまとめ」</li> <li>・ 各学年 「学習の進め方」</li> </ul>   |
|   | (2) 他教科等との関連について配慮されているか。      | (2) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 掲示物のまとめ方やノートの書き方などの例を掲載することで、身に付けた書写の知識・技能を生かす方法が具体的に記載され、他教科と関連付けながら学習を進めることができるように工夫されている。</li> </ul>   | (2) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各学年「レッツ・トライ」<br/>1年「あさがおのかんさつカード」<br/>2年「算数ノート」<br/>3年「作品カード」<br/>4年「理科のノート」<br/>5年「SDGsのポスター」<br/>6年「校外学習のリーフレット」</li> </ul>                     |

## 令和6年度使用小学校用教科用図書調査研究資料

| 教科用図書の記号・番号・名称                  |   |                 |  |                 | 種 目   | 書 写        |
|---------------------------------|---|-----------------|--|-----------------|---|------------|
| 1 年                             | 2 年   | 3 年             | 4 年  | 5 年             | 6 年   | 発 行 者 名    |
| 書写 108<br>しよしゃ<br>一ねん           | 書写 208<br>しよしゃ<br>二年  | 書写 308<br>書写 三年 | 書写 408<br>書写 四年  | 書写 508<br>書写 五年 | 書写 608<br>書写 六年   | 光村図書出版株式会社 |
| 大<br>観<br>点                     | 小 観 点   |                 | 調 査 の 結 果  |                 |   |            |
|                                 |   |                 | 小観点及び内容の全体的なもの   |                 | 各学年の特記事項  |            |
| 1<br>内<br>容<br>に<br>つ<br>い<br>て | (1) 学習指導要領に示された目標・内容について配慮されているか。<br><br>〔1・2年〕<br>「姿勢」<br>「筆記具の持ち方」<br>「点画の書き方」<br>「文字の形」<br>「筆順」<br><br>〔3・4年〕<br>「文字の組立て方」<br>「漢字・仮名の大きさ」<br>「配列」<br>「点画の書き方」<br><br>〔5・6年〕<br>「目的に応じた書き方」 |                 | (1)<br><br>〔1・2年〕<br>・ 姿勢について、イラストと写真に「べったん」「びん」「ぐう」といった擬態語を添えることで、児童が覚えやすいように配慮されている。タブレット使用後の整理体操の仕方が取り上げられている。<br><br>・ 点画について、整った文字を書くためのポイントがイラストや動画を用いることで理解しやすいよう配慮されている。<br><br>〔3・4年〕<br>・ 配列について、読みやすく書かれたノートを掲載し、行間や字間など全体的なバランスを考えたノート作りに気付けるよう配慮されている。<br><br>〔5・6年〕<br>・ 委員会のポスターの良い例と悪い例を比較させ、情報の伝わりやすさについて考えられるよう配慮されている。<br><br>・ 筆、フェルトペン、ボールペンの筆跡を写真で示し、内容によって筆記具を変えることで情報が整理され、相手に伝わりやすい文章が書けるよう配慮されている。 |                 | (1)<br><br>〔1・2年〕<br>1年「じをかくしせい」<br>2年「字を書くしせい」<br><br>1年「かきはじめとかきおわり」<br>2年「点や画の間」<br><br>〔3・4年〕<br>4年「文字の配列 ノートの達人になろう」<br><br>〔5・6年〕<br>6年「文字の配列 伝えるって、どういうこと？」<br><br>6年「書写広げたい パンフレットの書き方」 |            |
|                                 | (2) 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるよう配慮されているか。  |                 | (2)<br><br>・ 全学年には、学年の実態に合った「ふりかえり」が取り上げられている。また、3年生以降では「ねらい」が明確に示されており、児童が見通しをもって学習に取り組み、知識や技能の定着を図ることができるよう配慮されている。<br><br>・ 各単元に動画の視聴ができる二次元コードがあり、分からないところや復習したいところを自ら学習できるように配慮されている。   |                 | (2)<br><br>・ 各学年「ねらい」「ふりかえり」<br><br>・ 各学年 二次元コード  |            |
|                                 | (3) 挿絵や写真等は、内容に対応した適切なものであるか。   |                 | (3)<br><br>・ 筆使いや筆圧をイラストや写真を用いて示されており、児童が実際に書くときに意識して書くことができるよう配慮されている。<br><br>・ 書写の学習を活用した新聞やポスターなどの作品例が示されており、文字の大きさや配列を意識して書くことの効果について、理解を深めることができるよう工夫されている。   |                 | (3)<br><br>・ 3年「力のいれ方」<br>4年「点画の種類」<br><br>・ 4年「リーフレットの書き方」<br>5年「めざせ！新聞記者」<br>6年「ポスターを作るときの工夫」   |            |

| 大観点                       | 小観点                            | 調 査 の 結 果  |  |
|---------------------------|--------------------------------|--|--|
|                           |                                | 小観点及び内容の全体的なもの   | 各学年の特記事項   |
| 2<br>程度・選<br>択・取扱<br>について | (1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。   | (1) <ul style="list-style-type: none"> <li>書写の学習が始まる1年と毛筆の学習が始まる3年では、書写の基本をまとめて指導できる題材が取り上げられており、児童が書写の学習への興味・関心を高めることができるよう工夫されている。</li> <li>全学年で共通のキャラクターが登場し、書写のポイントを教えていることで、児童が親しみをもって学習に取り組めるよう配慮されている。</li> </ul> | (1) <ul style="list-style-type: none"> <li>1年「しよしゃすたーとぶっく」</li> <li>3年「毛筆スタートブック」</li> <li>各学年</li> <li>1年「『とめ』と『はらい』」</li> </ul>  |
|                           | (2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。 | (2) <ul style="list-style-type: none"> <li>特集ページ「もっと知りたい」では、書写の道具や日常目にする文字について詳しく紹介されており、書写に対する関心をさらに高めることができるよう配慮されている。</li> <li>二次元コードが随所にあり、学習の助けとなる様々な資料が取り上げられている。</li> </ul>                                       | (2) <ul style="list-style-type: none"> <li>3年「もっと知りたい 全国筆・紙・すみ・すずりマップ」</li> <li>5年「もっと知りたい 手書き文字と活字」</li> </ul>  |
| 3<br>組織・配<br>列等につ<br>いて   | (1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。     | (1) <ul style="list-style-type: none"> <li>各教材は、「考えよう」「確かめよう」「生かそう」の三段階の学習過程を示し、見通しをもって学習に取り組むことができるよう配慮されている。</li> <li>6年においては既習内容のまとめとなる学習課題が設定されており、小学校の学習のまとめができるよう配慮されている。</li> </ul>                               | (1) <ul style="list-style-type: none"> <li>各学年「学習の進め方」三段階の学習過程「考えよう」「確かめよう」「生かそう」</li> <li>各学年「たいせつのまとめ」</li> <li>6年「書写ブック」</li> </ul>   |
|                           | (2) 他教科等との関連について配慮されているか。      | (2) <ul style="list-style-type: none"> <li>国語の教科書に掲載されている物語や古典文学を書いて味わう活動を通して、言語文化に親しむことができるよう工夫されている。</li> <li>手紙やはがき、原稿用紙の書式を整理して示しており、学習内容を日常生活に生かすことができるよう配慮されている。</li> </ul>  | (2) <ul style="list-style-type: none"> <li>各学年「ことば」</li> <li>2年「スイミー」</li> <li>3年「十二支のことわざえほん」</li> <li>5年「はじめて出会う 古典作品集」</li> <li>各学年「書写広げたい」</li> <li>1年「横書きの書き方」</li> <li>2年「げんこう用紙に書くとき」</li> <li>3年「手紙の書き方」</li> <li>4年「リーフレットの書き方」</li> <li>5年「英語で書いてみよう」</li> <li>6年「ポスターを作るときの工夫」</li> </ul> |

令和6年度使用

小学校・義務教育学校前期課程用  
教科用図書調査研究資料

社 会

那須塩原市・那須町採択地区協議会

| 教科用図書の記号・番号・名称                  |  |  |  | 種 目  | 社 会  |                       |
|---------------------------------|--|--|--|--|--|-----------------------|
| 3 年                             | 4 年  | 5 年  | 6 年  | 発 行 者 名  |  |                       |
| 社会 305<br>新編 新しい社 3             | 社会 405<br>新編 新しい社会 4   | 社会 505 506<br>新編 新しい社会 5<br>上<br>新編 新しい社会 5<br>下   | 社会 605 606<br>新編 新しい社会 6<br>政治・国際編<br>新編 新しい社会 6<br>歴史編  | 東京書籍株式会社   |  |                       |
| 大<br>観<br>点                     | 小<br>観<br>点  | 調 査 の 結 果  |  |  |  |                       |
|                                 |  | 小観点及び内容の全体的なもの   |  | 各学年の特記事項   |  |                       |
| 1<br>内<br>容<br>に<br>つ<br>い<br>て | (1) 学習指導要領に示された目標・内容について<br>① 地域社会（市町）の社会的事象（第3学年）           | (1) ① 学習の進め方が、段階を追って進められ、児童が自ら学習を進め、問題を自ら解決できるように促す。また、学習の過程で「か習や」「つすし」「か習や」「つすし」などの段階を踏んでいくことにより、学習の意欲を高めることができる。また、学習の過程で「か習や」「つすし」などの段階を踏んでいくことにより、学習の意欲を高めることができる。 | (1) ① 学習の進め方が、段階を追って進められ、児童が自ら学習を進め、問題を自ら解決できるように促す。また、学習の過程で「か習や」「つすし」「か習や」「つすし」などの段階を踏んでいくことにより、学習の意欲を高めることができる。また、学習の過程で「か習や」「つすし」などの段階を踏んでいくことにより、学習の意欲を高めることができる。 | (1) ① 学習の進め方が、段階を追って進められ、児童が自ら学習を進め、問題を自ら解決できるように促す。また、学習の過程で「か習や」「つすし」「か習や」「つすし」などの段階を踏んでいくことにより、学習の意欲を高めることができる。また、学習の過程で「か習や」「つすし」などの段階を踏んでいくことにより、学習の意欲を高めることができる。 | (1) ① 学習の進め方が、段階を追って進められ、児童が自ら学習を進め、問題を自ら解決できるように促す。また、学習の過程で「か習や」「つすし」「か習や」「つすし」などの段階を踏んでいくことにより、学習の意欲を高めることができる。また、学習の過程で「か習や」「つすし」などの段階を踏んでいくことにより、学習の意欲を高めることができる。 |                       |
|                                 | ② 地域社会（県）の社会的事象（第4学年）  | ② 地域社会（県）の社会的事象（第4学年）  | ② 地域社会（県）の社会的事象（第4学年）  | ② 地域社会（県）の社会的事象（第4学年）  | ② 地域社会（県）の社会的事象（第4学年）  | ② 地域社会（県）の社会的事象（第4学年） |
|                                 | ③ 我が国の国土と産業（第5学年）  | ③ 我が国の国土と産業（第5学年）  | ③ 我が国の国土と産業（第5学年）  | ③ 我が国の国土と産業（第5学年）  | ③ 我が国の国土と産業（第5学年）  | ③ 我が国の国土と産業（第5学年）     |
| ④ 我が国の政治、歴史及び国際理解（第6学年）         | ④ 我が国の政治、歴史及び国際理解（第6学年）                                      | ④ 我が国の政治、歴史及び国際理解（第6学年）  | ④ 我が国の政治、歴史及び国際理解（第6学年）  | ④ 我が国の政治、歴史及び国際理解（第6学年）  | ④ 我が国の政治、歴史及び国際理解（第6学年）  |                       |
|                                 | (2) 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた指導の指し示しについて<br>① 地域社会（市町）の社会的事象（第3学年） | (2) ① 学習の進め方が、段階を追って進められ、児童が自ら学習を進め、問題を自ら解決できるように促す。また、学習の過程で「か習や」「つすし」「か習や」「つすし」などの段階を踏んでいくことにより、学習の意欲を高めることができる。また、学習の過程で「か習や」「つすし」などの段階を踏んでいくことにより、学習の意欲を高めることができる。 | (2) ① 学習の進め方が、段階を追って進められ、児童が自ら学習を進め、問題を自ら解決できるように促す。また、学習の過程で「か習や」「つすし」「か習や」「つすし」などの段階を踏んでいくことにより、学習の意欲を高めることができる。また、学習の過程で「か習や」「つすし」などの段階を踏んでいくことにより、学習の意欲を高めることができる。 | (2) ① 学習の進め方が、段階を追って進められ、児童が自ら学習を進め、問題を自ら解決できるように促す。また、学習の過程で「か習や」「つすし」「か習や」「つすし」などの段階を踏んでいくことにより、学習の意欲を高めることができる。また、学習の過程で「か習や」「つすし」などの段階を踏んでいくことにより、学習の意欲を高めることができる。 | (2) ① 学習の進め方が、段階を追って進められ、児童が自ら学習を進め、問題を自ら解決できるように促す。また、学習の過程で「か習や」「つすし」「か習や」「つすし」などの段階を踏んでいくことにより、学習の意欲を高めることができる。また、学習の過程で「か習や」「つすし」などの段階を踏んでいくことにより、学習の意欲を高めることができる。 |                       |
|                                 | (3) 挿絵、写真、図表、グラフ等の適切な活用について                                  | (3) ① 学習の進め方が、段階を追って進められ、児童が自ら学習を進め、問題を自ら解決できるように促す。また、学習の過程で「か習や」「つすし」「か習や」「つすし」などの段階を踏んでいくことにより、学習の意欲を高めることができる。また、学習の過程で「か習や」「つすし」などの段階を踏んでいくことにより、学習の意欲を高めることができる。 | (3) ① 学習の進め方が、段階を追って進められ、児童が自ら学習を進め、問題を自ら解決できるように促す。また、学習の過程で「か習や」「つすし」「か習や」「つすし」などの段階を踏んでいくことにより、学習の意欲を高めることができる。また、学習の過程で「か習や」「つすし」などの段階を踏んでいくことにより、学習の意欲を高めることができる。 | (3) ① 学習の進め方が、段階を追って進められ、児童が自ら学習を進め、問題を自ら解決できるように促す。また、学習の過程で「か習や」「つすし」「か習や」「つすし」などの段階を踏んでいくことにより、学習の意欲を高めることができる。また、学習の過程で「か習や」「つすし」などの段階を踏んでいくことにより、学習の意欲を高めることができる。 | (3) ① 学習の進め方が、段階を追って進められ、児童が自ら学習を進め、問題を自ら解決できるように促す。また、学習の過程で「か習や」「つすし」「か習や」「つすし」などの段階を踏んでいくことにより、学習の意欲を高めることができる。また、学習の過程で「か習や」「つすし」などの段階を踏んでいくことにより、学習の意欲を高めることができる。 |                       |

| 大観点               | 小 観 点   | 調 査 の 結 果   |   |
|-------------------|---|---|---|
|                   |   | 小観点及び内容の全体的なもの  | 各学年の特記事項  |
| 2<br>程度・選択・取扱について | <p>(1) 発心の段階、興味・関心、達成のついでに考慮されるか。</p> <p>(2) 補足的な学習、発展的学習のついでに考慮されるか。</p> | <p>(1) 各学年の学習内容が、基礎的な知識・技能を身に付け、その上で、発展的な学習ができるようになっているか。</p> <p>(2) 各学年の学習内容が、基礎的な知識・技能を身に付け、その上で、発展的な学習ができるようになっているか。</p> | <p>(1) 各学年「まなびのついでに」コーナー（p.82）</p> <p>(2) 「まなびのついでに」コーナー（p.82）</p>  |
|                   | <p>(1) 構成、配列、系統性について</p> <p>(2) 他教科等との関連について</p>                          | <p>(1) 全体的な構成、配列、系統性について</p> <p>(2) 他教科等との関連について</p>  | <p>(1) 各学年の学習内容が、基礎的な知識・技能を身に付け、その上で、発展的な学習ができるようになっているか。</p> <p>(2) 各学年の学習内容が、基礎的な知識・技能を身に付け、その上で、発展的な学習ができるようになっているか。</p> |

| 教科用図書の記号・番号・名称                          |  |  |  | 種 目   | 社 会 |
|---|--|--|--|---|-----|
| 3 年                                     | 4 年  | 5 年  | 6 年  | 発 行 者 名   |     |
| 社会 307<br>小学社会 3                        | 社会 407<br>小学社会 4   | 社会 507<br>小学社会 5   | 社会 607<br>小学社会 6   | 教育出版株式会社  |     |
| 大<br>観<br>点                             | 小<br>観<br>点  | 調 査 の 結 果  |  |   |     |
|   |  | 小観点及び内容の全体的なもの   |  | 各学年の特記事項  |     |
| 1<br>内<br>容<br>に<br>つ<br>い<br>て         | (1) 学習指導要領に示された目標・内容について配慮されているか。<br><br>① 地域社会（市町）の社会的事象<br>（第3学年）  | <p>(1)</p> <p>①・学習問題をつくるページが設けられ、学習の見通しを配られて、計画的に問題解決に向かえるよう配慮されている。「つかむ」「調べ」「問う」「つなげる」と段階をいかに進めることができるよう配慮されている。</p> <p>・地図や写真、インタビューなどの資料がとりあげられており、児童自ら問題解決的学習に取り組むことができるよう配慮されている。</p> |  | <p>(1)</p> <p>①・「3地いきの安全を守る」では、各小单元ごとに学習問題をつくりから話合ができるようになっている。<br/>（例）「火事からまちを守る」P98（つかむ）学習問題づくり<br/>P112（つなげる）話合い<br/>・「わたしたちのまちと市」の学習において、児童のつぶやきや写真の配列が児童の実態に即したになっている。</p> |     |
|   | ② 地域社会（県）の社会的事象<br>（第4学年）  | <p>②・人々のくらしや先人の働き等についての様々な事例が挙げられており、地域社会について考えることができるよう工夫されている。<br/>・立場の異なる人々の思いや願いが取り上げられており、社会参画に向けて意識を高めることができるよう工夫されている。</p>  |  | <p>②・「地域で受け継がれてきたもの」では、昔から受け継がれてきた伝統行事に携わる人たちが紹介されている。（pp.114-129）</p>  |     |
|   | ③ 我が国の国土と産業<br>（第5学年）  | <p>③・キーワードとともに本文にその説明が書かれており、社会的事象について理解しやすいように工夫されている。また、内容について、単元的なまとめや学習のしやすさを意識し、持続可能な社会の発展につながる工夫がされている。</p>  |  | <p>③・「未来を支える食糧生産」では、持続可能な社会の視点を重視し、これからの日本の食糧生産について考えることに工夫されている。（P.119）</p>  |     |
| ④ 我が国の政治、歴史及び国際理解<br>（第6学年）             | <p>④・児童の疑問や気付きを促す資料が用いられており、主体的に問題を解決することができるよう工夫されている。<br/>・単元的なまとめや学習のしやすさを意識し、持続可能な社会の発展につながる工夫がされている。</p>        |  | <p>④・「大陸に学んだ国づくり」では、導入に荒波をく遣唐使を大きく提示し、我が国が遣唐使を送った理由をきっかけに、飛鳥・奈良時代の学習を進めていく形がとられている。（p.94）</p>  |   |     |
| (2) 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導が配慮されているか。 | <p>(2)</p> <p>・学習の進め方を示す「モデル図」や学習過程が例示されており、見通しを配られている。<br/>・立場の異なる人々のインタビューが取り上げられており、社会的な構想をすることができるよう工夫されている。</p> |  | <p>(2)</p> <p>・各学年の巻頭に「社会科の学習の進め方」が示されている。<br/>・「わたしたちの県のまちづくり」では、児童の関心を高められるよう史跡や文化財に携わる人の話がその思いにも触れながら紹介されている。<br/>（4年 pp.180-181）</p> |   |     |
| (3) 挿絵、写真、図表、グラフ等は内容に対応した適切なものであるか。     | <p>(3)</p> <p>・イラストや写真がカラーで取り上げられており、当時の暮らしなどの実際の様子を捉え、現在の自分自身と生活と関連付けて捉えることができるよう配慮されている。</p>                       |  | <p>(3)</p> <p>・「戦争と人々のくらし」では、白黒写真がカラー化されている。<br/>（6年 p.212）</p>  |   |     |

| 大観<br>点   | 小<br>観<br>点                    | 調<br>査<br>の<br>結<br>果   |   |
|---|--------------------------------|---|---|
|   |                                | 小観点及び内容の全体的なもの  | 各学年の特記事項  |
| 2<br>程<br>度<br>・<br>選<br>択<br>・<br>取<br>扱<br>に<br>つ<br>い<br>て | (1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。   | (1)<br>・ 発達の段階に<br>の仕方が例示さ<br>る。高めのこ<br>・ 児童が体験的<br>・ 付いて考<br>関心をよ<br>う工夫 | (1)<br>・ 各学年の巻頭に「社会科<br>の学習を広げる」が示され<br>ている。<br>・ 「みはどこへ」では、<br>「学校のごみ調べ」から学<br>習を始める事例が取り上げ<br>られている。<br>(4年 p.30) |
|   | (2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。 | (2)<br>・ 単元の整理<br>・ 手補<br>・ 各組  | (2)<br>・ 各学年「もっ<br>い。第6学<br>とた。界の<br>の学<br>が設   |
| 3<br>組<br>織<br>・<br>配<br>列<br>等<br>に<br>つ<br>い<br>て           | (1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。     | (1)<br>・ 身近な社会的<br>・ 意識を高め<br>・ 巻頭に、前<br>・ 掲載さ<br>・ 配慮さ                   | (1)<br>・ 「日本国憲法」の学習に<br>つなげるために、「ともに<br>生きる暮らしと政治」で<br>は、オリンピック・パラ<br>リンピックについて取り<br>上げられている。<br>(6年 pp.8-11)       |
|   | (2) 他教科等との関連について配慮されているか。      | (2)<br>・ 巻頭の例<br>・ 配慮さ<br>・ 「SDGs<br>既習事<br>・ 社会的な                        | (2)<br>・ 全学年で、「他教科との<br>関わり」が掲載されてい<br>る。   |





令和6年度使用

小学校・義務教育学校前期課程用  
教科用図書調査研究資料

地 図

那須塩原市・那須町採択地区協議会

|                                 |  | 種 目  | 地 図   |
|---------------------------------|--|--|---|
| 教科用図書の記号・番号・名称                  |  | 発 行 者 名  |   |
| 3・4・5・6年                        |  |  |   |
| 地図 303<br>新編 新しい地図帳             |  | 東京書籍株式会社   |   |
| 大<br>観<br>点                     | 小<br>観<br>点  | 調 査 の 結 果  |   |
|                                 |  | 小観点及び内容の全体的なもの   | 各学年の特記事項  |
| 1<br>内<br>容<br>に<br>つ<br>い<br>て | <p>(1) 学習指導要領に示された目標・内容について配慮されているか。</p> <p>① 我が国や世界の国々の自然の様子</p> <p>② 我が国や世界の国々の産業の様子</p> <p>③ 我が国や世界の国々の人々の生活の様子</p> <p>④ 我が国と世界の国々との関わり</p> <p>(2) 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるよう配慮されているか。</p> <p>(3) 挿絵、写真、図表、グラフ等は、内容に対応した適切なものであるか。</p> | <p>(1)</p> <p>① ・土地の高低を捉える配色がされており、我が国の国土や世界の国々の地形について、視覚的に理解することができるよう工夫されている。</p> <p>・国土の広がりを示す地図や島々の写真が掲載されており、国土に対する地理的理解を深めることができるよう配慮されている。</p> <p>② ・日本の農業、水産業、工業等に応じて、関連するグラフや図、イラストが取り上げられており、相互に関連付けながら考察できるよう工夫されている。</p> <p>・一般図では、特産物や工業生産品がイラストで掲載されており、地域の特色を捉えることができるよう配慮されている。</p> <p>③ ・一般図では、世界の国の人々の生活の様子が写真資料やイラストで掲載されており、それぞれの国の特徴を比較することができるよう工夫されている。</p> <p>④ ・主題図と関連のある資料が見開きページに掲載されており、比較しながら考察することができるよう工夫されている。</p> <p>・オリンピックやワールドカップの主題図を掲載することにより、我が国とのつながりを意識することができるよう配慮されている。</p> <p>(2)</p> <p>・地図中に児童の思考に沿った学習の手掛かりが例示されており、社会的事象について多角的な見方・考え方を働かせて問題解決ができるよう工夫されている。</p> <p>・主題図では、単元の学習内容に応じた資料が大きく掲載されており、課題を明確にして学習に取り組むことができるよう配慮されている。</p> <p>(3)</p> <p>・内容に応じた特集のページが掲載されており、児童が学習に必要な情報を選択しながら調べることができるよう工夫されている。</p> | <p>(1)</p> <p>① ・5年の学習につながるように、日本の地形において、その特色が捉えられるよう、山地、台地、平野の三種類のみで表示されている。<br/>(pp. 67-68)</p> <p>② ・5年の学習につながるように、「日本の産業」と「日本の交通、都市」相互の関係が読み取れるように、並べて掲載されている。<br/>(pp. 73-74)</p> <p>③ ・6年の国際理解の学習につながるように、ヨーロッパや世界の料理が写真とともに掲載されている。(p. 62)</p> <p>④ ・5年の学習につながるように、日本の貿易に関する統計資料などがグラフなどで掲載されている。(pp. 75-76)</p> <p>(2)</p> <p>・「東北地方」の一般図では、登場するキャラクターの吹き出しにより、地図を見る視点を示している。(pp. 48-50)</p> <p>(3)</p> <p>・6年の学習につながるように、「京都市中心部」の地図が掲載されている。(pp. 33-34)</p> |

| 大観<br>点   | 小<br>観<br>点   | 調 査 の 結 果   |   |
|---|---|---|---|
|   |   | 小観点及び内容の全体的なもの  | 各学年の特記事項  |
| 2<br>程<br>度<br>・<br>選<br>択<br>・<br>取<br>扱<br>に<br>つ<br>い<br>て | <p>(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。</p> <p>(2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。</p> | <p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地図活用の技能や知識を身に付けることができるような問いや活動のコーナーが掲載されており、興味・関心をもって地図に親しむことができるよう工夫されている。</li> <li>・ 巻頭では、地図の仕組みと約束を解説した地図学習のページが掲載されており、地図のきまりや地図帳の使い方を身に付けることができるよう配慮されている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歴史や産業など多様な主題図が掲載されており、それぞれの単元で学習した内容を関連付けて理解することができるよう工夫されている。</li> <li>・ 一般図では、歴史人物や世界遺産などのイラストが掲載されており、興味・関心に応じて違う視点で地図を見ることができるよう配慮されている。</li> <li>・ 様々な場面で活用できるQRコンテンツが各ページにあり、学習する内容をより理解しやすいように工夫されている。</li> </ul> | <p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各所に「ホップ・ステップ・マップでジャンプ」のコーナーを設けている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6年の学習につながるように、「日本の歴史」のページで同時代の世界の様子を示した地図や年表が掲載されている。<br/>(pp.77-80)</li> </ul>   |
| 3<br>組<br>織<br>・<br>配<br>列<br>等<br>に<br>つ<br>い<br>て           | <p>(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。</p> <p>(2) 他教科等との関連について配慮されているか。</p>        | <p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「日本列島を見渡す地図」、「日本の地方図と都市圏図」、「世界地図」と配列されており、学年の学習内容に応じた構成になるよう工夫されている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本の食文化をテーマとした地図が掲載されており、地域に根差した食文化を学ぶことができるよう、家庭科との関連を図ることができるよう配慮されている。</li> <li>・ 日本の気候地図では、夏と冬の気温と降水量が地図やグラフで示されており、理科や算数との関連が図られている。</li> </ul>   | <p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4年の学習につながるように、都道府県の位置や名称が「日本の47都道府県」にて掲載されている。<br/>(pp.4-6)</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家庭科の食事や調理の学習につながるように、日本の食文化の地図が掲載されている。(p.82)</li> </ul> |

令和6年度使用小学校用教科用図書調査研究資料

|                                 |   | 種 目  | 地 図  |
|---------------------------------|---|--|--|
| 教科用図書の記号・番号・名称                  |   | 発 行 者 名  |  |
| 3・4・5・6年                        |   | 株式会社帝国書院   |  |
| 地図 304<br>楽しく学ぶ 小学生の地図帳3・4・5・6年 |   |  |  |
| 大観点                             | 小 観 点   | 調 査 の 結 果  |  |
|                                 |   | 小観点及び内容の全体的なもの   | 各学年の特記事項   |
| 1<br>内容について                     | (1) 学習指導要領に示された目標・内容について配慮されているか。<br><br>① 我が国や世界の国々の自然の様子<br><br>② 我が国や世界の国々の産業の様子<br><br>③ 我が国や世界の国々の人々の生活の様子<br><br>④ 我が国と世界の国々との関わり | (1)<br>① ・ 地図の色合いが用途に応じて使い分けられており、我が国や世界の国々の地形について、視覚的に理解することができるよう工夫されている。<br>・ 山の高さや川の長さ、地形を表すイラストが掲載されており、自然環境と人々の暮らしを関連付けて考えられるよう配慮されている。<br><br>② ・ 一般図に特産物や工業製品などが掲載されており、地形や土地利用に目を向けて産業の特色を理解することができるよう工夫されている。<br>・ 主題図では、産業別に掲載されており、目的に応じて情報を収集することができるよう配慮されている。<br><br>③ ・ 国の特徴について整理されており、文化を比較し、他国への理解を深めることができるよう工夫されている。<br>・ 一般図と国の特徴が分かる写真資料が同一ページに掲載されており、国の位置や特徴を理解することができるよう配慮されている。<br><br>④ ・ 主題図と関係する統計資料が見開きページに掲載されており、我が国と世界の国々との結び付きを意識することができるよう工夫されている。<br>・ 貿易や運輸の様子が掲載されており、我が国と他国との関わりに気付くことができるよう配慮されている。 | (1)<br>① ・ 一般図では、手描き風の立体感のある地図表現がされている。<br><br>② ・ 5年の学習につながるように、「日本の産業のようす」において、産業別に主題図が掲載されている。<br>(pp.103-106)<br><br>③ ・ 「集まれ！世界の子どもたち」に各国の生活の様子が写真資料と合わせて掲載されている。<br>(pp.83-92)<br><br>④ ・ 5年の学習につながるように、「日本と世界の結びつき」に関する地図や資料が掲載されている。<br>(pp.107-108) |
|                                 | (2) 主体的・対話的で深い学びの実現に資するよう配慮されているか。  | (2)<br>・ キャラクターの吹き出しを例として思考を深め、社会的現象について多角的な見方・考え方を働かせることができるよう工夫されている。<br>・ 導入に見出しを例示しており、児童が課題意識をもって自ら進んで学ぶことができるよう配慮されている。  | (2)<br>・ 4年の学習につながるように、「関東地方南部」では、土地利用と交通の関連を図れるような視点が示されている。<br>(p.66)  |
|                                 | (3) 挿絵、写真、図表、グラフ等は、内容に対応した適切なものであるか。  | (3)<br>・ 一般図と学習課題に沿った主題図が関連付けて掲載されており、児童の学びを深めることができるよう工夫されている。<br>・ 比較させて考察できる主題図が掲載されており、社会的な見方・考え方を働かせることができるよう配慮されている。   | (3)<br>・ 5年の工業生産の学習につながるように、「自動車産業のさかんな愛知県」の地図が掲載されている。<br>(p.61)  |



令和6年度使用

小学校・義務教育学校前期課程用  
教科用図書調査研究資料

算 数

那須塩原市・那須町採択地区協議会

令和6年度使用小学校用教科用図書調査研究資料

| 教科用図書の記号・番号・名称  |                                      |   |  |  |   | 種 目  | 算 数  |  |  |                                      |          |
|---|--------------------------------------|---|--|--|---|--|--|--|--|--------------------------------------|----------|
| 1 年   |                                      |   |  |  |   | 2 年  | 3 年  |  |  |                                      |          |
| 4 年   |                                      |   |  |  |   | 5 年  | 6 年  |  |  |                                      |          |
| 算数 112 113<br>新編<br>あたらしいさんすう 1①<br>はじめよう!さんすう<br>あたらしいさんすう1②<br>みつけよう!さんすう |                                      |   |  |  |   | 算数 212 213<br>新編<br>新しい算数 2上<br>考えるって おもしろい!<br>新しい算数 2下<br>考えるって おもしろい! | 算数 312 313<br>新編<br>新しい算数 3上<br>考えたことが つながるね!<br>新しい算数 3下<br>考えたことが つながるね! | 算数 412 413<br>新編<br>新しい算数 4上<br>考えたことが つながるね!<br>新しい算数 4下<br>考えたことが つながるね! | 算数 512 513<br>新編<br>新しい算数 5上<br>考えたことが つながるね!<br>新しい算数 5下<br>考えたことが つながるね! | 算数 612<br>新編<br>新しい算数 6!<br>数学ヘジャンプ! | 東京書籍株式会社 |
| 大<br>観<br>点   | 小 観 点                                |   | 調 査 の 結 果  |  |   |  |  |  |  |                                      |          |
|   |                                      |   | 小観点及び内容の全体的なもの   |  | 各学年の特記事項  |  |  |  |  |                                      |          |
| 1<br>内<br>容<br>に<br>つ<br>い<br>て   | (1) 学習指導要領に示された目標・内容について配慮されているか。    |   | (1)  |  | (1)   |  |  |  |  |                                      |          |
|   | ① 数量や図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能を習得させること |   | ① 日常生活の場面が導入で設定されているため、児童が課題を明確に捉え、見通しをもって学習を始めることができ、毎時の学習に練習問題があり、基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるよう工夫されている。 |  | ① 3年下 (p.14) 「小数」では、単元の冒頭に、日常生活と関連した場面を設定し、数の表し方やしくみを学ぶことができるよう工夫されている。               |  |  |  |  |                                      |          |
|   | ② 問題解決に必要な数学的な思考力・判断力・表現力を育成すること     |   | ② 問題解決の場面において、順を追って自分の考えを式、図、表などの数学的表現を用いて伝え合う活動が設定されており、児童が学んだ知識を用いて表現することができるよう配慮されている。          |  | ② 6年 (pp.162-163) 「比例と反比例」では、既習の概念を基にして、様々な解き方で説明する場面を設定し、式や表を用いて表現することができるよう配慮されている。 |  |  |  |  |                                      |          |
| ③ 算数で学んだことを生活や学習に活用すること   |                                      | ③ 学んだことを活用しながら、日常の事象を数理的に捉え、児童が生活の中にある算数の楽しさやよさを感じ取ることができるよう配慮されている。                                    |  | ③ 5年上 (p.70) 「小数の倍」では、日常で小数の倍を使う場面が設定されており、学んだことを活用して問題解決することができるよう配慮されている。                                    |   |  |  |  |  |                                      |          |
| (2) 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるよう配慮されているか。                                |                                      | (2) 導入では、疑問から考えさせていく流れになっており、問題解決に向けて着目すべき視点が示されているため、それを基に児童が新たな考えを見いだしたり、考えを深めたり、主体的な学びができるよう工夫されている。 |  | (2) 2年下 (p.9) 「かけ算 (1)」では、主体的・対話的で深い学びになるような課題が掲載されている。既習事項を使いながら、かけ算の式に表す方法について、理由を説明しながら導き出すことができるよう工夫されている。 |   |  |  |  |  |                                      |          |
| (3) 図、表、式、グラフ、挿絵などは、ねらいの達成に適切か。   |                                      | (3) 導入の絵や写真は課題が把握しやすく、図表、グラフなどを使った考え方が示されているため、それを基にして考えたり、説明したりすることにより、授業のねらいを達成することができるよう工夫されている。     |  | (3) 4年上 (pp.20-23) 「グラフや表を使って考えよう」では、変わり方を分かりやすく表やグラフに表すことで、そのデータから新たな課題に気付かせていくよう工夫されている。                     |   |  |  |  |  |                                      |          |

| 大観<br>点   | 小<br>観<br>点   | 調 査 の 結 果   |   |
|---|---|---|---|
|   |   | 小観点及び内容の全体的なもの  | 各学年の特記事項  |
| 2<br>程<br>度<br>・<br>選<br>択<br>・<br>取<br>扱<br>に<br>つ<br>い<br>て | <p>(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。</p> <p>(2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。</p> | <p>(1) 学年の発達段階に応じた題材や具体的場面が掲載されているので興味・関心をもちやすく、視覚資料、写真、挿絵を基にして課題を把握し、進んで学習に取り組むことができるよう配慮されている。</p> <p>(2) 巻末の「ほじゅうもんだい」では習熟状況に応じて個別最適化された学習に取り組むことができ、「考える力をのばそう」や「おもしろ問題にチャレンジ」では、既習の学習を基にして、発展的な学習に取り組むことができるよう配慮されている。</p> | <p>(1) 1年(pp.26-31)「どちらがながい」では、実際の写真や身近な物を視覚的に捉えやすいよう配置するとともに、吹き出しを基に課題を把握し、解決への意欲を高めることができるよう配慮されている。</p> <p>(2) 6年(pp.236-245)「ほじゅうもんだい」では、習熟に合わせて課題に取り組めるように色分けで掲載されている。また(pp.248-258)には、中学校1年生の発展的な内容が取り上げられ、小学校の学習で身に付けた基礎的・基本的な内容を基にして、学習を深めることができるよう配慮されている。</p> |
| 3<br>組<br>織<br>・<br>配<br>列<br>等<br>に<br>つ<br>い<br>て           | <p>(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。</p> <p>(2) 他教科等との関連について配慮されているか。</p>        | <p>(1) 目次の「前の学習」と「後の学習」で、系統性を把握することができ、各単元の導入では、関連する既習事項を振り返り、新しい課題に気付くことができるよう配慮されている。</p> <p>(2) 環境教育や防災教育、他教科との関連がある題材が掲載され、教科横断的な学習ができるよう図られている。また、「私と算数」や「算数で読みとこう」では、数学的な見方・考え方を働かせ、算数のよさを使って考えるよう配慮されている。</p>            | <p>(1) 4年下(pp.50-57)「変わり方調べ」では、3年の「□を使った式」の既習事項に基づいて、表を使って関係式に表しながら課題解決ができるように配慮されている。5年での「倍を使った変わり方調べ」につながるよう系統性が配慮されている。</p> <p>(2) 5年下(pp.122-123)「算数で読みとこう」ではSDGsに関する内容を取り上げ、データ分析を生かして学習することができるよう配慮されている。</p>   |

令和6年度使用小学校用教科用図書調査研究資料

| 教科用図書の記号・番号・名称                            |                                     |   |   |                              |   | 種 目  | 算 数 |
|---|-------------------------------------|---|---|------------------------------|---|--|-----|
| 1 年                                       | 2 年                                 | 3 年   | 4 年   | 5 年                          | 6 年   | 発 行 者 名  |     |
| 算数 114 115<br>新版<br>たのしいさんすう<br>1ねん①・1ねん② | 算数 214<br>新版<br>たのしい算数<br>2年        | 算数 314<br>新版<br>たのしい算数<br>3年  | 算数 414<br>新版<br>たのしい算数<br>4年  | 算数 514<br>新版<br>たのしい算数<br>5年 | 算数 614<br>新版<br>たのしい算数<br>6年  | 大日本図書株式会社  |     |
| 大<br>観<br>点                               | 小 観 点                               |   | 調 査 の 結 果   |                              |   | 各学年の特記事項   |     |
|   |                                     |   | 小観点及び内容の全体的なもの  |                              |   |  |     |
| 1<br>内<br>容<br>に<br>つ<br>い<br>て           | (1) 学習指導要領に示された目標・内容について配慮されているか。   |   | ① 数学的活動を重視した学習過程で構成されており、児童が基礎的・基本的な概念や性質を理解し、日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けることができるよう配慮されている。      |                              |   | ① 1年 (pp.59-60) 「ながさくらべ」では、日常の事象を、数学的な活動を通して知識・技能の習熟を図ることができるよう配慮されている。                  |     |
|   | ① 数量や図形などについて基礎的・基本的な知識及び技能を習得させること |   | ② 「読み取る力をのばそう」「学んだことを生かそう」「算数たまたまばこ」では、学んだことを生かして考える課題が設定されており、思考力・判断力・表現力を育成できるようになっている。 |                              |   | ② 6年「比」の学習では、P159に既習内容を活用して考える問題が位置付けられ、思考力・判断力・表現力を身に付けることができるよう工夫されている。                |     |
|   | ② 問題解決に必要な数学的・思考力・判断力・表現力を育成すること    |   | ③ 各単元で日常生活に関連した問題を設定することで、児童が数学的活動を通して考える楽しさを実感できるよう工夫されている。                              |                              |   | ③ 5年 (p.169) 「身の回りから%をさがそう」では、「%」で表示された身近な題材を取り上げ、学習したことが生活に生かされていると実感することができるよう配慮されている。 |     |
| ③ 算数で学んだことを生活や学習に活用すること                   |                                     | (2) 単元はじめに、具体的な場面を取り上げ、ねらいが簡潔に提示されている。また、挿絵等を用いることにより課題把握がしやすく、児童が問題解決の見通しをもち、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 |   |                              | (2) 1年 (pp.91-95) 「いろいろなかたち」では、活動の内容が分かりやすく見通しをもつことができるよう工夫されている。                         |  |     |
| (2) 主体的・対話的で深い学びの実現に資することができるよう配慮されているか。  |                                     | (3) 日常生活の中から学習に関連するものの写真や数直線、図や表などが児童の思考に沿った流れで配置されている。また、図、表、グラフ等のレイアウトや大きさ、色分け等、見やすい構成になっている。           |   |                              | (3) 3年 (pp.182-183) 「分数の大きさ」では、見開きのページを利用して数直線が示されており、児童が1より大きい分数の概念を獲得することができるよう配慮されている。 |  |     |
| (3) 図、表、式、グラフ、挿絵などは、ねらいの達成に適切か。           |                                     |   |   |                              |   |  |     |

| 大観点                           | 小観点   | 調査の結果  |   |
|-------------------------------|---|--|---|
|                               |   | 小観点及び内容の全体的なもの   | 各学年の特記事項  |
| 2<br>程度・選<br>択・取<br>扱に<br>ついて | <p>(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。</p> <p>(2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。</p> | <p>(1) 単元の導入時等に、買い物や遊園地の場面、地図など、児童の興味・関心をもてるような身近な日常場面や題材を用いることで、児童が興味・関心をもって課題解決することができるよう工夫されている。</p> <p>(2) 単元の終末時の「たしかめ問題」や巻末の補充問題では、難易度ごとに様々な印が付いており、児童が習熟状況によって問題を選択できるように配慮されている。また、挿絵等は最小限にして文章のみでの問題も多く、学習定着のための構成となっている。</p> | <p>(1) 2年 (pp.66-67) 「数のしくみをしらべよう」では、10のまとまりを捉え、操作活動を通して大きい数を理解することができるよう工夫されている。</p> <p>(2) 2年 (pp.230-242) 「プラス・ワン」では、学習内容を確認した上で、習熟に合わせてできる演習問題や発展問題にチャレンジすることができるよう配慮されている。</p>                             |
| 3<br>組織・配<br>列等<br>につ<br>いて   | <p>(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。</p> <p>(2) 他教科等との関連について配慮されているか。</p>        | <p>(1) 目次では、他学年・中学校との関連や単元内の学習事項が提示されており、系統性を踏まえた学習ができるよう工夫されている。また、既習事項を確認する印が付いており、児童が学習したことを振り返り、理解を深めることができるよう工夫されている。</p> <p>(2) 生活科や家庭科、社会との関連がある内容が取り上げられ、それらを問題にしたり写真として扱ったりして関連を図っている。</p>                                    | <p>(1) 4年では、単元を「がい数」(pp.120-134) 「2けたの数でわる計算」(pp.135-151)の順に配列することで、見積もりを生かして商の見当を付けることができるよう工夫されている。</p> <p>(2) 6年 (p.147-150) 「比」の学習では、「ドレッシングが同じ味になるのはどれか」という家庭科や日常生活との関連がある学習課題を設定し、他教科との関連について配慮されている。</p> |

## 令和6年度使用小学校用教科用図書調査研究資料

| 教科用図書の記号・番号・名称                                       |  |  |  |  |   | 種 目  | 算 数 |
|--|--|--|--|--|---|--|-----|
| 1 年  | 2 年                                      | 3 年  | 4 年  | 5 年                                      | 6 年   | 発 行 者 名  |     |
| 算数116 117<br>みんなとまなぶ<br>しょうがっこう<br>さんすう<br>1ねん上・1ねん下 | 算数216 217<br>みんなと学ぶ<br>小学校 算数<br>2年上・2年下 | 算数316 317<br>みんなと学ぶ<br>小学校 算数<br>3年上・3年下   | 算数416 417<br>みんなと学ぶ<br>小学校 算数<br>4年上・4年下   | 算数516 517<br>みんなと学ぶ<br>小学校 算数<br>5年上・5年下 | 算数616 617<br>みんなと学ぶ<br>小学校 算数<br>6年<br>6年中学校へのかけ橋                   | 学校図書株式会社   |     |
| 大<br>観<br>点  | 小 観 点                                    |  | 調 査 の 結 果  |  |   |  |     |
|  |  |  | 小観点及び内容の全体的なもの   |  |   | 各学年の特記事項   |     |
| 1<br>内<br>容<br>に<br>つ<br>い<br>て                      | (1) 学習指導要領に示された目標・内容について配慮されているか。        |  | (1)  |  |   | (1)  |     |
|  | ① 数量や図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能を習得させること     |  | ① 児童の思考を踏まえ、問題発見・解決の過程が提示されており、児童が数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解することができるよう工夫されている。 |  |   | ① 全学年において、何を学ぶかが明確に示されており、さらに「めあて」で課題意識をもたせ、「まとめ」で必要な知識や技能が習得できるよう工夫されている。 |     |
|  | ② 問題解決に必要な数学的な思考力・判断力・表現力を育成すること         |  | ② キャラクターを用いて多様な考え方を取り上げ、図や表等に適宜説明を加えるなどして、問題解決に必要な思考力・判断力・表現力が育成できるように工夫されている。     |  |   | ② 3年上(p.33)キャラクター「オナジン」が既習の内容について気付かせ、問題解決へと導こうとしている。                      |     |
| ③ 算数で学んだことを生活や学習に活用すること                              |  | ③ 「算数を使って」で生活に合った内容を扱い、学んだことを生活の中で生かしていこうとするきっかけを作っている。                              |  |  | ③ 2年上(p.116-117)「算数をつかって」では、既存の形が生活の中で模様として使われていることに気付かせている。        |  |     |
| (2) 主体的・対話的で深い学びの実現が図られるよう配慮されているか。                  |  | (2) 各単元の導入「?を発見」において、疑問を持たせたり、解決への見通しをもたせたりするなどし、児童が主体的に学習に取り組めるような配慮がされている。         |  |  | (2) 4年上(p.79)「?を発見」では、学校生活の中で起こりうる場面を設定し、主体的に問題を解決していこうとする意欲を高めている。 |  |     |
| (3) 図、表、式、グラフ、挿絵などは、ねらいの達成に適切か。                      |  | (3) 図や表、式、グラフ等を書き込める箇所が多く、幅広の教科書となっている。解き方の例示を参考にして児童がそれらに書き込みながらねらいを達成できるよう工夫されている。 |  |  | (3) 3年上(p.46)「わり算」では、2つの異なる考え方を並べて示し、考え方を比較しながら書き込み、習得できるよう工夫されている。 |  |     |

| 大観<br>点   | 小 観 点  | 調 査 の 結 果   |  |
|---|--|---|--|
|   |  | 小観点及び内容の全体的なもの  | 各学年の特記事項   |
| 2<br>程<br>度<br>・<br>選<br>択<br>・<br>取<br>扱<br>に<br>つ<br>い<br>て | <p>(1) 発達段階、興味・関心について考慮されているか。</p> <p>(2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。</p> | <p>(1) 考え方モンスターというキャラクターを用い、児童の興味を引く工夫がされている。</p> <p>(2) 単元ごとに、基本問題・発展問題が設定されており、また、巻末には「もっと算数」というコーナーがあり、補充的な学習が十分できるように配慮されている。</p> | <p>(1) 2-6年上(p.8-11)「まとめる」「きまり」「別の表し方」等、算数で用いたい考え方をキャラクターごとに設定している。</p> <p>(2) 6年生では、「中学校へのかけ橋」と題した小冊子が付属であり、数学的な見方・考え方を焦点化しながら学習したことの復習ができるようになっている。さらに、中学校につながる発展問題も記載されており、補充・発展学習についての配慮されている。</p> |
| 3<br>組<br>織<br>・<br>配<br>列<br>等<br>に<br>つ<br>い<br>て           | <p>(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。</p> <p>(2) 他教科等との関連について配慮されているか。</p>       | <p>(1) 目次に、他学年や中学校で関連する単元名が示されており、系統が分かりやすいように配慮されている。</p> <p>(2) 「算数をつかって」のページでは、理科や社会科、家庭科、SDGsの取り組み等との関連が図られている。</p>               | <p>(1) 6年(p.1)目次では、小学校だけでなく、中学校との関連も示されている。</p> <p>(2) 5年上(p.130-131)「食べ物から環境を考えよう」では、SDGsの取組等が掲載されており、環境教育との関連が図られている。</p>  |

## 令和6年度使用小学校用教科用図書調査研究資料

| 種 目                             |  |                            |                            |                    |                    | 算 数   |  |
|---------------------------------|--|----------------------------|----------------------------|--------------------|--------------------|---|--|
| 教科用図書の記号・番号・名称                  |  |                            |                            |                    |                    | 発 行 者 名   |  |
| 1 年                             | 2 年  | 3 年                        | 4 年                        | 5 年                | 6 年                | 教育出版株式会社  |  |
| 算数118<br>しょうがく<br>さんすう1         | 算数218 219<br>小学算数<br>2上・2下   | 算数318 319<br>小学算数<br>3上・3下 | 算数418 418<br>小学算数<br>4上・4下 | 算数518<br>小学算数<br>5 | 算数618<br>小学算数<br>6 |   |  |
| 大<br>観<br>点                     | 小 観 点  |                            |                            |                    |                    | 調 査 の 結 果   |  |
|                                 |  |                            |                            |                    |                    | 小観点及び内容の全体的なもの  |  |
| 1<br>内<br>容<br>に<br>つ<br>い<br>て | <p>(1) 学習指導要領に示された目標・内容について配慮されているか。</p> <p>① 数量や図形などの基本的知識及び技能を身につけること</p> <p>② 問題解決に必要な数学的思考力を育成すること</p> <p>③ 算数で学んだことを生活や学習に活用すること</p> <p>(2) 主体的・対話的で深い学びの実現に資するよう配慮されているか。</p> <p>(3) 図、表、式、グラフ、挿絵などは、ねらいの達成に適切か。</p> |                            |                            |                    |                    | <p>(1)</p> <p>① 3年上 (PP.56-67)「わり算」では、日常の身近な場面を取り上げて継続した学習ができるように工夫されている。</p> <p>② 6年 (PP.70-82)「分数のわり算」では、既習事項から計算の方法を考えることによって分数へのわり算の適応を広げて考えることができるようにしている。</p> <p>③ 2年上 (p.102)「学んだことをつかおう」では、時間の学習を生かして夏休みの計画表を作る活動を通して、算数を生活に活用するよさが実感できるよう配慮されている。</p> <p>(2) 5年 (PP.48~58)「小数のかけ算」では、整数×小数の立式や計算方法を考え説明する活動を通して、主体的・対話的で深い学びができるよう配慮している。</p> <p>(3) 5年生「四角形や三角形の面積 (p.206~)」では、大問題の図を大きく表示したり、実際の大きさにして示したりするなど、視覚的に捉えやすくする工夫がなされている。</p> |  |

| 大観点                       | 小 観 点                        | 調 査 の 結 果   |  |
|---------------------------|------------------------------|---|--|
|                           |                              | 小観点及び内容の全体的なもの  | 各学年の特記事項   |
| 2<br>程度・選<br>択・取扱<br>について | (1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。 | (1) 教科書のはじめに、各学年に応じたトピック学習が掲載されており、「つかむ」「考えをもつ」「話し合う」「広げる」のステップで算数に興味・関心をもって学習がスタートできるような考慮がされている。また「算数ワールド」「パズルのとびら」では生活の中にある様々なことについて触れ、興味・関心をもたせるよう工夫されている。  | (1) 1年 (PP.2～8)「なかよしあつまれ」では、イラストが大きく描かれており、活動しやすくなっている。また、動植物など児童が興味・関心をもてるよう工夫している。       |
|                           | (2) 補充的な学習、発展的な学習に配慮されているか。  | (2) 自分の学習の進み具合に合わせて取り組む「ステップアップ算数」、学習したことを広げて考える「算数ワールド」や「広がる算数」、中学校の学習につながる「Let's Try」があり、児童が習熟度に応じて問題に取り組むことができるよう配慮されている。また、十分な量の問題と難易度を変えた問題を掲載し、補充的・発展的な学習についての配慮がされている。   | (2) 6年 (PP.232～245)「Let's try」では、「0より小さい数」など、中学校の学習につながる内容が取り上げられている。                      |
| 3<br>組織・配<br>列等につ<br>いて   | (1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。   | (1) 単元の配列が次につながっていくようになっており、また、領域もバランスよく配列されていて、児童の学びに無理がないよう工夫されている。他学年との系統にも配慮して構成されている。<br>また、学習過程を「はてな」「なるほど」「だったら」という構成で例示するとともに、今までに学習した算数の見方・考え方を「算数のミカタ」、「つながるミカタ」として整理することにより、内容のつながりを踏まえて学習に取り組むことができるよう工夫されている。  | (1) 4年上 (PP.26～)「わり算の筆算」の学習後「2かたの数の筆算」とつながりをもたせている。また、その間に「グラフ」「角度」の学習を行い、領域ごとの配列にも配慮している。 |
|                           | (2) 他教科等との関連について配慮されているか。    | (2) 単元はじめの大問題では、図工、音楽、家庭科、テクノロジー、芸術等の題材が扱われ、教科横断を意識した課題設定となっており、他教科との関連について配慮がなされている。<br>また「算数ワールド」や「広がる算数」では、図画工作や理科に関連した資料が提示されており、数学的な見方・考え方を働かせて学習に取り組むことができるよう関連が図られている。「算数を使って考えよう」や様々な資料では、社会や体育などとも関連を図った問題に配慮している。 | (2) 6年生では、「並べ方と組合せ」の導入問題 (p.194) において、メロディーの種類を課題として取り上げ、他教科との関連が図られている。                   |

## 令和6年度使用小学校用教科用図書調査研究資料

| 種 目                             |  |  |                               |                       |                       | 算 数  |
|---------------------------------|--|--|-------------------------------|-----------------------|-----------------------|--|
| 教科用図書の記号・番号・名称                  |  |  |                               |                       |                       | 発 行 者 名  |
| 1 年                             | 2 年  | 3 年  | 4 年                           | 5 年                   | 6 年                   | 株式会社振興出版社啓林館   |
| 算数121<br>わくわくさんすう1<br>すたあとぶっく   | 算数220 221<br>わくわく 算数<br>2上・2下                | 算数320 321<br>わくわく 算数<br>3上・3下  | 算数420 421<br>わくわく 算数<br>4上・4下 | 算数520<br>わくわく 算数<br>5 | 算数620<br>わくわく 算数<br>6 |  |
| 大<br>観<br>点                     | 小<br>観<br>点                                  | 調 査 の 結 果  |                               |                       |                       |  |
|                                 |  | 小観点及び内容の全体的なもの   |                               |                       |                       | 各学年の特記事項   |
| 1<br>内<br>容<br>に<br>つ<br>い<br>て | (1) 学習指導要領に示された目標・内容について配慮されているか。            | ① 単元を通して、日常生活の事象や既習事項を基に新たな課題に取り組む場面が設定されており、数学的活動を取り入れながら、児童が数量や図形などについての基礎的、基本的な概念や性質などを理解する力を育成できるよう工夫されている。                |                               |                       |                       | ① 4年下 (pp.2-15)<br>「面積」では、数学的な見方・考え方を徐々に広げていけるようスモールステップでの課題提示がなされている。                                   |
|                                 | ① 数量や図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能を習得させること         | ② 様々な解き方を考える場面で他者と伝え合う活動が設定されており、よりよい考え方を見出し、筋道を立てて考えていく中で、思考力を育成することができるよう配慮されている。  |                               |                       |                       | ② 6年 (pp.124-125)<br>「見方・考え方をふかめよう」では、既習事項を生かしていろいろな思考について表現し、説明し合う活動が展開できるよう工夫されている。                    |
|                                 | ② 問題解決に必要な数学的な思考力・判断力・表現力を育成すること             | ③ 学習したことを生活や学習に活用する場面が設定されており、児童が算数の有用性を実感できるよう配慮されていたり、単元末に学びのまとめとして、「確かめよう」「ふりかえろう」「やってみよう」の3部構成で学びの振り返りや活用ができるようしたり工夫をしている。 |                               |                       |                       | ③ 5年 (pp.214-215)<br>「学びのまとめ」では、日常生活や他教科の場面でも使える内容を扱っており、算数の見方・考え方をを用いて解決することができるよう配慮されている。              |
|                                 | (2) 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるよう配慮されているか。 | ② 課題が身近なところから設定されていたり、様々な考えができるように登場人物たちの言葉をたよりに考えたりすることができるよう配慮されている。   |                               |                       |                       | ② 4年上 (pp.36-45) 「1けたでわるわり算の筆算」では、課題が身近なところから設定されており、内容がスモールステップで示され既習事項を生かしてわり算の学習に取り組むことができるよう工夫されている。 |
|                                 | (3) 図、表、式、グラフ、挿絵などは、ねらいの達成に適切か。              | ③ 図や表、数直線など複数の資料を関連させて問題場面を設定し、その資料を基にして児童の思考に沿った流れで配列することにより、授業のねらいを達成することができるよう配慮されている。                                      |                               |                       |                       | ③ 2年上 (pp.52-53)<br>「たしざんのきまり」では、花の数を求める場面で、丸の数とテープ図が関連して示されており、スモールステップでテープ図について理解させることができるよう配慮されている。   |

| 大観<br>点   | 小<br>観<br>点   | 調<br>査<br>の<br>結<br>果  |   |
|---|---|--|---|
|   |   | 小観点及び内容の全体的なもの   | 各学年の特記事項  |
| 2<br>程<br>度<br>・<br>選<br>択<br>・<br>取<br>扱<br>に<br>つ<br>い<br>て | <p>(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。</p> <p>(2) 補充的な学習、発展的な学習について考慮されているか。</p> | <p>(1) 単元導入の「じゅんぴ」では、身近な事象から教科との関連を図った問題を提示したり、写真や絵、図を用いて関連を提示したりしており、児童の興味を引く工夫がされている。</p> <p>(2) 「学びのサポート」では、「じゅんぴ」「もっと練習」で、これまでの補充や発展的な学習ができるようになっており、児童が自ら反復学習ができるよう配慮されている。</p>         | <p>(2) 1年 (pp. 48-53) 「大きさをくらべ(1)」では、単元の導入で、身近な事象から教科との関連を図った問題について、課題に取り組もうとする意欲につながる配慮がされている。</p> <p>(2) 「学びのサポート」で、「じゅんぴ」「もっとれんしゅう」と分けて提示してある。「ちょうせんもんだい」で発展的な課題が示されている。また、単元末の復習問題には「まちがえやすい問題」にマークがついており取り組みやすい。</p> |
| 3<br>組<br>織<br>・<br>配<br>列<br>等<br>に<br>つ<br>い<br>て           | <p>(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。</p> <p>(2) 他教科等との関連について配慮されているか。</p>        | <p>(1) 目次では、「これまでに学んだこと」とし、関連が図られていることを児童に示す配慮がされている。単元末の「学びのまとめ」では、「たしかめよう」、「ふりかえろう」、「やってみよう」3ステップで学びをふり返ることができるよう工夫されている。</p> <p>(2) 社会科、図工、理科、保健との関連が図られ、その中で数学の良さを使って考えられるよう配慮されている。</p> | <p>(1) 3年下 (pp. 90-91) 「学びのまとめ」では、「たしかめよう」、「ふりかえろう」、「やってみよう」の3ステップで学びをふり返ることができるよう工夫されている。</p> <p>(2) 5年 (pp. 244-247) は、SDGsとの関連を図った課題に対し、算数の見方考え方を用いて、解決しようとすることができるよう配慮されている。</p>                                      |

令和6年度使用小学校用教科用図書調査研究資料

| 教科用図書の記号・番号・名称                     |  |                               |   |                     |                     | 種 目   | 算 数 |
|------------------------------------|--|-------------------------------|---|---------------------|---------------------|---|-----|
| 1 年                                | 2 年  | 3 年                           | 4 年   | 5 年                 | 6 年                 | 発 行 者 名   |     |
| 算数 122 123<br>しょうがくさんすう<br>1 ①・1 ② | 算数 222 223<br>小学算数<br>2 上・2 下  | 算数 322 323<br>小学算数<br>3 上・3 下 | 算数 422 423<br>小学算数<br>4 上・4 下   | 算数 522<br>小学算数<br>5 | 算数 622<br>小学算数<br>5 | 日本文教出版株式会社  |     |
| 大<br>観<br>点                        | 小 観 点  |                               | 調 査 の 結 果   |                     |                     |   |     |
|                                    |  |                               | 小観点及び内容の全体的なもの  |                     |                     | 各学年の特記事項  |     |
| 1<br>内<br>容<br>に<br>つ<br>い<br>て    | (1) 学習指導要領に示された<br>学習目標・内容について配<br>慮されたこと。<br>① 数量や図形などの基礎<br>的・基本的な学習のつな<br>ぎを認識すること。<br>② 問題解決に必要な数学<br>的思考力を育成すること。<br>③ 算数で学んだことを生<br>活や学習に活用すること。 |                               | (1)<br>① 単元末に、間違えやすい問題や見方・<br>考え方に関する問題を取り上げ、確かな<br>基礎・基本習得のための丁寧な構成にな<br>っている。単元はじめには、次の学習の<br>ためというレディネス学習が位置付け<br>られ、単元学習につながる工夫がされて<br>いる。<br>② どのような見方・考え方をしたらよい<br>かについて、各学習の要所に記載されて<br>おり、思考力・判断力・表現力育成の一<br>助になっている。<br>③ 算数を学ぶ楽しさや数理的に処理するこ<br>とのよさを実感する活動が設定されてお<br>り、児童が学んだことを生活や学習に活用<br>しようとする態度を育成することができる<br>よう工夫されている。 |                     |                     | (1)<br>① 2年 (p.114) 「三角形と<br>四角形」では、具体的な<br>場面を多く取り上げ、ス<br>モールステップで徐々に<br>理解が深められるよう配<br>慮されている。<br>② 3年下 (p.62) の「見方<br>・考え方をみがこう」で<br>は、計算の仕方について<br>何分の一がいくつ分か考<br>え、説明させることで、<br>課題解決に必要な思考力<br>・判断力・表現力を育成<br>できるよう配慮されてい<br>る。<br>③ 4年下 (pp.90) 「使っ<br>てみよう」では、体験的<br>な活動を取り入れ、活動<br>の楽しさ、算数のよさに<br>気づき、学んだことを生<br>活や学習に活用しようと<br>する態度を育成すること<br>ができるよう工夫されて<br>いる。 |     |
|                                    | (2) 主体的・対話的で深い<br>学びの実現が図られるよ<br>うに配慮されていること。  |                               | (2) 学び合い学習の充実のために、「自分<br>でみんなで」では、学習を4つのステップ<br>で示し、主体的・対話的で深い学びの実<br>現ができるように、配慮がされている。  |                     |                     | (2) 2年 (pp.100) 「分数」<br>では、数学的な見方・考<br>え方を働かせるような視<br>点が複数提示されており、<br>自分の考えをもって話し<br>合いに臨むことができる<br>よう配慮されている。  |     |
|                                    | (3) 図、表、式、グラフ、<br>挿絵などは、ねらいの達<br>成に適切か。  |                               | (3) 課題解決の方向性が図や挿絵で例示<br>されており、児童がそれらを用いて説明<br>したり、考えを伝え合ったりすること<br>により、授業のねらいを達成するこ<br>とができるよう工夫されている。  |                     |                     | (3) 5年下 (pp.234-235)<br>「表やグラフの利用」で<br>は、複数の表やグラフを<br>活用して考える課題が提<br>示してあり、人物のふき<br>出しから解決の見通しを<br>もつことができるよう工<br>夫されている。   |     |

| 大観点               | 小観点   | 調査の結果   |   |
|-------------------|---|---|---|
|                   |   | 小観点及び内容の全体的なもの  | 各学年の特記事項  |
| 2<br>程度・選択・取扱について | <p>(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。</p> <p>(2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。</p> | <p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>課題を把握する際に、発達の段階に応じたイラストや写真が提示されており、児童が興味・関心をもって課題解決することができるよう工夫されている。</li> <li>各単元の導入では、身近な場面や日常に関する学習課題を示し、写真や挿絵を用いて課題把握がしやすくなっている等、興味・関心を高める配慮がされている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>巻末の「算数マイトライ」では、「しっかりチェック」、「ぐっとチャレンジ」、「もっとジャンプ」と段階的に設定されており、習熟の状況に応じて選択して自主的に学習に取り組むことができるよう配慮されている。</li> </ul> | <p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>6年「マテマランドを探検しよう」(p.208)では、学習したことを漫画の世界の中で解決していく課題を設定し、興味・関心を高めることができるよう工夫されている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>6年「もうすぐ中学生」(p.243～)では、中学1年生の内容を扱い、数学の学習に慣れさせる等の配慮をしている。</li> </ul> |
| 3<br>組織・配列等について   | <p>(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。</p> <p>(2) 他教科等との関連について配慮されているか。</p>        | <p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各単元の導入ページの前に、「次の学習のために」として既習の学習を振り返る内容が提示されており、学習のつながりを意識することができるよう工夫されている。</li> <li>目次では、他学年の関連単元が示されており、系統がわかるよう工夫されている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「算数ジャンプ」では、他教科等と関わる様々なテーマの題材が提示されており、学習したことを生かして教科等横断的に学習し、理解を深めることができるよう配慮されている。</li> </ul>  | <p>(1) 2年下(pp.38)「学習をたしかに」では「わかっているかな」と「たしかめよう」に分かれており、段階を踏んで児童が理解を深めることができるよう工夫されている。</p> <p>(2) 2年下(pp.104-105)「レッツプログラミング」ではプログラミング的思考との関連を図ることができるよう配慮されている。</p>  |

令和6年度使用

小学校・義務教育学校前期課程用  
教科用図書調査研究資料

理 科

那須塩原市・那須町採択地区協議会

令和6年度使用小学校用教科用図書調査研究資料

| 教科用図書の記号・番号・名称                  |  |   |                     | 種 目  | 理 科 |
|---------------------------------|--|---|---------------------|--|-----|
| 3 年                             | 4 年  | 5 年   | 6 年                 | 発 行 者 名  |     |
| 理科307<br>新編 新しい理科 3             | 理科407<br>新編 新しい理科 4  | 理科507<br>新編 新しい理科 5   | 理科607<br>新編 新しい理科 6 | 東京書籍株式会社   |     |
| 大<br>観<br>点                     | 小<br>観<br>点  | 調 査 の 結 果   |                     |  |     |
|                                 |  | 小観点及び内容の全体的なもの  |                     | 各学年の特記事項   |     |
| 1<br>内<br>容<br>に<br>つ<br>い<br>て | <p>(1) 学習指導要領に示された目標・内容について配慮されているか。</p> <p>① 自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身につけるようにすること</p> <p>② 問題解決の力を養うこと</p> <p>③ 自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養うこと</p> <p>(2) 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるよう配慮されているか。</p> | <p>(1)</p> <p>① 問題解決の過程を踏まえ、学習の流れが示されており、見通しをもって学習をすることができるよう配慮されている。また、観察・実験から得られた結果を適切に記録することができるよう工夫されている。実験のやり方をQRコードから動画で確認することができ、知識・技能を習得できるよう工夫されている。</p> <p>② 導入で、単元全体の学習を通して解決を目指す問題が提示されており、観察、実験の必要性や内容のつながりを捉えることができるよう配慮されている。また、それぞれの問題解決の過程において話合いの視点が示されており、自然の事物・現象を多面的に捉え、より妥当な考えをつくりだす力を育成することができるよう配慮されている。</p> <p>③ 単元末に「理科の世界探検部」が設定されており、学習した自然の事物・事象の性質や規則性が、生活や社会の中で実際に成り立っていることに気付くことができるよう工夫されている。</p> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>問題をつかむための活動「レッツトライ！」では、身近な自然の事物・現象に関連する内容が掲載されており、児童自らが問題を見だし、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。</li> <li>予想や考察をする場面では、具体的な対話例が示されているとともに、巻末に「発表のしかた」、「話し合いのしかた」が明示されており、対話の流れやポイントを踏まえ、話し合う活動の充実を図ることができるよう配慮されている。</li> <li>領域ごとの特徴的な視点や重視したい考え方が例示されており、それを手掛かりとして思考することで、問題を見だし、解決することができるよう工夫されている。また、「広げよう理科の発想」では、単元を通して学んだことを広げたり、深めたりすることができるよう工夫されている。</li> </ul> |                     | <p>(1)</p> <p>① 4年「水のすがたと温度」では、実験結果のグラフや表が大きく掲載されており、そこから気付きを得ることができるよう配慮されている。3年「風やゴムのはたらき」では、車に風をあてて走らせる実験のやり方が動画で見られる。</p> <p>② 6年「植物のからだのはたらき」では、児童が思考する際の手掛かりが吹き出しで示されており、その手掛かりを基に問題解決の力を育成することができるよう配慮されている。</p> <p>③ 6年「てこのはたらきとしくみ」では、自転車に活用されたてこの原理を示すことにより、学習内容と日常生活とのつながりに気付くことができるよう工夫されている。</p> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>5年「物のとけ方」では、水に食塩が溶ける様子を示すことで気付きを促し、進んで学習に取り組むことができるよう工夫されている。</li> <li>4年「物の体積と温度」では、金属が温められたとき体積が変化するかを予想する場面において、例を参考にして、話し合う活動の充実を図ることができるよう配慮されている。</li> <li>6年「電気と私たちのくらし」では、「広げよう理科の発想」で電気を効率的に使うための工夫が示されており、学習内容の理解を深めることができるよう工夫されている。</li> </ul> |     |

| 大観点               | 小観点                            | 調査の結果  |   |
|-------------------|--------------------------------|--|---|
|                   |                                | 小観点及び内容の全体的なもの   | 各学年の特記事項  |
| 2<br>程度・選択・取扱について | (1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。   | (1) 写真が大きくて見やすく、掲載されている量も多く、児童の理解を深める手立てとなり、学習への興味・関心を高めることができるよう配慮されている。文字の書体がUD書体であり、読み仮名もついているため、ユニバーサルデザインを意識している。   | (1) 3年「チョウのようすをくらべてみよう。」では、モンシロチョウが育っていく様子を鉛筆のこすり出しを使って実際の大きさなどを確かめるなど、興味・関心を高めることができるよう工夫されている。  |
|                   | (2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。 | (2) ・ それぞれの単元で既習した要点を「ふりかえろう」で確認し、「たしかめよう」で学習内容の確実な定着を図ることができるよう配慮されている。<br><br>・ 「広げよう！理科の発想」、「理科の世界探検部」では、日常生活で見られる身近な事象が発展的内容として取り上げられており、理科の有用性を認識することができるよう配慮されている。                           | (2) ・ 単元末の「たしかめよう」では、学習内容の定着を図り、日常生活との関連を意識させ、学んだことを活用し、問題を解決することができるよう配慮されている。<br>・ 3年「太陽の光」では、「理科の世界探検部」で、既習内容を活用した太陽熱発電が発展的内容として取り上げられている。                 |
|                   | (3) 学習を安全に行う上での配慮がされているか。      | (3) 実験・観察のページには、感染症予防マークと「手を洗おう」が繰り返し掲載されており、感染症予防に対して配慮されている。また、「きけん」の注意事項について、学年に応じて文末表現を工夫し、児童が意識して操作することができるよう配慮されている。   | (3) 注意事項について、3年では、「～してはいけません」、4～6年では、「～してはいけない」と表現している。   |
| 3<br>組織・配列等について   | (1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。     | (1) ・ 各単元において「問題」、「観察・実験・活動」、「まとめ」の流れで問題を解決することができるよう構成されており、問題解決の過程を踏まえ見通しをもって学習を進めることができるよう配慮されている。<br>・ 各学年の巻末「1年間をふりかえろう」には、当該学年における領域ごとの学習内容がまとめられているとともに、他学年との学習内容のつながりを確認することができるよう配慮されている。 | (1) ・ 導入・展開・まとめの流れが、矢印やページの色分けなどを工夫して示されている。<br><br>・ 6年巻末では、1年間の学習内容が4領域にまとめられ、中学校での学習項目が明示されている。  |
|                   | (2) 他教科等との関連について配慮されているか。      | (2) ・ 巻末には、「算数科で学んだことを活用しよう」が掲載されており、算数科の学習を通して学んだことを生かして考えることにより、理解を深めることができるよう工夫されている。<br><br>・ 巻末には、「理科とプログラミング」が掲載されており、防災教育や情報教育、環境教育との関連が図られている。   | (2) ・ 5年「物のとけ方」では、算数科で学んだ「比例と反比例」の考え方を活用して、溶けたミョウバンの量と水の量が比例の関係にあるかを考えることができるよう工夫されている。<br>・ 3年「電気の通り道」、「じしゃくのせいしつ」で学習したことを基に、仲間分けのアルゴリズムを使ったプログラミングが掲載されている。 |

令和6年度使用小学校用教科用図書調査研究資料

| 教科用図書の記号・番号・名称                  |   |   |   | 種 目       | 理 科 |
|---------------------------------|---|---|---|-----------|-----|
| 3 年                             | 4 年   | 5 年   | 6 年   | 発 行 者 名   |     |
| 理科308<br>新版 たのしい理科<br>3年        | 理科408<br>新版 たのしい理科<br>4年  | 理科508<br>新版 たのしい理科<br>5年  | 理科608<br>新版 たのしい理科<br>6年  | 大日本図書株式会社 |     |
| 大<br>観<br>点                     | 小<br>観<br>点   | 調 査 の 結 果   |   |           |     |
|                                 |   | 小観点及び内容の全体的なもの  |   | 各学年の特記事項  |     |
| 1<br>内<br>容<br>に<br>つ<br>い<br>て | (1) 学習指導要領に示された目標・内容について配慮されているか。<br><br>① 自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにすること<br><br>② 問題解決の力を養うこと<br><br>③ 自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養うこと | (1)<br><br>① 全ての学年において、「～をするコツ」が掲載されており、学習を進める上での手掛かりとなるよう配慮されている。「問題を見つける」、「結果から考える」では、「ココに注目」として、考える際のポイントが示されており、学習を通して知識等を身に付けることができるよう配慮されている。<br><br>② ・学習問題を解決するための手立てとして「ポイント」が示されるなど、児童が実験から得た結果を処理し、考察することができるよう配慮されている。<br>・実験において、別の方法を紹介しており多様な方法で問題解決できるよう配慮されている。<br><br>③ 単元末に、「りかのたまてばこ」や「サイエンスワールド」等を設定し、学んだことを日常における自然の事物・事象と関連付けて考えることにより、自然の秩序や規則性に気付くことができるよう工夫されている。 | (1)<br><br>① 4年「天気と気温」では、変化が分かるように結果を表や写真で記録するよう示されており、必要な技能を身に付けることができるよう配慮されている。<br><br>② 3年「音のふしぎ」では、音の伝わる時の実験を一人でもできる方法を紹介している。<br><br>③ 5年「電磁石の性質」の「りかのたまてばこ」では、生活の中で利用されるモーターやMRI、超伝導リニアなどの科学技術に視点を当て、理科の有用性に気付くことができるよう工夫されている。                              |           |     |
|                                 | (2) 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるよう配慮されているか。  | (2)<br><br>・単元の導入の「問題を見つける」では、事物・現象に対して関心や意欲を高め、問題を見だし、解決するなどの活動を位置付けており、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。<br><br>・計画を立てたり、考察をしたりする場面では、話し合う様子が例示されており、既習の内容や生活体験を基に、根拠のある予想や仮説を発想することができるよう配慮されている。<br><br>・実験計画を立案する過程や、考察をする過程における話し合い活動が例示されており、児童が、話し合う活動を通して、条件を制御して、観察・実験を行ったり、結果を分析し解釈したりすることができるよう工夫されている。   | (2)<br><br>・3年「ゴムと風の力のはたらき」では、ゴムで動く車を使った遊びでの気づきから、問題を見いだすことができるよう工夫されている。<br>・4年「ものの温度と体積」では、既習内容や話し合いの視点が示されており、空気の温度の変化と体積の変化の関係について、根拠のある予想を発想することができるよう工夫されている。<br>・5年「流れる川のはたらきと土地の変化」では、実験計画について話し合う活動を提示することで、実験する内容を再確認したり、目的に応じて条件をそろえたりすることができるよう工夫されている。 |           |     |

| 大観<br>点   | 小<br>観<br>点                    | 調 査 の 結 果   |  |
|---|--------------------------------|---|--|
|   |                                | 小観点及び内容の全体的なもの  | 各学年の特記事項   |
| 2<br>程<br>度<br>・<br>選<br>択<br>・<br>取<br>扱<br>に<br>つ<br>い<br>て | (1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。   | (1)<br>・表紙扉に学年で扱う学習内容について、漫画により問い掛けることで、児童の問題解決への興味・関心を高めることができるよう工夫されている。<br>・写真による資料から多く児童に理解しやすいよう工夫されている。   | (1)<br>・3年の「地面のようすと太陽」では、導入時にかけふみ遊びを体験させることで興味・関心を高め、そこから気付いたことを基に問題を設定することができるよう配慮されている。  |
|   | (2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。 | (2)<br>・「深めよう」では、補充的な学習を行い、それぞれの単元末の「たしかめよう」と「学んだことを生かそう」で演習を行うことにより、学習内容の定着を図ることができるよう配慮されている。<br><br>・発展的な学習として、「サイエンスワールド」を学習内容に合わせて効果的に取り上げられている。   | (2)<br>・単元末の「たしかめよう」では、基本的な内容を問う問題、「学んだことを生かそう」では、自然の事物・事象を説明させる問題が取り上げられている。<br><br>・6年「体のつくり」では、内臓の役割やつくりなどが発展的な内容として取り上げられている。  |
|   | (3) 学習を安全に行う上での配慮がされているか。      | (3) 巻末ページの「器具の使い方」では、器具の使い方や注意が目的別に記述されており、確認することができるよう配慮されている。また、安全面での配慮を「注意」、実験・観察でのコツを「ポイント」と区別して掲載することにより、観察・実験を安全に行うことができるよう工夫されている。   | (3) 6年巻末ページ pp.218-219では、「気体を調べる」という項目で、気体検知管、石灰水、酸素測定器の使い方が示されている。  |
| 3<br>組<br>織<br>・<br>配<br>列<br>等<br>に<br>つ<br>い<br>て           | (1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。     | (1)<br>・各単元において「見つけよう」、「調べよう」、「伝えよう」の流れで問題解決の過程が示されており、問題解決の過程を意識しながら、見通しをもって学習を進めることができるよう工夫されている。<br>・関連する内容については、適宜既習内容が示されたり、単元末「サイエンスワールド」では、上位学年や中学校での学習内容が紹介されていたりしており、内容の系統性を意識して学習することができるよう配慮されている。 | (1)<br>・導入・展開・まとめの各段階が、緑→黄→紫とページが色分けされており、学習過程を踏まえて学ぶことができるよう工夫されている。<br>・5年「電磁石の性質」では、単元の途中に3年生での学習項目が示され、単元末では中学校の学習内容が示されている。   |
|   | (2) 他教科等との関連について配慮されているか。      | (2)<br>・巻末に「算数とつなげよう」、「ほかの教科ともつなげよう」があり、算数科や、生活科、音楽科、社会科等と関連が図られており、学習内容の理解を深めることができるよう工夫されている。<br><br>・教科書に使われているマークに「○○とのつながり」や、「SDGs、環境、防災、理科と仕事、伝統、科学技術、英語」があり、他教科や総合的な学習の時間との関連が図られている。                  | (2)<br>・3年「植物の育ち方（生活科）」、「ゴムと風の力のはたらき（生活科）」、「音のふしぎ（生活科、音楽科）」、「地面のようすと太陽（社会科）」と他教科とのつながりがまとめられている。<br><br>・6年「ものの燃え方」の「りかのたまてばこ」では、SDGsと環境、科学技術に関連する内容が掲載されており、総合的な学習の時間等とつなげることができるよう工夫されている。 |

## 令和6年度使用小学校用教科用図書調査研究資料

| 教科用図書の記号・番号・名称                  |   |   |  | 種 目      | 理 科 |
|---------------------------------|---|---|--|----------|-----|
| 3 年                             | 4 年   | 5 年   | 6 年  | 発 行 者 名  |     |
| 理科309<br>みんなと学ぶ<br>小学校 理科 3年    | 理科409<br>みんなと学ぶ<br>小学校 理科 4年  | 理科509<br>みんなと学ぶ<br>小学校 理科 5年  | 理科609<br>みんなと学ぶ<br>小学校 理科 6年   | 学校図書株式会社 |     |
| 大<br>観<br>点                     | 小<br>観<br>点   | 調 査 の 結 果   |  |          |     |
|                                 |   | 小観点及び内容の全体的なもの  |  | 各学年の特記事項 |     |
| 1<br>内<br>容<br>に<br>つ<br>い<br>て | (1) 学習指導要領に示された目標・内容について配慮されているか。<br><br>① 自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に着けるようにすること<br><br>② 問題解決の力を養うこと<br><br>③ 自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養うこと | (1)<br><br>① 見方・考え方を働かせる場面のポイントがキャラクターで示され、自己チェックすることができるよう工夫され、知識や技能の確実な定着を図ることができるよう配慮されている。<br><br>② 単元全体を通して、問題解決の過程が示されているとともに、児童が立てた予想や結果を基に考えたことを比較・検討する活動の場が設けられており、問題解決の力の育成を図ることができるよう配慮されている。<br><br>③ 各単元末では、「やってみよう」が設定されており、関心を高め、新たな疑問や気付きを得るなど、既習内容を基に、進んで問題を解決しようとする態度を育むことができるよう工夫されている。                                      | (1)<br><br>① 5年「電流と電磁石」では、計画や予想、考察でのポイントを簡潔に示すことで、基本的な考え方や知識の定着を図ることができるよう配慮されている。<br><br>② 6年「ものの燃え方と空気」では、酸素・窒素・二酸化炭素を粒子としてモデル化し、より妥当な考えをつくりだし、表現する際の手掛かりにすることができるよう工夫されている。<br><br>③ 6年「電気と私たちの生活」の「やってみよう」では、「風力発電機を作ってみよう」という問題が設定されており、学習内容と日常生活とのつながりに気付くことができるよう工夫されている。 |          |     |
|                                 | (2) 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるよう配慮されているか。  | (2)<br><br>・ 単元の導入では、問題を見いだすことができるよう、様々な事象や活動が設定されている。また、実験の内容や調べる方法を写真や絵で示すことにより、主体的に問題を解決することができるよう工夫されている。<br>・ 導入や予想、考察の場面では、自分の考えを伝え合う場面が設定されており、話し合う活動を通して、多様な考えに触れて学びを深めることができるよう工夫されている。<br>・ 「ふりかえろう」では、説明する活動が位置付けられており、生活につなげたり、既習内容を基に根拠を考えたりして説明することにより、理解が深まるよう工夫されている。また、学習内容に関連した資料が提示されており、学んだ知識を日常生活に当てはめて考えることができるよう工夫されている。 | (2)<br><br>・ 6年「植物の養分と水」では、葉にでんぷんが含まれているか調べる方法などが示されており、主体的に問題を解決することができるよう工夫されている。<br>・ 4年「空気と水」では、筒の中の空気の様子を図で書き込めるよう掲載されており、自分の考えを表現したり、話し合う活動を通して考えを深めたりすることができるよう工夫されている。   |          |     |

| 大観点               | 小観点  | 調 査 の 結 果  |  |
|-------------------|--|--|--|
|                   |  | 小観点及び内容の全体的なもの   | 各学年の特記事項   |
| 2<br>程度・選択・取扱について | <p>(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。</p> <p>(2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。</p> <p>(3) 学習を安全に行う上での配慮がされているか。</p> | <p>(1) 身近な事物・現象の写真や絵などの資料を用いるとともに、目に見えないものについては、モデル化して図示することにより、児童の発達の段階に応じて理解を深めることができるよう配慮されている。</p> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ふりかえろう」では、それぞれの単元で習得した科学的な言葉を用いて演習を行うことで、学習内容の定着を図ることができるよう配慮されている。</li> <li>・ 「もっとしりたい」では、発展的な内容が、3年で4項目、4年で4項目、5年で8項目、6年で7項目を取り上げている。</li> </ul> <p>(3) 観察・実験のページや巻末ページには、器具の使い方や安全面の注意事項が掲載されており、安全に問題解決をすることができるよう工夫されている。</p>   | <p>(1) 3年「しぜんのかんさつ」では、春の野原の生き物として、様々な写真が掲載されており、学習への興味・関心を高めることができるよう配慮されている。</p> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ふりかえろう」、「もっとしりたい」では、基本的な問題に加え、学んだ科学的な用語を用いて、事象を説明するなどの問題も取り上げられている。</li> <li>・ 3年「光を調べよう」の「もっとしりたい」では、日常生活の中で光の反射を利用したものが発展的内容として取り上げられている。</li> </ul> <p>(3) 4年「ものの温まり方」では、巻末ページが示されており、関連する器具の使用に関する注意事項が示されている。</p>                                    |
| 3<br>組織・配列等について   | <p>(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。</p> <p>(2) 他教科等との関連について配慮されているか。</p>   | <p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単元を通して身に付けた問題解決の力を、計画的に育成することができるよう、単元の配列が工夫されている。</li> <li>・ 同一学年において、季節ごとに学習する単元については、枝番号が付いた単元表記とすることにより、単元相互の関連が明確になるよう配慮されている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単元末で、学習したことを生かした日常生活に関連した事象を取り上げている。また、右上に「仕事」や「くらし」が示されており、他教科等との関連が図られている。</li> <li>・ 各学年の巻末では、「理科の世界をふりかえろう」が記載されており、人間関係形成能力や自己理解・自己管理能力の育成など、キャリア教育との関連が図られている。</li> </ul> | <p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5年では、最初の単元「ふりこの運動」で条件制御の考え方を学び、その学びを生かして、後の学習を取り組むことができるよう工夫されている。</li> <li>・ 3年「2 植物を育てよう」では、植物の成長に合わせて「2-4」まで単元が表記され、関連が図られている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3年の「かげと太陽」では、学習したことを生かした日光の利用が取り上げられており、環境教育との関連が図られている。</li> <li>・ 6学年の巻末の「理科の世界をふりかえろう」では、自己の成長を確かめ、中学校の学びに生かすことができるよう工夫されている。</li> </ul> |

令和6年度使用小学校用教科用図書調査研究資料

| 教科用図書の記号・番号・名称                  |   |   |                          | 種 目   | 理 科 |
|---------------------------------|---|---|--------------------------|---|-----|
| 3 年                             | 4 年   | 5 年   | 6 年                      | 発 行 者 名   |     |
| 理科310<br>みらいをひらく<br>小学理科3       | 理科410<br>未来をひらく<br>小学理科4                            | 理科510<br>未来をひらく<br>小学理科5  | 理科610<br>未来をひらく<br>小学理科6 | 教育出版株式会社  |     |
| 大<br>観<br>点                     | 小<br>観<br>点   | 調 査 の 結 果   |                          |   |     |
|                                 |   | 小観点及び内容の全体的なもの  |                          | 各学年の特記事項  |     |
| 1<br>内<br>容<br>に<br>つ<br>い<br>て | (1) 学習指導要領に示された目標・内容について配慮されているか。                   | ① 観察する手順やポイントが示されており、実験や観察する上で必要な技能を身に付けることができるよう配慮されている。また、単元の導入に「学習のつながり」が位置付けられており、学習内容の相互の関連を意識し学習することができるよう配慮されている。  |                          | ① 3年「生き物を調べよう」では植物と動物の観察の手順を分けて示されており、観察する際に必要な技能を身に付けることができるよう配慮されている。   |     |
|                                 | ① 自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に着けるようにすること | ② 全学年において、巻頭に「前年度で学んだこと」や、「〇年で大切にしたい言葉」が掲載されており、当該学年の目標などを意識して学習することができるよう配慮されている。  |                          | ② 5年「ふりこ」では、実験方法を立案する手順が示されており、条件を制御しながら解決の方法を考えることができるよう配慮されている。   |     |
|                                 | ② 問題解決の力を養うこと                                       | ③ 単元末に「学びを広げよう」が掲載されており、身の回りの自然の事物・事象の性質や規則性が、生活や社会の中で実際に成り立っていることに気付くことができるよう工夫されている。  |                          | ③ 5年「天気の変化」では、「自分が住んでいる場所の天気予報をしてみましよう」という問題を設定し、学習内容と日常生活や社会とのつながりや、理科の有用性に気付くことができるよう工夫されている。   |     |
|                                 | ③ 自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養うこと                    | (2)   |                          | (2)   |     |
|                                 | (2) 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるよう配慮されているか。        | <ul style="list-style-type: none"> <li>「見つけよう」では、体験や観察を通して問題を見いだし、主体的に学習に取り組むことができるよう配慮されている。また、「チャレンジ」が設定されており、学習内容を活用して、新たな学習問題に取り組むことができるよう工夫されている。</li> <li>巻頭には、「自分たちの考えを伝え合い、学び合おう」で話型が示されたり、問題解決の過程で話し合う場面が設定されたりしており、対話を通して学習を進めることができるよう工夫されている。</li> <li>「考え方のカギ」や「見方のカギ」が示されており、比較したり、見方・考え方を働かせて問題解決に取り組んだりすることができるよう配慮されている。さらに「学びを広げよう」では、習得した知識等を活用して考えることができるよう、発問が例示されており、日常生活に当てはめて考えることができるよう工夫されている。</li> </ul> |                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>5年「植物の発芽や成長」では、3、4年生で体験したことを「見つけよう」で想起させ、問題を見い出すことができるよう工夫されている。</li> <li>5年「ふりこ」では、予想を確かめるために何と何を比べればよいかについて、話し合う様子が例示されている。</li> <li>4年「雨水と地面」では、「学びを広げよう」の中で、粒の大きさによって水のしみ込み方が異なる知識を生かし、植木鉢の底に石をしくことの原因を考えさせることにより、日常生活に当てはめて考えることができるよう工夫されている。</li> </ul> |     |

| 大観点               | 小観点                            | 調 査 の 結 果   |   |
|-------------------|--------------------------------|---|---|
|                   |                                | 小観点及び内容の全体的なもの  | 各学年の特記事項  |
| 2<br>程度・選択・取扱について | (1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。   | (1) 誌面の区切りを少なくし、文字を大きくしたり、重要な用語に色を付けたりすることで、読みやすくなるよう配慮されている。また、観察するものが実物大の大きさや見開きページを使って絵を掲載することにより、児童の興味・関心を高めることができるよう工夫されている。   | (1) 6年「人や他の動物の体」では、臓器の様子がほぼ実際の大きさで見開き4ページで掲載されており、それぞれの臓器の働きについて理解することができるよう工夫されている。  |
|                   | (2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。 | (2) <ul style="list-style-type: none"> <li>「チャレンジ」では、補充的な学習を、「ふり返ろう」や「わかったことは何か？」では、学習内容の要点の確認を、「確かめよう」では、演習を行うことにより、学習内容の定着を図ることができるよう配慮されている。</li> <li>「科学のまど」では、発展的な学習につながるよう、様々な資料が取り上げられている。</li> </ul>  | (2) <ul style="list-style-type: none"> <li>「確かめよう」では、基本的な知識等を問う問題と、事象について説明させる問題などが掲載されている。</li> <li>4年「水のゆくえ」では、発展的内容として「自然の中をめぐる水」が取り上げられている。</li> </ul>  |
|                   | (3) 学習を安全に行う上での配慮がされているか。      | (3) 実験で気を付けることを「注意」、けが防止の点を「きけん」と区別して示し、裏表紙には、単元に応じた「理科の安全の手引き」がまとめて掲載されており、安全に観察・実験を行うことができるよう配慮されている。   | (3) 5年「もののとけ方」では、「注意」と「きけん」を区別し、薬品を扱う際の人体への危険性を強調し、安全に実験を行うことができるよう配慮されている。   |
| 3<br>組織・配列等について   | (1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。     | (1) <ul style="list-style-type: none"> <li>各単元において、「見つけよう」、「問題」、「予想しよう」、「計画しよう」、「観察・実験」、「結果から考えよう」、「結論」、「学びを広げよう」の流れで問題を解決することができるよう構成されており、問題解決の手順を意識しながら、見通しをもって学習に取り組むことができるよう工夫されている。</li> <li>教科書の巻頭と巻末や各単元の導入には、関連する既習内容や今後の学習内容とのつながりが示されており、系統性を意識して学習することができるよう工夫されている。</li> </ul> | (1) <ul style="list-style-type: none"> <li>全学年の巻頭「学習の進め方」に、学習の手順とその説明が記載されており、構成に配慮されている。</li> <li>6年「植物の体」では、導入に「学習のつながり」や「思い出そう」が示されており、前後の学年とのつながりや既習内容との関連が明確になるよう工夫されている。</li> </ul>   |
|                   | (2) 他教科等との関連について配慮されているか。      | (2) <ul style="list-style-type: none"> <li>全ての学年において、SDGsについて触れており、総合的な学習の時間や環境教育、福祉教育との関連が図られている。</li> <li>目次で「算数とのつながり」を示しており、算数科との関連が図られている。</li> </ul>  | (2) <ul style="list-style-type: none"> <li>4年「体のつくりと運動」では、ロンドンパラリンピックの写真とともに、SDGsの10と17の目標が示されている。また、「しょうがい者が、しょうがいをもたない人とスポーツを楽しむには、どうすればよいかな？」と問い掛けなど、人権教育や福祉教育との関連が図られるよう工夫されている。</li> <li>4年「天気による気温の変化」では、折れ線グラフのかき方が、6年の「てこ」では、「比例と反比例」の視点が書かれており、算数科と関連が図られている。</li> </ul> |

令和6年度使用小学校用教科用図書調査研究資料

| 教科用図書の記号・番号・名称    |   |  |                   | 種目  | 理科 |
|-------------------|---|--|-------------------|---|----|
| 3年                | 4年  | 5年   | 6年                | 発行者名  |    |
| 理科311<br>わくわく理科 3 | 理科411<br>わくわく理科 4   | 理科511<br>わくわく理科 5  | 理科611<br>わくわく理科 6 | 株式会社新興出版社啓林館  |    |
| 大観点               | 小観点   | 調査の結果  |                   |   |    |
|                   |   | 小観点及び内容の全体的なもの   |                   | 各学年の特記事項  |    |
| 1<br>内容について       | (1) 学習指導要領に示された目標・内容について配慮されているか。<br><br>① 自然の事物・現象について、理解を深めること、観察・実験などを通して、科学的な態度を養うこと。<br><br>② 問題解決の力を養うこと。<br><br>③ 自然を愛する態度を養うこと。 | <p>(1)</p> <p>① 単元末「ト」について、自ら考え、問題を解決する力を養うこと。また、学習内容が単元末「ト」について、自ら考え、問題を解決する力を養うこと。また、学習内容が単元末「ト」について、自ら考え、問題を解決する力を養うこと。</p> <p>② 問題解決の力を養うこと。また、学習内容が単元末「ト」について、自ら考え、問題を解決する力を養うこと。また、学習内容が単元末「ト」について、自ら考え、問題を解決する力を養うこと。</p> <p>③ 単元末「ト」について、自ら考え、問題を解決する力を養うこと。また、学習内容が単元末「ト」について、自ら考え、問題を解決する力を養うこと。</p> |                   | <p>(1)</p> <p>① 6年「ト」について、自ら考え、問題を解決する力を養うこと。また、学習内容が単元末「ト」について、自ら考え、問題を解決する力を養うこと。また、学習内容が単元末「ト」について、自ら考え、問題を解決する力を養うこと。</p> <p>② 5年「ト」について、自ら考え、問題を解決する力を養うこと。また、学習内容が単元末「ト」について、自ら考え、問題を解決する力を養うこと。また、学習内容が単元末「ト」について、自ら考え、問題を解決する力を養うこと。</p> <p>③ 6年「ト」について、自ら考え、問題を解決する力を養うこと。また、学習内容が単元末「ト」について、自ら考え、問題を解決する力を養うこと。また、学習内容が単元末「ト」について、自ら考え、問題を解決する力を養うこと。</p> |    |
|                   | (2) 主体的・対話的で深い学びの実現が図られているか。  | <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>問題解決の力を養うこと。また、学習内容が単元末「ト」について、自ら考え、問題を解決する力を養うこと。</li> <li>予想・計画を立て、問題を解決する力を養うこと。また、学習内容が単元末「ト」について、自ら考え、問題を解決する力を養うこと。</li> <li>単元末「ト」について、自ら考え、問題を解決する力を養うこと。また、学習内容が単元末「ト」について、自ら考え、問題を解決する力を養うこと。</li> </ul>   |                   | <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3年「ト」について、自ら考え、問題を解決する力を養うこと。また、学習内容が単元末「ト」について、自ら考え、問題を解決する力を養うこと。</li> <li>5年「ト」について、自ら考え、問題を解決する力を養うこと。また、学習内容が単元末「ト」について、自ら考え、問題を解決する力を養うこと。</li> <li>3年「ト」について、自ら考え、問題を解決する力を養うこと。また、学習内容が単元末「ト」について、自ら考え、問題を解決する力を養うこと。</li> </ul>  |    |

| 大観点               | 小観点                            | 調 査 の 結 果   |  |
|-------------------|--------------------------------|---|--|
|                   |                                | 小観点及び内容の全体的なもの  | 各学年の特記事項   |
| 2<br>程度・選択・取扱について | (1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。   | (1) 単元の導入時に、学習問題とつながりのある身近な経験や、実際に調べるような実験の写真を掲載することにより、単元への興味・関心を高める工夫されている。   | (1) 4年「ものの温度と体積」では、試験管を使い、実験の結果を写真で記録し、分らない部分を隠す工夫が先ずな高められている。   |
|                   | (2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。 | (2) ・「たしかめよう」、「活用しよう」で演習を行うことにより、学習内容の習得を図ることができるよう配慮されている。<br>・表紙にQRコードがあり、タブレットに入れば家で学習できるよう工夫されている。<br>・「理科の広場」、「くらしとリンク」で発展的な学習が取り上げられており、理科の有用性を認識することができるよう配慮されている。                           | (2) ・単元末の「たしかめよう」では、基礎的な問題を、「活用しよう」では、応用問題が取り上げられている。<br>・5年「植物の発芽と成長」では、「基本チェック」で内容を確かめる。<br>・4年「もののあたまの構造」では、日常生活の事例を取り上げられており、学習の意図が伝わりやすくなっている。  |
| 3<br>組織・配列等について   | (1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。     | (1) 各単元の観察・実験のページでは、ユニバーサルデザインの視点から、安全に利用できるような配慮がされている。  | (1) 3年では、「けが」、「やけど」、「強い光」などのマーカーを用いて観察し、結果を振り返り、学習の意図が伝わりやすくなっている。   |
|                   | (2) 他教科等との関連について配慮されているか。      | (2) ・学習内容の特性に合わせて季節や実施時期が考慮されており、ねらいに沿って問題が解決できるよう、単元の配列が工夫されている。<br>・表紙のQRコードでは、全学年の内容が見られるため履修内容が確認でき、系統的な学習につながる工夫がされている。<br>・単元の導入「思い出そう」で関連する既習内容が図や写真とともに示されており、学習内容の系統性を意識することができるよう工夫されている。 | (2) ・6年「水や液体の性質」では、外気温が高くなる時期に実験を進め、期待できる結果を得ようとしている。<br>・4年「電気のはたらき」では、単元の導入で回路を図示する内容を確認することができるよう工夫されている。<br>・6年「月と太陽」では、月を詠んだ俳句を掲載し、国語科と関連付けている。<br>・5年「流れる水のはたらき」では、くらしとリンクでスタジアムが水害から街を守るシステムをSTEAMやSDGsと繋げて考えられた記事が掲載されている。 |

令和6年度使用

小学校・義務教育学校前期課程用  
教科用図書調査研究資料

生 活

那須塩原市・那須町採択地区協議会

## 令和6年度使用小学校用教科用図書調査研究資料

|  |   | 種 目  | 生 活 |
|--|---|--|-----|
| 教科用図書の記号・番号・名称                         |   | 発 行 者 名  |     |
| 1 年                                    |   | 2 年  |     |
| 生活 117<br>どきどき わくわく<br>新編 あたらしい せいかつ 上 |   | 生活 118<br>あしたへ ジャンプ<br>新編 新しい 生活 下   |     |
|  |   | 東京書籍株式会社   |     |
| 大観点                                    | 小 観 点   | 調 査 の 結 果  |     |
| 1<br>内<br>容<br>に<br>つ<br>い<br>て        | (1) 学習指導要領に示された目標・内容について配慮されているか。<br><br>① 学校、家庭及び地域の生活に関すること<br><br>② 身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関すること<br><br>③ 自分自身の生活や成長に関すること | (1) 上下巻を通じて、下記の内容が特に重視されており、目標や内容について配慮されている。<br><br>① 【地域と生活】<br>学校探検や地域探検を通して、児童と大人の会話を色分けしたり、インタビュー等の活動での会話を数多く取り上げたりすることで、自分たちの生活が人と深く関わっていることに気付くことができるよう配慮されている。<br>「がっこうだいすき」(上 pp.14-25)<br>「どきどきわくわくまちたんけん」(下 pp.20-29)<br>「もっとなかよしまちたんけん」(下 pp.68-79)<br><br>② 【季節の変化と生活】<br>季節ごとの自然や人々の暮らしの変化を同じ風景で比較することを通して、季節による違いや特徴を見付け、四季の変化に気付くことができるよう工夫されている。<br>二次元コードが2か所があり、動画や写真を見ることができ、詳しい解説が見ることができる。<br>「なつがやってきた」(上 pp.40-43)<br>「たのしいあきいっぱい」(上 pp.64-67)<br>「ふゆをたのしもう」(上 pp.88-91)<br>「校ていで春をさがそう」(下 pp.2-3)<br><br>③ 【自分の成長】<br>自分の成長を振り返ったりすることや、写真や友達からの手紙、身近な人の話を聞いたりすることなどから、自分自身の成長を他者との関わりを通して、これからの自分の生活に期待させ、意欲的に生活することができるよう配慮されている。<br>「もうすぐ2ねんせい」(上 pp.102-112)<br>「あしたへジャンプ」(下 pp.92-102) |     |
|  | (2) 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるよう配慮されているか。  | (2) 上巻では、全体を通して吹き出しを多用することで、児童の気付きを促すとともに、友達と交流することができるよう工夫されている。また下巻では、一人一人の気付きを伝え合い、交流している様子や試行錯誤して何度も挑戦する様子を具体的に示すことで、気付きの質を高めることができるよう工夫されている。<br>(下 pp.12-15、pp.48-51、pp.72-75)   |     |
|  | (3) 地域の実態に応じる配慮がされているか。   | (3) 各地の伝統行事や伝承遊びなどを写真で紹介するとともに、イラストを用いて同じ場面の季節の変化を表現することで、児童が地域の人や自然に興味・関心をもつことができるよう配慮されている。<br>「なつのおそびずかん」(上 pp.50-51)<br>「むかしからつたわるあそびをたのしもう」(上 pp.100-101)<br>「春のくらし」(下 p.7) 「夏のくらし」(下 p.43)<br>「秋のくらし」(下 p.57) 「冬のくらし」(下 p.91)  |     |

| 大観<br>点                               | 小 観 点  | 調 査 の 結 果   |
|---------------------------------------|--|---|
| 2<br>程 度<br>・ 選 択<br>・ 取 扱<br>に つ い て | <p>(1) 発達 の 段 階、興 味・関 心 に つ い て 考 慮 さ れ て い る か。</p> <p>(2) 補 充 的 な 学 習、発 展 的 な 学 習 に つ い て 配 慮 さ れ て い る か。</p> | <p>(1) ・ 各 単 元 の 最 初 の ペ ー ジ は、見 開 き で 大 き な 写 真 を 掲 載 し、構 成 を 工 夫 す る こ と で、こ れ か ら 行 う 活 動 へ の 意 欲 を 高 め る こ と が で き る よ う 配 慮 さ れ て い る。</p> <p>・ 幼 稚 園 や 保 育 所 な ど を 想 起 さ せ る 写 真 が 掲 載 さ れ て お り、経 験 し た こ と が あ る と い う 安 心 感 を 与 え る と と も に、学 校 生 活 へ の 期 待 が 高 ま る 言 葉 掛 け を 提 示 す る こ と で、今 後 の 学 校 生 活 へ の 意 欲 を 高 め る こ と が で き る よ う 工 夫 さ れ て い る。</p> <p>「がっこうせいかつすたあと」(上 pp.1-13)</p> <p>・ 上 巻 か ら、生 き 物 の 観 察 方 法 が 掲 載 さ れ て お り、「も っ と 詳 し く 調 べ たい」とい う 児 童 の 意 欲 を 生 か す こ と が で き る よ う 工 夫 さ れ て い る。ま た、下 巻 で は、各 単 元 の ま と め 方 や 振 り 返 り の 表 現 方 法 が 例 示 さ れ て お り、児 童 が 伝 え たい 相 手 や 内 容 に よ っ て、手 法 を 選 択 し て 活 動 す る こ と が で き る よ う 工 夫 さ れ て い る。</p> <p>(上 p.57, 下 pp.38-39)</p> <p>(2) ・ 上 巻 末 の「ほんとうのおおきさ いきものずかん」で は、原 寸 大 の 資 料 が 掲 載 す る こ と で、児 童 の 学 習 意 欲 を 高 め る こ と が で き る よ う 工 夫 さ れ て い る。</p> <p>「ほんとうのおおきさ いきものずかん」(上 pp.121-128)</p> <p>・ 下 巻 末 の「かつどう べんりてちょう」で は、学 習 に 必 要 な ま と め 方 や 調 べ 方、道 具 の 使 い 方 が、二 次 元 コー ド を 読 み 取 る こ と で、ス ラ イ ド 資 料 で 確 認 す る こ と が で き る よ う 配 慮 さ れ て い る。</p> <p>「かつどう べんりてちょう」(下 pp.103-120)</p> <p>・ 植 物 の 一 年 間 の 様 子 が、「年 間 を 通 し て 植 物 の 種 類 に よ る 違 い」、「生 長 の 段 階 に よ る 違 い」に よ っ て 比 較 で き る よ う 紙 面 が 構 成 さ れ て お り、植 物 の 生 長 に 対 す る 意 欲 を 高 め る こ と が で き る よ う 配 慮 さ れ て い る。</p> <p>(上 p.28, p.30, p.32, p.36) (下 p.11, p.13, p.17)</p> |
| 3<br>組 織<br>・ 配 列 等 に つ い て           | <p>(1) 構 成、配 列、系 統 性 に つ い て 配 慮 さ れ て い る か。</p> <p>(2) 他 教 科 等 と の 関 連 に つ い て 配 慮 さ れ て い る か。</p>            | <p>(1) ・ 上 巻 の 巻 頭 で は、保 護 者 へ 向 け た ス タ ー ト カ リ キ ュ ラ ム の 説 明 の ペ ー ジ が 掲 載 さ れ て お り、「幼 児 期 の 終 わ り ま で に 育 っ て ほ し い 姿」を イ ラ ス ト で 示 し、保 護 者 や 児 童 自 身 が こ れ ま で の 体 験 を 振 り 返 り な が ら、安 心 し て 自 己 を 発 揮 し な が ら 学 校 生 活 を 送 る こ と が で き る よ う 配 慮 さ れ て い る。</p> <p>・ 各 巻 の 巻 末 で は、「つ な が る ひ ろ が る」の ペ ー ジ で、次 学 年 の 活 動 内 容 や 新 た な 教 科 の 紹 介 が さ れ、特 に、下 巻 で は、2 年 間 学 習 し て き た こ と が、3 年 生 の 新 た な 学 習 へ と つ な が っ て い く こ と を 感 じ る こ と が で き る よ う 関 連 が 図 ら れ て い る。</p> <p>「つ な が る ひ ろ が る」(上 p.112, 下 p.102)</p> <p>(2) ・ 上 巻 の 巻 頭 の「がっこうせいかつすたあと」で は、幼 児 期 に 育 ま れ て き た 姿 と 学 校 生 活 と の 関 連 が 表 記 さ れ、児 童 が 入 学 直 後 の 生 活 を 安 心 し て 送 る こ と が で き る よ う 配 慮 さ れ て い る。</p> <p>(上 pp.1-13)</p> <p>・ 他 教 科 と の 関 連 的 な 指 導 の ヒ ン ト や 関 連 を 図 っ た 学 習 活 動 例 を 掲 載 す る こ と で、教 科 で 学 習 し た こ と を 生 か す こ と が で き る よ う 配 慮 さ れ て い る。</p> <p>(上 p.36, 下 p.15, 下 p.29, 下 p.51)</p>  |

## 令和6年度使用小学校用教科用図書調査研究資料

|                                 |   | 種 目   | 生 活 |
|---------------------------------|---|---|-----|
| 教科用図書の記号・番号・名称                  |   | 発 行 者 名   |     |
| 1 年                             |   | 2 年   |     |
| 生活 119<br>新版 たのしいせいかつ 上<br>だいすき |   | せいかつ 120<br>新版 たのしいせいかつ 下<br>ひろがれ   |     |
|                                 |   | 大日本図書株式会社   |     |
| 大観点                             | 小 観 点   | 調 査 の 結 果   |     |
| 1<br>内<br>容<br>に<br>つ<br>い<br>て | (1) 学習指導要領に示された目標・内容について配慮されているか。<br><br>① 学校、家庭及び地域の生活に関すること<br><br>② 身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関すること<br><br>③ 自分自身の生活や成長に関すること | (1) 上下巻を通じて、下記の内容が特に重視されており、目標や内容について配慮されている。<br><br>① 【地域と生活】 身近な生活圏で生活している人々や働く人々と接し、様々な場所を調べたり利用したりすることを通して、接した人々や地域の場所について考えることができるよう配慮されている。<br>「つうがくろでみつけたよ」(上 pp.42-47)<br>「春の町をさんぽしよう」(下 pp.24-29)<br>「わたしの町 はっけん」(下 pp.56-79)<br><br>② 【季節の変化と生活】 モノクロの写真を用いることで、生活の中での、色などに気付いたり、感じたりできるよう工夫するとともに、季節を変えて同じ場所に何度も出掛けることで、音やにおいなどの自然の特徴や変化に気付くことができるよう工夫されている。<br>「みんなのこうえんであそぼう」(上 pp.48-49)<br>「あきをみつけよう」(上 pp.82-99)<br><br>③ 【自分の成長】 自分ができるようになったことや、小さい頃の自分を写真や友達の手紙、身近な人へのインタビューなどから、多面的に振り返る活動を通して、自分の成長を実感し、支えてくれている人々への感謝の気持ちをもつことができるよう配慮されている。<br>「もうすぐ2年生」(上 pp.120-127)<br>「わたしひろがれ」(下 pp.92-113) |     |
|                                 | (2) 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるよう配慮されているか。  | (2) 上巻では、「きもちマーク」を使って活動の振り返り表現をすることで、一人一人の気付きを伝え合い交流することができるよう配慮されている。<br>また、下巻では、「学び方名人 話し合い名人」、「学び方名人 はっぴょう名人」として、話し合いや発表の仕方を具体的に示し、児童が自分に合った方法を選ぶことができるよう配慮されている。<br>(上 p.3, p.5, p.17, p.21, p.31, p.33, p.39, p.47, p.55, p.59, p.63, p.73)<br>(下 pp.116-119)  |     |
|                                 | (3) 地域の実態に応じる配慮がされているか。   | (3) 季節ごとの行事や郷土料理が紹介され、児童が地域に目を向けることができるよう関連が図られている。<br>(上 p.60, 上 p.77) (下 pp.4-5, 下 p.55)  |     |

| 大観点                                   | 小 観 点  | 調 査 の 結 果   |
|---------------------------------------|--|---|
| 2<br>程 度<br>・ 選 択<br>・ 取 扱<br>に つ い て | <p>(1) 発達 の 段 階、興 味・関 心 に つ い て 考 慮 さ れ て い る か。</p> <p>(2) 補 充 的 な 学 習、発 展 的 な 学 習 に つ い て 配 慮 さ れ て い る か。</p> | <p>(1) ・ 上 巻 の 前 半 は、振 り 返 り が「き も ち マー ク」で 表 せ る よ う に な っ て お り、入 学 当 初 の 児 童 も 安 心 し て 活 動 の 振 り 返 り を す る こ と が で き る よ う 工 夫 さ れ て い る。<br/>(上 p.3, 上 p.17, 上 p.63)</p> <p>・ 生 き 物 の 写 真 は、一 枚 一 枚 を 大 き く 見 や す く す る こ と で、児 童 の 感 性 を 刺 激 し、生 き 物 に 対 し て 興 味・関 心 を 高 め る こ と が で き る よ う 工 夫 さ れ て い る。(上 pp.70-71, 下 pp.34-35)</p> <p>・ 上 巻 の「が っ こ う と な か よ く な ろ う」、「あ き だ い す き」で は、端 末 で 写 真 を 撮 る 場 面 や 調 べ 学 習 の 場 面、下 巻 の「わ た し ひ ろ が れ」で は 端 末 を 使 っ た 発 表 会 の 場 面 が 提 示 さ れ て お り、児 童 の 発 達 の 段 階 に 合 わ せ て I C T の 活 用 に つ な げ る こ と が で き る よ う 配 慮 さ れ て い る。<br/>「が っ こ う と な か よ く な ろ う」(上 p.24)<br/>「あ き だ い す き」(上 pp.68-69)<br/>「わ た し ひ ろ が れ」(下 pp.104-105)</p> <p>(2) ・ 「が く し ゅ う ど う ぐ ば こ」の ペ ー ジ を 設 け る こ と で、観 察 学 習 の 仕 方 や 学 び 方 の ヒ ン ト を 確 認 す る こ と が で き る よ う 配 慮 さ れ て い る。<br/>「が く し ゅ う ど う ぐ ば こ」(上 p.130, 下 p.114)</p> <p>・ 「Web が く し ゅ う ど う ぐ ば こ」で は、二 次 元 コー ド を 読 み 取 る こ と で、児 童 の 興 味・関 心 に 応 じ て 学 習 の 資 料 を 確 認 で き、発 展 的 な 学 習 を 深 め る こ と が で き る よ う 工 夫 さ れ て い る。<br/>「Web が く し ゅ う ど う ぐ ば こ も く じ」(上 p.131, 下 p.115)</p> <p>・ 紙 面 の 登 場 人 物 が「ど う し て」、「な ぜ」と い う 言 葉 を 投 げ 掛 け る こ と で、児 童 が 疑 問・興 味 を も ち、学 習 に 広 が り を も つ こ と が で き る よ う 配 慮 さ れ て い る。</p> |
| 3<br>組 織<br>・ 配 列 等 に つ い て           | <p>(1) 構 成、配 列、系 統 性 に つ い て 配 慮 さ れ て い る か。</p> <p>(2) 他 教 科 等 と の 関 連 に つ い て 配 慮 さ れ て い る か。</p>            | <p>(1) ・ 上 巻 冒 頭 の ス タ ー ト カ リ キ ュ ラ ム が 教 師 に よ る 指 示 の み と な ら な い よ う に、児 童 自 身 が 考 え、選 び、実 行 す る 流 れ と な る よ う 配 慮 さ れ て い る。<br/>ま た、上 巻 「も う す ぐ 2 年 生」の 最 後 に は、2 年 生 の 活 動 の 様 子 を 写 真 で 紹 介 し、2 年 生 に な っ た ら ど ん な こ と に 挑 戦 し た い か に つ い て 考 え る ペ ー ジ を 設 け る こ と で、次 学 年 へ の 期 待 を 高 め る こ と が で き る よ う 関 連 が 図 ら れ て い る。<br/>(上 pp.2-7)、(上 pp.126-127)</p> <p>・ 単 元 構 成 を、上 巻 で は 大 単 元 に「〇〇 な か よ し」、「〇〇 だ い す き」、下 巻 で は「〇〇 は っ け ん」、「〇〇 ひ ろ が れ」と し、そ の 中 に「学 校、家 庭 及 び 地 域 の 生 活 に 関 わ る こ と に 関 す る も の」、「身 近 な 人 々、社 会 及 び 自 然 に 触 れ 合 っ た り 関 わ っ た り す る こ と に 関 す る も の」、「自 分 自 身 を み つ め る こ と に 関 す る も の」の 内 容 を バ ラ ン ス よ く 配 置 す る 工 夫 が さ れ て い る。</p> <p>(2) ・ 我 が 国 の 郷 土 や 文 化 と 生 活 に 親 し む こ と が で き る よ う、季 節 ご と の 地 域 で の 行 事 を 取 り 上 げ る な ど、道 徳 教 育 と の 関 連 が 図 ら れ て い る。<br/>(上 p.60, 上 p.105, 下 p.55)</p> <p>・ 他 教 科 領 域 と の 関 連 が 深 い と ころ に は、教 科 名 が 分 か る 教 科 名 の マー ク を 入 れ る 配 慮 を し て い る。<br/>(上 pp.6-7, 下 p.5)</p>  |

## 令和6年度使用小学校用教科用図書調査研究資料

|                                     |   | 種 目   | 生 活 |
|-------------------------------------|---|---|-----|
| 教科用図書の記号・番号・名称                      |   | 発 行 者 名   |     |
| 1 年                                 |   | 2 年   |     |
| 生活 121<br>みんなとまなぶ<br>しょうがっこう せいかつ 上 |   | 生活 122<br>みんなとまなぶ<br>しょうがっこう せいかつ 下   |     |
|                                     |   | 学校図書株式会社  |     |
| 大観点                                 | 小 観 点   | 調 査 の 結 果   |     |
| 1<br>内<br>容<br>に<br>つ<br>い<br>て     | (1) 学習指導要領に示された目標・内容について配慮されているか。<br><br>① 学校、家庭及び地域の生活に関すること<br><br>② 身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関すること<br><br>③ 自分自身の生活や成長に関すること | (1) 上下巻を通じて、下記の内容が特に重視されており、目標や内容について配慮されている。<br><br>① 【家庭と生活】<br>家の人の仕事を学ぶことや自分でやってみることを通して、家族のことや家庭において自分でできることなど、友達や家族について伝える活動につなげることができるよう関連が図られている。<br>「ありがとうがいっぱい」(上 pp.94-101)<br><br>② 【動植物の飼育・栽培】<br>あさがおの種の数や植木鉢の置き場所、野菜の苗や種を選ぶことなど、自己決定をする場面が大切にされており、植物の変化や成長の様子に関心をもち、自ら働きかけることができるよう工夫されている。<br>「わたしのあさがお」(上 pp.26-47)<br>「わたしたちの野さいばたけ」(下 pp.38-59)<br><br>③ 【自分の成長】<br>友達の良いところを見付ける活動や、話をカードにまとめる活動を通して、入学してからの自分の成長を感じ、支えてくれた人に対する感謝の気持ちをもつことができるよう配慮されている。<br>「もうすぐ2年生」(上 pp.118-124)<br>「わたしたんけん」(下 pp.98-112) |     |
|                                     | (2) 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるよう配慮されているか。  | (2) 児童の観察活動が深められるよう「ものしりノート」を設けることで、児童の気付きや疑問のヒントとなる具体例を示すことにより、児童の思いや願いを広げる活動や、表現を伝え合う活動の充実を図ることができるよう配慮されている。<br>「ものしりノート」(上 pp.34-35, 下 pp.44-45)  |     |
|                                     | (3) 地域の実態に応じる配慮がされているか。   | (3) 上巻では、身近に見られる動植物や昔からの遊び、下巻では、季節ごとの各地の様子や野菜などが紹介されており、児童が自分の地域に目を向けることができるよう配慮されている。<br>「ものしりのうと」(上 pp.54-55)<br>「ものしりずかん」(上 pp.68-69, 上 pp.86-87, 上 pp.104-105, 下 p.43, 下 p.59)<br>「もっとあそびたいな」(上 pp.114-115)<br>「まちのきせつ」(下 pp.2-3, 下 pp.18-21, 下 pp.36-37)   |     |

| 大観<br>点   | 小 観 点   | 調 査 の 結 果  |
|---|---|--|
| 2<br>程<br>度<br>・<br>選<br>択<br>・<br>取<br>扱<br>に<br>つ<br>い<br>て | <p>(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。</p> <p>(2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。</p> | <p>(1) ・ 上巻「はじまるよしょうがっこう」では、「じぶんでできるよ」として、入学当初から自分でできることを紹介することで、児童が安心して学校生活への自信を積み重ねていくことができるよう配慮されている。<br/>「はじまるよしょうがっこう」（上 pp. 2－11）</p> <p>・ 植物や生き物の写真と併せて、イラストを用いて見開きで掲載することで、児童が形や色などの特徴を捉え、実物を観察してみたいという意欲</p> <p>・ 関心を高めることができるよう工夫されている。</p> <p>・ 児童の発達段階に応じて、ひらがなやカタカナの表記の工夫がされている。<br/>（上 pp. 50－51， 上 pp. 68－69， 上 pp. 86－87， 上 pp. 104－105）</p> <p>・ 各単元の終わりに、記録してきたワークシートを活用する場면을掲載することで、それを基に振り返る活動を紹介し記録を見返すことにより、児童が自身の成長に気付くことができるよう配慮されている。<br/>（上 pp. 116－117， 下 p. 32， 下 p. 57， 下 pp. 94－95）</p> <p>(2) ・ 巻末に図鑑が設けられており、児童が学習活動を行う上で必要な例を挙げ、児童が自分自身で解決することができるよう工夫されている。<br/>「まなびかたずかん」（上 pp. 125－136）、「学び方図かん」（下 pp. 113－128）</p> <p>・ 「もっと見つけたいな」、「もっと大すき」、「もっとつづきたいな」などのページでは、学習したことが広がる資料を示すことにより、次の学びへのつながりを意識することができるよう配慮されている。<br/>「もっと見つけたいな」（下 pp. 14－15）<br/>「もっと大すき」（下 p. 33） 「もっとつづきたいな」（下 pp. 74－75）</p> <p>・ 「ものしりノート」、「ものしり図かん」のページでは、動植物の観察の仕方や工作の例など、児童の興味を広げ・深めるような話題を掲載するとともに、二次元コードを読み込むことで、詳しく動植物の様子や工作の作り方を動画で確認することで、児童の関心を広げることができるよう工夫されている。</p> |
| 3<br>組<br>織<br>・<br>配<br>列<br>等<br>に<br>つ<br>い<br>て           | <p>(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。</p> <p>(2) 他教科等との関連について配慮されているか。</p>        | <p>(1) ・ 上下巻の目次に一年間の単元計画を提示することで、「何月頃にどの単元を学習するのか」、「どの単元が同時期に重なって取り上げられているのか」など、一年間の見通しをもつことができるよう工夫されている。</p> <p>・ 一つの活動が、1ページの見開き単位で構成されており、見開き右下には、次の活動へつながる場面が示されており、次の課題設定が無理なくできるよう工夫されている。</p> <p>・ 上巻では校内図、下巻では校区の地図を用い、身の回りの地域を空間的に捉えられるような表示の仕方をするすることで、3年生の社会科の学習へつなげることができるよう配慮されている。<br/>校内図（上 p. 23）、校区の地図（下 pp. 6－8， 下 pp. 30－31）</p> <p>(2) ・ 巻頭の「はじまるよしょうがっこう」は、幼児期の教育と関連させることで、小学校に入学した児童が安心して学校生活を始めていくことができるよう取り上げられている。<br/>「はじまるよしょうがっこう」（上 pp. 2－11）</p> <p>・ 全ての単元において「話す」、「聞く」、「書く」といった国語的要素を重視した活動になっており、巻末の「まなびかたずかん」、「学び方図かん」では、それらのポイントを分かりやすく示すなど、国語科との関連が図られている。</p>  |

## 令和6年度使用小学校用教科用図書調査研究資料

|                                 |   | 種 目  | 生 活 |
|---------------------------------|---|--|-----|
| 教科用図書の記号・番号・名称                  |   | 発 行 者 名  |     |
| 1 年                             |   | 2 年  |     |
| 生活 123<br>せいかつ上<br>みんな なかよし     |   | 生活 124<br>せいかつ下<br>なかよし ひろがれ   |     |
|                                 |   | 教育出版株式会社   |     |
| 大観点                             | 小 観 点   | 調 査 の 結 果  |     |
| 1<br>内<br>容<br>に<br>つ<br>い<br>て | (1) 学習指導要領に示された目標・内容について配慮されているか。<br><br>① 学校、家庭及び地域の生活に関すること<br><br>② 身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関すること<br><br>③ 自分自身の生活や成長に関すること | (1) 上下巻を通じて、下記の内容が特に重視されており、目標や内容について配慮されている。<br><br>① 【地域と生活】<br>身近な人々と社会と関わる体験活動を設けることで、気付いたことや考えたことを友達に伝え合うことを通して、地域の人々や場所の良さに気付くことができるよう配慮されている。<br>「きせつとなかよしあき」（上 pp. 64－81）<br>「まちが大すきたんけんたい」（下 pp. 22－37）<br>「えがおのひみつたんけんたい」（下 pp. 54－73）<br><br>② 【生活や出来事の伝え合い】<br>単元末に「何をかんじたかな」のページを設けることで、多様な伝え方を示し、児童が伝えたいことや伝え方を選んだりすることを通して、身近な人々と関わることの良さや楽しさに気付くことができるよう配慮されている。<br>（上 p. 14, p. 36, p. 46, p. 60, p. 70, p. 82, p. 88, p. 102, p. 106）<br>（下 p. 14, p. 36, p. 48, p. 60, p. 70, p. 80, p. 86, p. 104, p. 114）<br><br>③ 【自分の成長】<br>幼稚園等の5歳児との交流や周りの人の話などから、自分自身の成長について多面的に考えることができるよう配慮されている。<br>「もうすぐ2年生」（上 pp. 108－116）<br>「あしたへつなぐ自分たんけん」（下 pp. 96－108） |     |
|                                 | (2) 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるよう配慮されているか。  | (2) 単元導入の「わくわくスイッチ」で、やりたいことを明確にすることで、児童の思いや願いを実現するための体験活動をするなど、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。<br>また、生活科で育成する資質・能力を「きづく」、「じぶんでできる」、「かんがえる」、「つたえる」、「ちょうせんする」、「じしんをもつ」といった六つの力として示すことにより、児童が学びを深めることができるよう工夫されている。   |     |
|                                 | (3) 地域の実態に応じる配慮がされているか。   | (3) 各地のまつりや施設、郷土料理などを紹介することで、児童が地域に興味・関心をもつことができるよう工夫されている。<br>「なつやすみをげんきにすごそう」（上 p. 53）<br>「わたしのまちのじまん」（下 pp. 34－35）<br>「北風がはこんでくるものはなあに」（下 pp. 94－95）  |     |

| 大観点                                   | 小 観 点  | 調 査 の 結 果  |
|---------------------------------------|--|--|
| 2<br>程 度<br>・ 選 択<br>・ 取 扱<br>に つ い て | <p>(1) 発達 の 段 階、興 味・関 心 に つ い て 考 慮 さ れ て い る か。</p> <p>(2) 補 充 的 な 学 習、発 展 的 な 学 習 に つ い て 配 慮 さ れ て い る か。</p> | <p>(1) ・ 各 単 元 の 途 中 で 選 択 式 の 迷 路 を 掲 載 し、気 付 き を 深 め る 問 い 掛 け に す る こ と で、学 習 へ の 興 味・関 心 を 高 め る こ と が で き る よ う 取 り 上 げ ら れ て い る。<br/>(上 pp.15, pp.71)</p> <p>・ 様 々 な 植 物 や 野 菜 の 写 真 を 1 ペ ー ジ に ま と め て 掲 載 し、学 習 を 進 め る に つ れ て 生 長 の 様 子 が 見 ら れ る よ う に な っ て お り、児 童 が 植 物 や 野 菜 の 生 長 に 興 味 を も っ て 確 認 し た り、振 り 返 っ た り す る こ と が で き る よ う 工 夫 さ れ て い る。<br/>(上 pp.26-34, 下 pp.8-13)</p> <p>・ 下 巻 の 最 後 に、進 級 し て か ら 始 ま る 新 し い 学 習 や、生 活 科 で 身 に 付 け た 力 が 新 し い 学 習 と ど の よ う に 関 わ る の か を 考 え る 内 容 を 記 載 す る こ と で、新 し い 学 年 へ の 意 欲 を 高 め た り、自 分 自 身 の 成 長 を 振 り 返 っ た り す る こ と が で き る よ う 工 夫 さ れ て い る。<br/>(下 pp.104-107)</p> <p>(2) ・ 巻 末 の 「学 び の ポ ケ ッ ト」で は、学 習 に 必 要 な 見 方・考 え 方 の 指 標 や、記 録 や 伝 え 方 な ど が ま と め ら れ て お り、学 習 の 基 盤 と な る 知 識 や 技 能 を 確 認 す る こ と が で き る よ う に 工 夫 さ れ て い る。さ ら に、「学 び の ポ ケ ッ ト」の 関 連 ペ ー ジ を 本 紙 の 中 で 示 す こ と で、児 童 が 必 要 な 時 に は 確 認 し、自 ら 解 決 す る こ と が で き る よ う 工 夫 さ れ て い る。</p> <p>・ 単 元 の 導 入 に あ る 「わ く わ く ス イ ッ チ」の コ ー ナ ー で は、児 童 自 身 が 現 在 の 経 験 か ら、関 心 を 高 め る 活 動 が 紹 介 さ れ、視 覚 的 に 捉 え る こ と が で き る よ う 配 慮 さ れ て い る。</p> <p>・ 「ま な び リ ン ク」、ワ ー ク シ ー ト、デ ジ タ ル 図 鑑 と い っ た 情 報 が、デ ジ タ ル コ ン テ ン ツ で 確 認 で き る よ う に な っ て お り、児 童 が 関 心 を も っ て、発 展 的 な 学 習 が で き る よ う 工 夫 さ れ て い る。<br/>「ま な び リ ン ク も く じ」(上 p.2, 下 p.2)</p> |
| 3<br>組 織<br>・ 配 列 等<br>に つ い て        | <p>(1) 構 成、配 列、系 統 性 に つ い て 配 慮 さ れ て い る か。</p> <p>(2) 他 教 科 等 と の 関 連 に つ い て 配 慮 さ れ て い る か。</p>            | <p>(1) ・ 上 巻 「は じ め の い っ ぽ」で は、ス タ ー ト カ リ キ ュ ラ ム と し て、幼 児 期 の 学 び や 遊 び の 姿 を、イ ラ ス ト と 入 学 し て か ら の 学 校 生 活 や 学 習 の 様 子 の 写 真 と 比 較 す る こ と で、幼 児 期 の 学 び が 生 活 科 を 中 心 に 各 教 科 に 円 滑 に 移 行 す る こ と が で き る よ う 工 夫 さ れ て い る。<br/>(上 pp.3-9)</p> <p>・ 各 ペ ー ジ に、生 活 科 の 学 習 活 動 で 発 揮 す る と 効 果 的 な 「六 つ の 力 (き づ く、じ ぶ ん で で き る、か ん が え る、つ た え る、ち ょ う せ ん す る、じ し ん を も つ)」を サ イ コ ロ マ ー ク で 明 示 す る こ と で、誰 も が 分 か り や す く 学 習 の め あ て を 捉 え る こ と が で き る よ う 工 夫 さ れ て い る。</p> <p>(2) ・ 各 単 元 の 学 習 の 際 に、巻 末 の 「学 び の ポ ケ ッ ト」に お い て 他 教 科 と の 関 連 を 図 る こ と で、指 導 の 効 果 を 高 め る こ と が で き る よ う 工 夫 さ れ て い る。</p> <p>・ 「は っ て ん」と し て、「社 会 科 へ の ま ど」、「理 科 へ の ま ど」の コ ー ナ ー を 設 け る こ と で、3 年 生 の 社 会 科、理 科 と 接 続 す る こ と が で き る よ う 配 慮 さ れ て い る。<br/>(下 p.9, p.31)</p>  |

## 令和6年度使用小学校用教科用図書調査研究資料

|                                       |   | 種 目  | 生 活 |
|---------------------------------------|---|--|-----|
| 教科用図書の記号・番号・名称                        |   | 発 行 者 名  |     |
| 1 年                                   |   | 2 年  |     |
| 生活 127<br>せいかつ たんけんたい 上<br>はじめてが いっぱい |   | 生活 128<br>せいかつ たんけんたい 下<br>はっけん だいすき   |     |
|                                       |   | 光村図書出版株式会社   |     |
| 大観点                                   | 小 観 点   | 調 査 の 結 果  |     |
| 1<br>内<br>容<br>に<br>つ<br>い<br>て       | (1) 学習指導要領に示された目標・内容について配慮されているか。<br><br>① 学校、家庭及び地域の生活に関すること<br><br>② 身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関すること<br><br>③ 自分自身の生活や成長に関すること | (1) 上下巻を通じて、下記の内容が特に重視されており、目標や内容について配慮されている。<br><br>① 【家庭と生活】<br>生活科での学びを家庭でも生かすことができるように保護者へのメッセージが多く掲載され、自分の役割を積極的に果たしたり、健康や安全に気を付けて生活したりすることができるよう配慮されている。<br><br>② 【動植物の飼育・栽培】<br>単元導入部分に、ダイナミックな写真資料を掲載し、児童が身近な自然に興味をもてるような工夫がされている。さらに、児童のつぶやきにより、性質や変化、特徴や違いがあることに気付かせるよう配慮されている。<br>「さいてほしいなわたしのはな」(上 pp.30-41)<br>「いきものとなかよし」(上 pp.56-65)<br>「おいしいやさいをそだてたい」(下 pp.24-33)<br>「生きものと友だち」(下 pp.34-43)<br><br>③ 【自分の成長】<br>上巻は、発達段階に応じた無理のない活動設定が配慮されている。また、下巻は、多様なまとめ方ができるように伝える方法を紹介することで、自分の成長に気付くとともに、これからの成長への願いをもって意欲的に生活することができるよう配慮されている。<br>「もうすぐみんな2年生」(上 pp.98-106)<br>「広がれわたし」(下 pp.86-95) |     |
|                                       | (2) 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるよう配慮されているか。  | (2) 全ての小単元に、次につながる思いや願いの振り返りの視点を入れることで、一人一人の発見が共有され、気づきの質を高めることができるよう工夫されている。  |     |
|                                       | (3) 地域の実態に応じる配慮がされているか。   | (3) 季節ごとの各地のまつりや遊び、年中行事などを紹介することで、児童が地域に興味・関心をもち、季節と人々とのつながりや人々の暮らしぶりを知ることができるよう、絵や写真が効果的に使用され、工夫されている。<br>「なつのたのしみ」(上 pp.54-55)<br>「ふゆのたのしみ」(上 pp.86-87)<br>「もっとやってみよう」(上 pp.96-97)<br>「きせつのくらし」(下 pp.12-13, 下 pp.44-45, 下 pp.56-57, 下 pp.84-85)  |     |

| 大観点                                   | 小 観 点   | 調 査 の 結 果  |
|---------------------------------------|---|--|
| 2<br>程 度<br>・ 選 択<br>・ 取 扱<br>に つ い て | <p>(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。</p> <p>(2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。</p> | <p>(1) ・ 「さあとびだそう」では、町の様子やそこに住む人々のイラストを掲載することで、児童が幼児期の経験やこれまでの生活体験を基に、自分の思いを自由に話すことができるよう工夫されている。<br/>「さあとびだそう」（上 pp. 6－9）</p> <p>・ 「こんなこともあるかもね」、「こんなのもいいかもよ？」など、児童一人一人の個性を尊重するような短い話を記載することで、児童が自分の感じたことや考えたことに自信をもって、意欲的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。<br/>（上 pp. 23, 上 pp. 35, 下 pp. 41）</p> <p>・ 1年間の学習や生活を振り返り、まとめる活動を通して、自分の成長に気づき、新たな学年に向けて意欲を高めることができるよう配慮されている。<br/>「1年かんをおもいだそう」（上 pp. 104－109）<br/>「広がれわたし」（下 pp. 86－99）</p> <p>(2) ・ 単元の初めには、児童の思考を促す「ひんとをみて かんがえよう」のコーナー、単元の終わりには「ふりかえろう」のコーナーを設けることで、単元を通して児童の思考を整理することができ、次の学習へつなげることができるよう工夫されている。<br/>「ひんとをみて かんがえよう」（上 pp. 22）<br/>「ふりかえろう」（上 pp. 23）</p> <p>・ 巻末の「ひろがるせいかつじてん」では、道具や情報のまとめ方の例や、植物の1年間の様子が例示されており、児童の学習を深めることができるよう配慮されている。<br/>「ひろがるせいかつじてん」（上 別冊, 下 別冊）</p> <p>・ 学習内容を「けんこう」、「どうぐ」、「あんぜん」、「ちかづかない」と、項目ごとに色分けすることで、必要な情報を確認することができるよう配慮されている。<br/>（上 pp. 11, 上 pp. 26, 上 pp. 45, 上 pp. 71）</p> |
| 3<br>組 織<br>・ 配 列 等<br>に つ い て        | <p>(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。</p> <p>(2) 他教科等との関連について配慮されているか。</p>        | <p>(1) ・ 幼児期に育成された様々な力が小学校生活の中で生かされる場面をイラストで表したり、生活科の学習と他教科の学びが関連している様子を提示したりすることで、幼児期からの接続や他教科との関連を大切にすることができるよう配慮されている。<br/>「いちねんせいがはじまるよ」（上 pp. 6－19）</p> <p>・ 上巻の最後には、2年生の生活科の目次を掲載したり、下巻の最後には、これまでに身に付けた資質・能力を振り返り、3年生の学習をイメージする写真を掲載したりするなど、生活科で学習したことが次の学年で生かすことができるよう関連が図られている。<br/>（上 pp. 110, 下 pp. 96－97）</p> <p>(2) ・ 生活科を中心とした、合科的・関連的な指導を踏まえた学習活動を提示することで、幼児期における学びから、教科等における学習へ円滑に接続することができるよう配慮されている。<br/>（上 pp. 18－19）</p> <p>・ 他教科と関連した学習内容を提示することで、生活科と他教科との相互の学習効果を高めることができるよう配慮されている。<br/>（上 pp. 25, 上 pp. 39, 下 pp. 6）</p>   |

## 令和6年度使用小学校用教科用図書調査研究資料

|                     |   | 種 目   | 生 活 |
|---------------------|---|---|-----|
| 教科用図書の記号・番号・名称      |   | 発 行 者 名   |     |
| 1 年                 |   | 2 年   |     |
| 生活129<br>わくわく せいかつ上 |   | 生活130<br>いきいき せいかつ下   |     |
| 株式会社新興出版啓林館         |   |   |     |
| 大観点                 | 小 観 点   | 調 査 の 結 果   |     |
| 1<br>内容<br>について     | <p>(1) 学習指導要領に示された目標・内容について配慮されているか。</p> <p>① 学校、家庭及び地域の生活に関すること</p> <p>② 身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関すること</p> <p>③ 自分自身の生活や成長に関すること</p> <p>(2) 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるよう配慮されているか。</p> <p>(3) 地域の実態に応じる配慮がされているか。</p> | <p>(1) 上下巻を通じて、下記の内容が特に重視されており、目標や内容について配慮されている。</p> <p>① 【地域と生活】<br/>「町たんけんマップ」を継続して用いて学びを深めることで、人、社会、自然を自分との関わりで捉えることにより、地域の人々や場所の良さに気付き、親しみや愛着をもつことができるよう関連が図られている。<br/>「とび出せ！町のたんけんたい」（下 pp.28-43）<br/>「もっと知りたい たんけんたい」（下 pp.76-87）<br/>「町のすてきつたえたい」（下 pp.88-97）</p> <p>② 【季節の変化と生活】<br/>季節の図鑑を掲載することで、児童の好奇心や探究心を高めることができるよう配慮されている。また、直接観察したり見付けたりすることが難しい対象については、二次元コードを効果的に使うことで、児童の興味・関心を高めることができるよう配慮されている。<br/>（上 pp.18-19, 上 pp.50-51, 上 pp.78-79, 上 pp.106-107）</p> <p>③ 【自分の成長】<br/>これまでの写真や作品、周りの人の話を手掛かりとして自分自身の生活や成長を振り返るとともに、自分のことや支えてくれた人々について考えることで、これからの成長への願いをもって意欲的に生活することができるよう配慮されている。<br/>「もうすぐ2ねんせい」（上 pp.109-117）<br/>「これまでのわたし これからのわたし」（下 pp.100-109）<br/>「3ねんせいへのステップブック」（下 巻末付録）</p> <p>(2) 上下巻ともに単元ごとに「わくわく」、「いきいき」、「ぐんぐん」の3段階構成にすることで、児童が見通しをもって学習に取り組むことができるよう取り上げられている。また、試す、比べる、工夫するなどの多様な学習活動を示し、児童が気付いたことを基に考えることで、気付きの質を高めることができるよう取り上げられている。<br/>（下 pp.66-67）</p> <p>(3) 図鑑のページでは、豊富な写真を掲載し各地の伝統行事や自然などを紹介することで、児童が地域に興味・関心をもつことができるよう配慮されている。<br/>「むかしからのあそびをたのしもう」（上 p.108）<br/>「びっくりずかん LIVE」（下 pp.10-11, 下 pp.58-59, 下 pp.74-75, 下 pp.98-99）</p> |     |

| 大観<br>点                               | 小 観 点   | 調 査 の 結 果   |
|---------------------------------------|---|---|
| 2<br>程 度<br>・ 選 択<br>・ 取 扱<br>に つ い て | <p>(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。</p> <p>(2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。</p> | <p>(1) ・ 上巻「すたあとぶっく」では、幼稚園や保育所などの活動の写真を掲載することで、幼児期に経験したことを話し合うことができるよう工夫されている。</p> <p>また、写真やイラストで2年生との交流の場면을掲載することで、小学校での生活や学習への安心感を高め期待をもつことができるよう工夫されている。</p> <p>・ 各単元の初めに、学習したいことを想起させる「わくわくたいむ」を設け、児童の興味を引く写真や、自分の生活を振り返る言葉掛けを提示することで、児童がその単元でどのような活動に取り組みたいかについて考えることができるよう配慮されている。<br/>(上 pp.22-23, 下 pp.14-15)</p> <p>・ 生き物の育て方やおもちゃの作り方などの多様な学習活動の例を、見開きのページに写真とイラストを合わせて記載することで、児童が意欲的に活動に取り組むことができるよう配慮されている。<br/>(下 pp.56-57, 下 pp.72-73)</p> <p>(2) ・ 巻末の「がくしゅうずかん」では、「児童の活動の基本となる学習の調べ方」、「観察の仕方やまとめ方」、「道具の使い方やタブレットの使い方」など、学習を進める上で必要な技能が集約されており、効果的な学習につながるよう配慮されている。<br/>「がくしゅうずかん」(上 pp.118-127)<br/>「がくしゅうずかん」(下 pp.110-128)</p> <p>・ 上下巻ともに掲載されている「びっくりずかん LIVE」のページでは、四季の動植物の名前や遊び、季節ごとの地方行事の情報を掲載することで、児童の学習意欲が高めることができるよう配慮されている。</p> <p>・ 二次元コードを読み込み、低学年児童でも活用できる「デジタルたんけんブック」という学習の参考になる情報を閲覧することで、調べ学習や個人の興味に合わせた発展的な学習につなげることができるよう工夫されている。</p> |
| 3<br>組 織<br>・ 配 列 等<br>に つ い て        | <p>(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。</p> <p>(2) 他教科等との関連について配慮されているか。</p>        | <p>(1) ・ 上巻の巻頭では、スタートカリキュラムに関する単元である「すたあとぶっく」を扱うことで、幼児期に育まれた資質・能力を発揮しながら、楽しく安心して学校生活を始めることができるよう工夫されている。</p> <p>・ 「わくわく(単元導入)」、「いきいき(主な活動)」、「ぐんぐん(振り返り)」と構成することで、各単元の活動の連続が意識され、単元を通じた学習の見通しをもつことができるよう配慮されている。</p> <p>・ 下巻の巻末「ステップブッカーみらいにむかってー」では、2年間の生活科の学習を振り返る活動を通して、自信と意欲をもって3年生に進級することができるよう配慮されている。</p> <p>(2) ・ 「すたあとぶっく」を用いて、幼児期からの学びや育ちを生かす活動をきっかけに、各教科等の学習に円滑につながるとともに、「合科的・関連的な学習を示すマーク」を付けることで、どの教科と関連しているかを視覚的に把握できるよう配慮されている。<br/>(上 [小寸] pp.10-11, 上 p.31, 上 p.46, 上 pp.60-61, 下 p.69)</p> <p>・ 「こんなときどうしよう」のコーナーや、「がくしゅうずかん」にある挨拶やマナーなどにより、生活科の学習の中で道徳教育を適切に指導することができるよう配慮されている。<br/>「こんなときどうしよう」(上 p.7, 下 p.33, 下 p.41, 下 p.81, 下 p.127)<br/>「がくしゅうずかん」(上 pp.118-119, 下 pp.110-128)</p>  |

令和6年度使用

小学校・義務教育学校前期課程用  
教科用図書調査研究資料

音 楽

那須塩原市・那須町採択地区協議会

## 令和6年度使用小学校用教科用図書調査研究資料

| 教科用図書の記号・番号・名称                        |  |   |   |                                     |                                     | 種 目      | 音 楽 |
|---------------------------------------|--|---|---|-------------------------------------|-------------------------------------|----------|-----|
| 1 年                                   | 2 年  | 3 年   | 4 年   | 5 年                                 | 6 年                                 | 発 行 者 名  |     |
| 音楽103<br>小学校音楽<br>おんがくの<br>おくりもの<br>1 | 音楽203<br>小学校音楽<br>音楽の<br>おくりもの<br>2          | 音楽303<br>小学校音楽<br>音楽の<br>おくりもの<br>3   | 音楽403<br>小学校音楽<br>音楽の<br>おくりもの<br>4   | 音楽503<br>小学校音楽<br>音楽の<br>おくりもの<br>5 | 音楽603<br>小学校音楽<br>音楽の<br>おくりもの<br>6 | 教育出版株式会社 |     |
| 大<br>観<br>点                           | 小 観 点  |   | 調 査 の 結 果   |                                     |                                     |          |     |
|                                       |  |   | 小観点及び内容の全体的なもの  |                                     | 各学年の特記事項                            |          |     |
| 1<br>内<br>容<br>に<br>つ<br>い<br>て       | (1) 学習指導要領に示された目標・内容について配慮されているか。            |   | (1)   |                                     |                                     |          |     |
|                                       | ① 歌唱に関すること                                   | ① 写真や絵が大きく取り上げられており、児童の興味関心を高め、歌詞の表す情景や様子を思い浮かべながら歌唱することができるよう配慮されている。  | ① 3年「ふじ山」<br>4年「さくらさくら」<br>5年「こいのぼり」<br>6年「おぼろ月夜」                                     |                                     |                                     |          |     |
|                                       | ② 器楽に関すること                                   | ② 奏法や運指を確認することができる写真が配置されているだけでなく、まなびリンクのQRコードから動画を見ることが出来る。また、巻末を開くと学年に応じて楽器紹介や楽典のまとめ、リコーダーの運指を確認することができる折り込みページが設けられており、児童が必要に応じて確認しながら学習を進めることができるよう工夫されている。 | ② 1年「こんにちはけんぱんハーモニカ」<br>3年「こんにちはリコーダー」<br>3年～6年「リコーダーの指づかい」                           |                                     |                                     |          |     |
|                                       | ③ 音楽づくりに関すること                                | ③ 例示が分かりやすく提示されていて、発想が広がるような条件が設定されている。また、思いや意図を無理なく音や音楽にできるよう配慮されている。  | ③ 2年「はくにつてことばのリズムであそぼう」<br>5年「和音に合わせてせんりつをつくらう」                                       |                                     |                                     |          |     |
|                                       | ④ 鑑賞に関すること                                   | ④ 図形楽譜を用いて視覚的に音や音楽を捉え、曲の変化や曲想などの特徴をつかみやすいように工夫されている。旋律の動きに合わせて、身体表現や指揮をする活動が多く取り上げている。そのため、様々な感覚を働かせて音や音楽と関わることができるよう工夫されている。                                   | ④ 1年「おどるこねこ」<br>3年「白鳥」<br>4年「ノルウェー舞曲 第2番」<br>6年「交響曲第5番『運命』第1楽章から」                     |                                     |                                     |          |     |
|                                       | ⑤ 〔共通事項〕に関すること                               | ⑤ 音楽を形づくっている要素が「音楽のもと」として示されており、児童がその働きを意識しながら学習に取り組むことができるよう、配慮されている。  | ⑤ 4年「はくとせんりつ」<br>5年「和音のはたらきを感じ取ろう」  |                                     |                                     |          |     |
|                                       | (2) 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるよう配慮されているか。 |   | (2) 「まなびナビ」、「学び合う音楽」により、学び方が示されており、児童が見通しをもって学習に取り組んだり、協働して音楽活動をしたりすることができるよう工夫されている。 |                                     |                                     |          |     |
|                                       |  |   | ② 1年「しろくまのジェンカ」<br>3年「この山光る」<br>4年「ゆかいに歩けば」<br>「とんび」<br>6年「ぼくらの日々」                    |                                     |                                     |          |     |

| 大観<br>点   | 小 観 点                          | 調 査 の 結 果  |   |
|---|--------------------------------|--|---|
|   |                                | 小観点及び内容の全体的なもの   | 各学年の特記事項  |
| 2<br>程<br>度<br>・<br>選<br>択<br>・<br>取<br>扱<br>に<br>つ<br>い<br>て | (1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。   | (1) 興味関心をもって活動ができるように、児童の発達段階に応じて、耳に馴染みのある楽曲や、ジャズ、歌劇、物語、民族音楽など、様々なジャンルの音楽が取り上げられている。   | (1) 1年「おおきなかぶ」<br>2年「クリスマスソングメドレー」<br>3年「ミッキーマウスマーチ」<br>4年「サウンドオブミュージック」<br>5年「ルパン三世のテーマ」<br>6年「ラブソディーインブルー」  |
|   | (2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。 | (2) ・各学年に「もっとあそぼう」コーナーが設定されており、学習の進み方に応じて、発展的な活動ができるよう工夫されている。<br><br>・全学年の巻末の「おんがくランド」では、歌唱や演奏など幅広い楽曲が掲載されている。<br><br>・全学年の巻末に、発達の段階を考慮し編曲された同じ曲が掲載され、全校で一つの歌を歌う一体感や楽しさを味わうことができるよう工夫されている。 | (2)<br>・「もっと遊ぼう」コーナー<br>1年 p. 49、2年 p. 17、p. 33<br>3年 p. 37、p. 59、4年 p. 49<br>5年 p. 43、6年 p. 37<br>・1年p. 60～66<br>2年p. 62～66<br>3年p. 64～68<br>4年p. 64～70<br>5年p. 64～70<br>6年p. 56～70<br>・全学年「音楽のおくりもの」<br>「さんぼ」         |
| 3<br>組<br>織<br>・<br>配<br>列<br>等<br>に<br>つ<br>い<br>て           | (1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。     | (1) ・学習の内容を積み重ね、これまでに学んだことを生かして学習を深めることができるよう配慮されている。<br>・全学年に「学習マップ」のページがあり、1年間の見通しをもって学習に取り組むことができるよう配慮されている。  | (1)<br>1年「どれみふぁそのおとであそぼう」<br>2年「音のかさなりやリズムをえらんで合わせよう」<br>3年「ソラシでリレー」<br>「ばんそうに合わせてせんりつをつくろう」<br>4年「音の動き方を生かしてせんりつをつくろう」<br>5年「和音に合わせてせんりつをつくろう」<br>6年「じゅんかんコードをもとにアドリブで遊ぼう」   |
|   | (2) 他教科等との関連について配慮されているか。      | (2) ・全学年に掲載されている「ショートタイムラーニング」のコーナーには、外国語や算数などに関連する歌唱教材が掲載されており、他教科等との関連が図られている。   | (2) 算数に関する歌<br>2年「みんなで九九」<br>3年「たんいの歌」<br>英語の歌<br>1年「Twinkle, Twinkle, Little Star」<br>2年「BINGO」<br>3年「It's a Small World」<br>4年「I Love the Mountains」<br>5年「Michael, Row the Boat Ashore」<br>6年「Climb Ev' ry Mountain」 |

## 令和6年度使用小学校用教科用図書調査研究資料

| 教科用図書の記号・番号・名称                  |                                   |                      |                      |                      |                      | 種 目   | 音 楽  |   |  |   |  |  |  |   |
|---------------------------------|-----------------------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|---|--|---|--|---|--|--|--|---|
| 1 年                             | 2 年                               | 3 年                  | 4 年                  | 5 年                  | 6 年                  | 発 行 者 名   |  |   |  |   |  |  |  |   |
| 音楽104<br>小学生の<br>おんがく1          | 音楽204<br>小学生の<br>音楽2              | 音楽304<br>小学生の<br>音楽3 | 音楽404<br>小学生の<br>音楽4 | 音楽504<br>小学生の<br>音楽5 | 音楽604<br>小学生の<br>音楽6 | 株式会社教育芸術社   |  |   |  |   |  |  |  |   |
| 大<br>観<br>点                     | 小 観 点                             |                      | 調 査 の 結 果            |                      |                      | 各学年の特記事項  |  |   |  |   |  |  |  |   |
|                                 |                                   |                      | 小観点及び内容の全体的なもの       |                      |                      |   |  |   |  |   |  |  |  |   |
| 1<br>内<br>容<br>に<br>つ<br>い<br>て | (1) 学習指導要領に示された目標・内容について配慮されているか。 |                      | (1)                  |                      |                      | (1)   |  |   |  |   |  |  |  |   |
|                                 | ① 歌唱に関すること                        | ② 器楽に関すること           | ③ 音楽づくりに関すること        | ④ 鑑賞に関すること           | ⑤ [共通事項]に関すること       | ① 「歌声ルーム」で口の開け方や姿勢、体や息の使い方などが示されており、曲の特徴にふさわしい歌唱表現の基礎的な技能を身に付けることができるよう工夫されている。 | ② リコーダーや鍵盤ハーモニカの運指、様々な楽器の奏法のアドバイスなどが細かく示されている。楽器の写真を大きく掲載したり、楽器を使って遊び活動を取り入れたりすることで、興味関心をもって演奏ができるよう工夫されている。 | ③ 作品例や工夫のアイデアなど、児童が主体的に学習できるように細かく示されている。 | ④ 鑑賞する楽曲に使われている楽器の写真や「楽器図鑑」に関連する楽器が掲載されており、楽器の特徴やしぐみを捉えることができるよう配慮されている。また、記号や色、図形などを用いた楽譜が掲載されており、音色や曲の特徴を視覚的に捉えることができるよう配慮されている。 | ⑤ 音楽を形づくっている要素をページの端に示したり、「楽譜マスター」のコーナーで取り上げられたりしており、表現及び鑑賞の様々な学習活動の中で、音楽における働きと関連付けて理解することができるよう配慮されている。 | ① 1年 p.21<br>2年 p.21<br>3年 p.42<br>4年 p.15, p.31<br>5年 p.11, p.36, p.41<br>6年 p.11, p.27 | ② 1年「どれみとなかよくなるう」<br>「きらきらぼし」<br>2年「かっこう」<br>「かえるのがっしょう」<br>3年「リコーダーのひびきに親しもう」<br>4年「ことをひいてみよ」<br>5年「小さな約束」<br>6年「メヌエット」 | ③ 2年「名前でせんりつあそび」<br>4年「言葉でリズムアンサンブル」<br>6年「雨のうた」 | ④ 4年「管弦楽組曲第2番からポロネーズ」<br>「こと独奏による主題と6の変奏「さくら」より」<br>5年「アイネクライネナハトムジーク 第1楽章」 |
|                                 | (2) 主体的・対話的で深い学びの実現が図られているか。      |                      | (2)                  |                      |                      | (2)   |  |   |  |   |  |  |  |   |
|                                 |                                   |                      |                      |                      |                      |   |  |   |  |   |  |  |  |   |

| 大観点               | 小観点  | 調査の結果  |  |
|-------------------|--|--|--|
|                   |  | 小観点及び内容の全体的なもの   | 各学年の特記事項   |
| 2<br>程度・選択・取扱について | <p>(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。</p> <p>(2) 補充的な学習、発展的な学習に配慮されているか。</p> | <p>(1) ・作詞者や、演奏家のメッセージ、楽曲にまつわるコラムが掲載されており、児童の興味・関心や学習意欲を高めることができるよう配慮されている。</p> <p>・イラストや写真など、発達段階に応じて工夫していて、楽曲のイメージを膨らませやすくなっている。</p> <p>・キャラクターを設定し、そのキャラクターが学習のポイントやアドバイスなどをつぶやく形で児童に伝えている。</p> <p>(2) ・「みんなであわせたのしもう」、「みんなで楽しく」のコーナーでは、学んだことを生かし、音楽により楽しみ親しめるような発展的な曲が取り上げられている。</p> <p>・「チャレンジ」コーナーが設けられており、鑑賞や音楽づくりから発展した活動を行うことができるよう配慮されている。</p> | <p>(1) 3年「神田囃子『投げ合い』」<br/>5年「Believe」<br/>「こいのぼり」</p> <p>(2)<br/>1年「とんくるりんばんくるりん」<br/>3年「ミッキーマウスマーチ」<br/>5年「アフリカンシンフォニー」<br/>「チャレンジ」<br/>3年 p. 35、p. 65<br/>4年 pp. 28-29、p. 60<br/>5年 p. 60</p>  |
| 3<br>組織・配列等について   | <p>(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。</p> <p>(2) 他教科等との関連について配慮されているか。</p>     | <p>(1) ・歌唱において、低学年では交互唱や輪唱、中学年では二部合唱に向けた段階的な教材、高学年では部分三部合唱を含む音の重なりを意識した教材が取り上げられており、学年が上がるごとに徐々に学習が深まるよう配慮されている。</p> <p>・児童が「学習マップ」と「ふり返りのページ」を活用することにより、見通しをもつことができるよう工夫されている。</p> <p>(2) ・どの学年にも日本や地域の伝統的な音楽を学ぶ題材が取り上げられており、生活科や社会科、総合的な学習の時間などとの関連が図られている。</p> <p>・各学年に英語の歌が掲載され、外国語活動</p> <p>・外国語との関連が図られている。</p>                                    | <p>(1)<br/>1年「やまびこごっこ」<br/>2年「かえるのがっしょう」<br/>3年「歌おう声高く」<br/>4年「もみじ」<br/>5年「それぞれの空」<br/>6年「街にだかれて」</p> <p>(2)<br/>・3年「神田囃子『投げ合い』」<br/>4年「こきりこ」<br/>5年「ソーラン節」</p> <p>・1年「セブンスステップス」<br/>2年「小犬のビンゴ」<br/>「ロンドンばし」<br/>3年「Head, Shoulders, Knees And Toes」<br/>4年「Sing a rainbow」<br/>5年「こげよマイケル」<br/>6年「Edelwaiss」</p> |

令和6年度使用

小学校・義務教育学校前期課程用  
教科用図書調査研究資料

図画工作

那須塩原市・那須町採択地区協議会

| 教科用図書の記号・番号・名称                                 |   |  | 種 目   | 図画工作  |
|--|---|--|---|---|
| 1・2年   |   |  | 3・4年  | 5・6年  |
| 図工105 106<br>ずがこうさく1・2<br>上 わくわくするね<br>下 みつけたよ |   |  | 図工305 306<br>図画工作3・4<br>上 できたらいいな<br>下 力を合わせて   | 図工506 507<br>図画工作5・6<br>上 心をひらいて<br>下 つながる思い  |
| 開隆堂出版株式会社                                      |   |  |   |   |
| 大観点  | 小 観 点   |  | 調 査 の 結 果   |   |
|  |   |  | 小観点及び内容の全体的なもの  | 各学年の特記事項  |
| 1<br>内容<br>について                                | (1) 学習指導要領に示された目標・内容について配慮されているか。                                       |  | (1)<br>① 用具・材料・環境共に、身近なものから少しずつ外の世界に視点が向くように配慮されており、生活や社会の中の形や色などと、豊かに関わることができる。自分が表現したものを、他者と関わることで、再構築する場を写真で掲載することで表現方法が多面的にあることを示している。<br>② 発達段階を追って、技能を高められるような構成になっている。絵では、クレヨンや絵の具などの用具の特徴を体得させてから、作品づくりへと広げている。また、作品の下に、その思いや工夫した点を掲載することで、自分の作品へのアイディアを広げたり想像を広げたりできるような工夫がされている。<br>③ 「小さな美術館」では、前単元で学習した内容と芸術家の作品を関連付け、鑑賞させることで、見方や考え方を深め、豊かな情操を培うことができる。<br>④ 造形的な特徴である形や色、線や面、動きや奥行きなどを注目させるようなリード文や楽しい題材名で、児童の意欲を高める工夫がされている。 | (1)<br>① 1・2年上<br>「ならべてみつけて」<br>3・4年上<br>「かげのへんしん」<br>5・6年上<br>「地球まるごとたからばこ」<br>② 1・2年上<br>「すいすいぐるーり」<br>3・4年上<br>「へんてこ山の物語」<br>5・6年上<br>「あったらいい町<br>どんな町」<br>③ 各学年において「小さな美術館」が掲載されている。<br>④ 各題材において掲載されている。 |
|  | ① 造形遊びをすること<br><br>② 絵や立体、工作に表すこと<br><br>③ 鑑賞すること<br><br>④ 〔共通事項〕に関すること |  |   |   |

| 大観<br>点   | 小<br>観<br>点                    | 調 査 の 結 果  |   |
|---|--------------------------------|--|---|
|   |                                | 小観点及び内容の全体的なもの   | 各学年の特記事項  |
| 2<br>程<br>度<br>・<br>選<br>択<br>・<br>取<br>扱<br>に<br>つ<br>い<br>て | (1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。   | (1) ・ 題材で扱う技法を用いて、表紙やタイトルをデザインし、児童の気持ちを惹き付けている。  | (1) 1・2年上<br>「はことはこをくみあわせて」<br>3・4年上<br>「ためしてあそんでマグネット」<br>5・6年下<br>「心も動き出すからくリンク」  |
|   | (2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。 | (2) ・ 各題材のページにデジタルコンテンツが充実しており、そこから必要な鑑賞ワークシートや動画等を見ることができる。児童が自分で必要な情報を得ることもできる。  | (2) 各題材において掲載されている。   |
|   | (3) 学習を安全に行う上での配慮がされているか。      | (3) ・ 安全に活動するために気を付けることを、マークや写真を使って分かりやすく示している。  | (3) 1・2年下<br>「わくわくカッターナイフ」<br>3・4年下<br>「ほった線からはじまるお話」<br>5・6年上<br>「見つけてワイヤーワールド」  |
| 3<br>組<br>織<br>・<br>配<br>列<br>等<br>に<br>つ<br>い<br>て           | (1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。     | (1) ・ 題材のねらいに沿って、使用する材料や用具などの取り扱いについて、学年を追うごとに深まるようになっている。また、これまでの学習を生かして、さらに新しい学習に取り組めるよう配列されている。<br><br>・ 準備、導入、展開、振り返りまでの流れが見開きで見られるようになっていたり、巻頭に目次と一年間の流れが、題材名が写真と共に掲載されていたりすることで、見通しをもって主体的に学習に取り組んだり指導しやすくなっていたりする。<br><br>・ 作品例の下に番号を振り、注目しやすくなっている。<br><br>・ 1・2年の上巻に幼稚園教諭からのメッセージが掲載されており、幼児期の教育と接続を図ることができるよう配慮されている。また、5、6年の下巻に小学校の学びを中学校の学習や生活及びキャリア教育につながる内容が掲載され、中学校や社会生活と接続を図ることができる。 | (1) ・ 1・2年下<br>「こんにちはむぎゅたん」<br>3・4年<br>「けずってつけてわたしたちの形」<br>5・6年下<br>「ねん土の板から生み出す形」<br><br>・ 各題材や各学年の巻頭において掲載されている。<br><br>・ 各題材に掲載されている。<br><br>・ 1・2年上 表紙裏<br>5・6年下<br>「未来につながる図画工作」 |
|   | (2) 他教科等との関連について配慮されているか。      | (2) ・ 他教科、他領域と関連する各題材において、教科書の下部に関連する各教科名と活動内容を掲載し、関連する活動内容を具体的に示すことで、教科等横断的な学びを図ることができる。  | (2) 各題材において「あわせて学ぼう」が掲載されている。   |

| 教科用図書の記号・番号・名称                          |  |  | 種 目  | 図画工作  |
|---|--|--|--|---|
| 1・2年                                    |  |  | 3・4年   | 5・6年  |
| 図工107 108<br>ずがこうさく1・2<br>上・下まるごと たのしもう |  |  | 図工307 308<br>図画工作3・4<br>上・下ためす 見つける  | 図工507 5081<br>図画工作5・6<br>上・下わたしとひびき合う   |
| 発 行 者 名                                 |  |  |  |   |
| 日本文教出版株式会社                              |  |  |  |   |
| 大<br>観<br>点                             | 小 観 点  |  | 調 査 の 結 果  |   |
|   |  |  | 小観点及び内容の全体的なもの   | 各学年の特記事項  |
| 1<br>内<br>容<br>に<br>つ<br>い<br>て         | (1) 学習指導要領に示された目標・内容について配慮されているか。<br>① 造形遊びをすること |  | (1)<br>① 身近な学校の環境を工夫し、造形的に魅力的な空間につくりかえる写真を掲載することで、子どもの発想を広げる工夫をしている。また、複数の友達とつくり上げる様子を示し、協働して作品をつくる楽しさを伝える工夫がされている。  | (1)<br>① 1・2年下<br>「しんぶんしとなかよし」<br>3・4年下<br>「組んで立ててつなぐんぐん」<br>5・6年下<br>「糸から生まれるわたしの空間」                             |
|   | ② 絵や立体、工作に表すこと<br>③ 鑑賞すること<br>④ [共通事項] に関すること    |  | ② 工作や立体の作品例や作っている過程を数多く載せることで、児童のアイデアを引き出し、発想が広がる工夫をしている。紙だけでなく、布に描いたり画用紙を立てたりと素材の良さや物の見方を変えて考えることを取り入れている。<br>③ 鑑賞する活動を多くの題材で位置付け明確化を図っている。「友だちと作品を見て話そう」や鑑賞題材で鑑賞の方法や視点を提示し、様々な感じ方を大切にしようとする態度の育成を図っている。<br>④ 造形的な特徴である形や色、線や面、動きや奥行きなどを注目させるようなリード文や楽しい題材名で、児童の意欲を高める工夫がされている。 | ② 3・4年上<br>「ぬのでえがくと」<br>5・6年下<br>「固まった形から」<br>③ 3・4年上<br>「絵を見て話そう」<br>5・6年下<br>「この筆あと、どんな空？」<br>④ 各題材において掲載されている。 |
|   | (2) 主体的・対話的である深い学習及び指導が配慮されているか。                 |  | (2)・めあて・振り返りのほか、思考・判断・表現と鑑賞が関連され見通しをもって取り組めるようになっている。また、大切なめあてやヒントをイラストで提示し注目させることで、主体的に取り組む手立てが示されている。<br><br>・ 児童が対話する活動では、児童同士のやり取りが写真や言葉で示されており、対話的な活動を通して自分の考えなどを広げたり深めたりできるよう配慮されている。  | (2)・各題材において掲載されている。<br><br>・ 1・2年上<br>「おってたてたら」<br>3・4年上<br>「トントンドンどんくぎうって」<br>5・6年上<br>「笑顔が生まれるしかけ」              |



令和6年度使用

小学校・義務教育学校前期課程用  
教科用図書調査研究資料

保 健

那須塩原市・那須町採択地区協議会

## 令和6年度使用小学校用教科用図書調査研究資料

|                       |  | 種 目  | 保 健 |
|-----------------------|--|--|-----|
| 教科用図書の記号・番号・名称        |  | 発 行 者 名  |     |
| 3・4年                  |  | 5・6年   |     |
| 保健 306<br>新編 新しい保健3・4 |  | 保健 506<br>新編 新しい保健5・6  |     |
|                       |  | 東京書籍株式会社   |     |
| 大観点                   | 小 観 点  | 調 査 の 結 果  |     |
| 1<br>内容について           | <p>(1) 学習指導要領に示された目標・内容について配慮されているか。</p> <p>[3・4年生]</p> <p>① 健康な生活</p> <p>② 体の発育・発達</p> <p>[5・6年生]</p> <p>① 心の健康</p> <p>② けがの防止</p> <p>③ 病気の予防</p> <p>(2) 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるよう配慮されているか。</p> <p>(3) 社会の変化に伴う諸課題について配慮されているか。</p> | <p>(1)</p> <p>① 児童が取り組みやすい実験を行ったり、自分の生活を振り返り話し合ったりすることで、体を清潔に保つことの大切さや、生活環境を整えることの大切さが理解できる内容となっている。</p> <p>② グラフや写真を比較できるような配置となっており、成長の様子や個人差を理解できる内容となっている。</p> <p>① 心の変化の様子をイラストで示し、体の変化を選択しながら考えることで、心と体のつながりについて理解できる内容となっている。</p> <p>② けがや事故が起こった様々な場面を掲載し、考えることで、人の行動と環境から原因と防止について考え、理解できる内容となっている。</p> <p>③ 健康な人とそうでない人の写真やグラフや数値を使い比較することで、健康的な生活習慣を理解できる内容となっている。</p> <p>(2) ・4つの学習の進め方を示し、児童が見通しをもって主体的に学習に取り組めるように工夫されている。</p> <p>・「深める・伝える」の過程では、「他の人の意見を聞いて、考えたことや分かったことを書く」など、対話的な活動を取り入れ、理解が深まるように工夫されている。</p> <p>(3) ・3・4年生では「コンピューターの使用と健康」、5・6年生では、「がんについて知ろう」など、現代社会での健康問題に触れ、領域の最後に発展的な内容として取り上げており、課題解決について考え行動につながるようには工夫されている。</p> |     |

| 大観点                                   | 小 観 点   | 調 査 の 結 果  |
|---------------------------------------|---|--|
| 2<br>程 度<br>・ 選 択<br>・ 取 扱<br>に つ い て | <p>(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。</p> <p>(2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。</p> | <p>(1) ・各ページにQRコードがたくさん掲載されていて、子供たちが視覚的に興味・関心をもてるよう工夫されている。<br/>・章のはじめの「気付く見つける」では、自分の生活を振り返り話し合う活動を行うことで、児童が学習課題を捉えることができるような工夫がされている。(5・6年P9)</p> <p>(2) ・章のはじめに関係するSDGSの主な目標が掲載されていて、身近な問題から世界の問題にも視野を広げられるよう工夫されている。(5・6年p4)<br/>・各項目において関係する資料の掲載ページが明記されており、確認をしながら学習を進めることができるよう工夫されている。(5・6年P15)</p> |
| 3<br>組 織<br>・ 配 列 等<br>に つ い て        | <p>(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。</p> <p>(2) 他教科等との関連について配慮されているか。</p>        | <p>(1) ・巻頭に学習の仕方や教科書の使い方が示されていたり、単元ごとに学習の進め方が示されていたりするので、見通しをもって学習しやすい。(3, 4年P4～P7)<br/>・「まとめる・生かす」などの学習過程において、次時や次学年とのつながりが明示されており、学習内容との関連を意識して学習できる工夫がしてある。(5, 6年P8)</p> <p>(2) ・領域の最初の部分に「つなげよう」とあり、そこに他教科との関連が書かれている。(5, 6年P4)<br/>・全単元にSDGSの目標との関連が示されている。(3, 4年P6)</p>                                |

## 令和6年度使用小学校用教科用図書調査研究資料

|                        |  | 種 目  | 保 健 |
|------------------------|--|--|-----|
| 教科用図書の記号・番号・名称         |  | 発 行 者 名  |     |
| 3・4年                   |  | 5・6年   |     |
| 保健 307<br>新版 たのしい保健3・4 |  | 保健 507<br>新版 たのしい保健5・6   |     |
|                        |  | 大日本図書株式会社  |     |
| 大観点                    | 小 観 点  | 調 査 の 結 果  |     |
| 1<br>内容について            | <p>(1) 学習指導要領に示された目標・内容について配慮されているか。</p> <p>[3・4年生]</p> <p>① 健康な生活</p> <p>② 体の発育・発達</p> <p>[5・6年生]</p> <p>① 心の健康</p> <p>② けがの防止</p> <p>③ 病気の予防</p> <p>(2) 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるよう配慮されているか。</p> <p>(3) 社会の変化に伴う諸課題について配慮されているか。</p> | <p>(1)</p> <p>① 写真で実験結果が掲載してあり、比較した気付きから身の回りの環境が健康に関わることについて、理解できるよう工夫された内容となっている。</p> <p>② 成長の様子をイラストやグラフで示し、自分の成長の様子について振り返ることで、体の成長や成長の個人差が理解できる内容となっている。</p> <p>① 心の様子や体の変化などをイラストで例示することで、心と体のつながりや、悩み・不安の解決方法が視覚的に理解できる内容となっている。</p> <p>② 児童が生活の中で起こりえる場面を示し、けがや事故の原因を考慮することで、けがや事故を防止するための手立てが理解できる内容となっている。</p> <p>③ 病気の起こり方について、「生活のしかた」と「環境」に分けて、考えたり、飲酒・喫煙・薬物について薦めない理由を考えたりすることで、健康を保つための望ましい生活習慣について理解できる内容となっている。</p> <p>(2) ・「つかもう」「話し合おう」の学習過程で、児童が自分自身の生活を振り返る活動が設けられており、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。</p> <p>・「家・地域でほけん」では、学んだことを生かすために、実践できることを整理することで、学習内容が理解できるように工夫されている。</p> <p>(3) ・「もっと知りたい」では、3・4年生では手洗い方法や様々な性について、5・6年生では悩みの解決方法や感染症など、現代社会での健康問題に触れ、これからの生活につながるように配慮されている。</p> |     |

| 大観点                                   | 小 観 点  | 調 査 の 結 果   |
|---------------------------------------|--|---|
| 2<br>程 度<br>・ 選 択<br>・ 取 扱<br>に つ い て | <p>(1) 発達 の 段 階、興 味・関 心 に つ い て 考 慮 さ れ て い る か。</p> <p>(2) 補 充 的 な 学 習、発 展 的 な 学 習 に つ い て 配 慮 さ れ て い る か。</p> | <p>(1) ・ 4 つ の キ ャ ラ ク タ ー が 問 い を 投 げ け け たり、分 かり や す く 解 説 し たり す る の で、興 味・関 心 を も っ て 取 り 組 む こ と が で き る よ う 工 夫 さ れ て い る。(p5)</p> <p>・ 教 科 書 の 最 初 に あ る 「折 り 込 み カ ー ド」を 活 用 し て、単 元 の は じ め に 自 分 の 生 活 を 振 り 返 り 学 習 に の ぞ む こ と が で き る よ う 工 夫 さ れ て い る。</p> <p>・ 世 間 で も 関 心 が 高 い LGB T に つ い て 触 れ て い る。</p> <p>(2) ・ 単 元 の 最 後 の 「も っ と ! 知 り た い !」に は 発 展 的 な 資 料 が い く つ も 掲 載 さ れ て い て、授 業 で 活 用 で き る 工 夫 が さ れ て い る。ま た、関 連 す る ペ ー ジ が 横 に 載 せ て あ る の で、学 び や す さ へ の 配 慮 も さ れ て い る。(5・6 年 p36)</p> |
| 3<br>組 織<br>・ 配 列 等<br>に つ い て        | <p>(1) 構 成、配 列、系 統 性 に つ い て 配 慮 さ れ て い る か。</p> <p>(2) 他 教 科 等 と の 関 連 に つ い て 配 慮 さ れ て い る か。</p>            | <p>(1) ・ 単 元 ご と に 学 習 の 流 れ が 示 さ れ て い て、児 童 が 見 通 し を も っ て 活 動 し や す い。(3, 4 年 P8)</p> <p>・ 他 学 年 と の 保 健 の 関 わ り が 示 さ れ て お り 系 統 性 を 意 識 す る こ と が で き る。(3, 4 年 生 P10)</p> <p>・ 巻 末 に は 次 学 年 と の つ な が り を 踏 ま え、学 習 が で き る よ う に 工 夫 さ れ て い る。(3, 4 年 生 P69・5, 6 年 生 P45)</p> <p>・ 学 習 内 容 と 関 連 の あ る 資 料 の ペ ー ジ が 示 さ れ て お り、そ こ か ら 中 学 校 へ の 内 容 と の 関 連 も 図 ら れ て い る。</p> <p>(2) ・ 保 健 の 内 容 と 各 教 科 と の 関 連 が 「つ な が り」マ ー ク で 示 さ れ て い る。(5, 6 年 P10)</p>  |

## 令和6年度使用小学校用教科用図書調査研究資料

|                         |  | 種 目   | 保 健 |
|-------------------------|--|---|-----|
| 教科用図書の記号・番号・名称          |  | 発 行 者 名   |     |
| 3・4年                    |  | 5・6年  |     |
| 保健 308<br>新 小学校ほけん 3・4年 |  | 保健 508<br>新 小学校保健 5・6年  |     |
|                         |  | 株式会社大修館書店   |     |
| 大観点                     | 小 観 点  | 調 査 の 結 果   |     |
| 1<br>内容について             | <p>(1) 学習指導要領に示された目標・内容について配慮されているか。</p> <p>[3・4年生]</p> <p>① 健康な生活</p> <p>② 体の発育・発達</p> <p>[5・6年生]</p> <p>① 心の健康</p> <p>② けがの防止</p> <p>③ 病気の予防</p> <p>(2) 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるよう配慮されているか。</p> <p>(3) 社会の変化に伴う諸課題について配慮されているか。</p> | <p>(1)</p> <p>① 手の汚れや下着、ハンカチの汚れの実験結果から、細菌が身の回りにあることに気付き、健康な生活の仕方について理解することができる内容となっている。</p> <p>② 成長の様子をイラストやグラフ、写真などで比較し、児童が体の成長と成長の個人差を実感できる内容となっている。</p> <p>① 不安や悩みへの対処では、児童が生活の中で取り組める体操や運動を掲載することで、心の健康を保つ方法を理解できる内容となっている。</p> <p>② 生活の中での危険な場面をイラストで掲載し、比較することでけがや事故の原因について理解できる内容となっている。</p> <p>③ 資料や図を基に、話し合う活動を通して、感染症予防や喫煙、飲酒の危険性について理解できる内容となっている。</p> <p>(2) ・「考えよう・話し合おう」では、児童同士が話し合うことで、他者の考えを聞き、自分の考えを深め広げられるように工夫されている。</p> <p>・「課題をつかもう」では、身近な生活場面から、学習課題を捉えることで、主体的に学習に取り組めるように工夫されている。</p> <p>(3) ・「もっと学びを深めよう」では、「スポーツ障害」や「スマホ・ゲーム依存」など、現代社会での健康課題が掲載されており、課題解決に向けて取り組めるように配慮されている。</p> |     |

| 大観点                       | 小 観 点   | 調 査 の 結 果   |
|---------------------------|---|---|
| 2<br>程 度 ・ 選 択 ・ 取 扱 について | <p>(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。</p> <p>(2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。</p> | <p>(1) ・ 単元のはじめに、子供たちが知っている著名人へのインタビューが紹介されることで、自分ごととして学習に関心を持って意欲的に取り組むことができる。</p> <p>(2) ・ これまで学習した知識を実生活に生かすことができるよう、どの単元でも発展的な資料が掲載されている。現代の子供達の心や体の問題についてイラストに分かりやすくまとめられていて、実生活に即した内容になっている。</p> <p>・ さらに学習したい内容について、QRコードで調べることができる。データ元がきちんと掲載されている。</p>  |
| 3<br>組 織 ・ 配 列 等 について     | <p>(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。</p> <p>(2) 他教科等との関連について配慮されているか。</p>        | <p>(1) ・ 最初に保健の学び方が示されており、児童が見通しをもって学習に取り組める工夫がされている。(3, 4年P6)</p> <p>・ 保健クイズがQRコードで示されており、学習内容の定着を楽しくできるように工夫している。(5, 6 P19)</p> <p>・ 「体育の窓」では体育との関連を意識した資料が示されている。(5, 6年P11)</p> <p>(2) ・ 教科のマークがあり、他教科との関連を確認して進めることができる。(5, 6 P33)</p> <p>・ 「資料」に金子みすゞさんの詩が示されており、道徳の個性の伸長の領域との関連が図られている。(3, 4年P37)</p> <p>・ 「生活習慣と予防」では、理科や体育との関連が図られており、話し合いを通して教科横断的に理解が深められるようになっている。(5, 6年P57)</p> |

## 令和6年度使用小学校用教科用図書調査研究資料

|                           |  | 種 目  | 保 健 |
|---------------------------|--|--|-----|
| 教科用図書の記号・番号・名称            |  | 発 行 者 名  |     |
| 3・4年                      |  | 5・6年   |     |
| 保健 309<br>新わたしたちのほけん 3・4年 |  | 保健 509<br>新わたしたちの保健 5・6年   |     |
|                           |  | 株式会社文教社  |     |
| 大観点                       | 小 観 点  | 調 査 の 結 果  |     |
| 1<br>内容について               | <p>(1) 学習指導要領に示された目標・内容について配慮されているか。</p> <p>[3・4年生]</p> <p>① 健康な生活</p> <p>② 体の発育・発達</p> <p>[5・6年生]</p> <p>① 心の健康</p> <p>② けがの防止</p> <p>③ 病気の予防</p> <p>(2) 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるよう配慮されているか。</p> <p>(3) 社会の変化に伴う諸課題について配慮されているか。</p> | <p>(1)</p> <p>① イラストや写真で生活の仕方や汚れの様子などを示すことで、健康な生活の仕方を理解できる内容となっている、</p> <p>② 写真やイラスト、グラフなどの資料を用いて、様々な視点から変化を比べ、成長による体の変化について理解できる内容となっている。</p> <p>① 心の発達の学習では、3・4歳のころと今の自分の考え方を比較することで、心の成長を実感でき、様々な人や事柄が心の成長につながっていることが理解できる内容となっている。</p> <p>② 事故やけがについて、様々なデータや身近な場面絵を用いることで、事故やけがについて考え、防止するための適切な行動について理解できる内容となっている。</p> <p>③ 写真などで実験結果や実物を掲載することで、病気の予防について理解できる内容となっている。</p> <p>(2) ・「わたしの〇〇宣言」では、友達からのメッセージをもらえる欄があり、対話を通して、健康への実践意欲を高めることができるような工夫がされている。</p> <p>(3) ・「エピソード」で、SDGsやエイズなど、現代社会での健康課題や、社会問題について取り上げることで、自ら問いを見出し、課題解決に取り組めるように配慮されている。</p> |     |

| 大観点                                   | 小 観 点  | 調 査 の 結 果   |
|---------------------------------------|--|---|
| 2<br>程 度<br>・ 選 択<br>・ 取 扱<br>に つ い て | <p>(1) 発達 の 段 階、興 味・関 心 に つ い て 考 慮 さ れ て い る か。</p> <p>(2) 補 充 的 な 学 習、発 展 的 な 学 習 に つ い て 配 慮 さ れ て い る か。</p> | <p>(1) ・ 生 活 習 慣 病 や ネ ッ ト ト ラ ブ ル な ど、自 分 事 と し て イ メ ー ジ で き な い 身 近 な 課 題 に つ い て イ ラ ス ト を 交 え て 問 題 提 起 し て い る。課 題 解 決 へ の 関 心 を 高 め る 工 夫 が な さ れ て い る。(5・6年 p37・p68)</p> <p>(2) ・ 「も っ と 考 え よ う 課」 「episode」 に は、発 展 的 な 内 容 が 掲 載 さ れ て い た り、既 習 内 容 を 実 生 活 に 生 か し た り で き る よ う 工 夫 さ れ て い る。写 真 も 多 く 掲 載 さ れ て い て、視 覚 的 に 捉 え や す い。(5・6年 P18)</p>   |
| 3<br>組 織<br>・ 配 列 等<br>に つ い て        | <p>(1) 構 成、配 列、系 統 性 に つ い て 配 慮 さ れ て い る か。</p> <p>(2) 他 教 科 等 と の 関 連 に つ い て 配 慮 さ れ て い る か。</p>            | <p>(1) ・ 「menu」 で 目 標 を 示 し、内 容 が 段 階 的 に 進 ん で い く の で 学 習 の 見 通 し が も ち や す い。(3, 4年 P1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「complete」 で 学 習 内 容 を ま と め る と と も に、次 時 へ の つ な が り を 意 識 で き る よ う に 示 さ れ て い る。(3, 4年 P18)</li> <li>・ 前 学 年 の 学 習 内 容 が 示 さ れ て お り、系 統 性 を 意 識 さ れ て い る。(5, 6年 P12)</li> </ul> <p>(2) ・ 「体 の よ り よ い 発 育・発 達 と 生 活 の し か た」 で は 栄 養 3, 3 運 動 と し て 家 庭 科 と の 関 連 が 図 ら れ て い る。(3, 4年 p34)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「交 通 事 故 の 防 止」 で は 交 通 事 故 を 防 ぐ 取 り 組 み に つ い て 資 料 が 示 さ れ て お り、社 会 科 と の 関 連 が 図 ら れ て い る。(5, 6年 P29)</li> <li>・ 保 健 関 係 の 職 業 に つ い て の 資 料 が 示 さ れ て い て、キ ャ リ ア 教 育 と の 関 連 が 図 ら れ て い る。(5, 6年 P78)</li> </ul> |

## 令和6年度使用小学校用教科用図書調査研究資料

|                      |  | 種 目  | 保 健 |
|----------------------|--|--|-----|
| 教科用図書の記号・番号・名称       |  | 発 行 者 名  |     |
| 3・4年                 |  | 5・6年   |     |
| 保健 310<br>小学ほけん 3・4年 |  | 保健 510<br>小学保健 5・6年  |     |
|                      |  | 株式会社光文書院   |     |
| 大観点                  | 小 観 点  | 調 査 の 結 果  |     |
| 1<br>内容について          | <p>(1) 学習指導要領に示された目標・内容について配慮されているか。</p> <p>〔3・4年生〕</p> <p>① 健康な生活</p> <p>② 体の発育・発達</p> <p>〔5・6年生〕</p> <p>① 心の健康</p> <p>② けがの防止</p> <p>③ 病気の予防</p> <p>(2) 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるよう配慮されているか。</p> <p>(3) 社会の変化に伴う諸課題について配慮されているか。</p> | <p>(1)</p> <p>① 友達から健康のために気を付けていることを書いてもらい、多面的に健康な生活の仕方について考えられる内容となっている。(3・4)</p> <p>② 実物大の写真やイラスト、グラフなどを使って比較することで、成長の様子や男女の違いに気付き、体の発育発達について理解できる内容となっている。</p> <p>① 心の発達では、3・4歳と今の自分を比較することで、様々な人や事柄が影響することで、心が成長していくことを理解できる内容となっている。</p> <p>② 日常に潜む危険性について場面絵を用いて話し合うことで、事故やけがの原因について理解できる内容となっている。</p> <p>③ イラストや実物写真を見て話し合うことで、喫煙・飲酒・薬物乱用の危険性について理解できる内容となっている。</p> <p>(2) ・学習活動が5段階になっており、見通しをもって児童が主体的に学習に取り組めるように配慮されている。</p> <p>・「話し合おう」では、他者の意見を聞くことで、自分の考えを深め広げられるよう工夫されている。</p> <p>(3) ・単元内や資料ページでは、SDGsやインターネットトラブルなど現代社会を取り巻く社会問題や生活習慣の変化に応じた課題が掲載されており、課題解決について考えることができるように配慮されている。</p> |     |

| 大観点                                   | 小 観 点   | 調 査 の 結 果  |
|---------------------------------------|---|--|
| 2<br>程 度<br>・ 選 択<br>・ 取 扱<br>に つ い て | <p>(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。</p> <p>(2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。</p> | <p>(1) ・各単元に記載されている「まめ知識」では、発達段階に応じた解決方法や説明がなされている。(5・6年p11)</p> <p>(2) ・中学校で学習する内容や生活に生かせる知識を資料として掲載している。「はってん」(5・6年P16)</p> <p>・関連するページが記載されており、関連付けて学習を進めることができるよう工夫されている。(5・6年p20)</p>   |
| 3<br>組 織<br>・ 配 列 等<br>に つ い て        | <p>(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。</p> <p>(2) 他教科等との関連について配慮されているか。</p>        | <p>(1) ・巻頭に学習の進め方がイラストで示されており、児童が意欲関心をもって取り組める工夫をしている。(3, 4年P2~P7)</p> <p>・「保健〇年」で学年間のつながりが示されていて、学習のつながりを意識して学べる工夫がされている。(5, 6年P46)</p> <p>・「はってん」の資料の中に、中学校へのつながりが示されており系統性を意識している。(3, 4年P38、P39)</p> <p>(2) ・保健の学習内容と他教科で学習したことの関連が示されている。(5, 6年P8)</p> |

## 令和6年度使用小学校用教科用図書調査研究資料

|                          |  | 種 目  | 保 健 |
|--------------------------|--|--|-----|
| 教科用図書の記号・番号・名称           |  | 発 行 者 名  |     |
| 3・4年                     |  | 5・6年   |     |
| 保健 311<br>新・みんなのほけん 3・4年 |  | 保健 511<br>新・みんなの保健 5・6年  |     |
|                          |  | 株式会社Gakken   |     |
| 大観点                      | 小 観 点  | 調 査 の 結 果  |     |
| 1<br>内容について              | <p>(1) 学習指導要領に示された目標・内容について配慮されているか。</p> <p>[3・4年生]</p> <p>① 健康な生活</p> <p>② 体の発育・発達</p> <p>[5・6年生]</p> <p>① 心の健康</p> <p>② けがの防止</p> <p>③ 病気の予防</p> <p>(2) 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるよう配慮されているか。</p> <p>(3) 社会の変化に伴う諸課題について配慮されているか。</p> | <p>(1)</p> <p>① イラストや写真で実験結果を掲載し、手や衣服、空気の汚れについて比較することで、健康な生活の仕方について理解できる内容となっている。</p> <p>② イラストやグラフを用いて比較することで、成長の様子や個人差を理解できる内容となっている。</p> <p>① 不安や悩みへの対処法を多く例示し考えることで、人によって対処法が違うことを理解できる内容となっている。</p> <p>② 様々な場面絵を用いて事故やけがの原因を考えることで、けがや事故の発生要因について多面的に考えることができる内容となっている。</p> <p>③ 資料や啓発ポスター、データを用いて、児童が自分の考えをまとめ、病気の予防について理解できる内容になっている。</p> <p>(2) ・学習形態が明確に示されており、児童が様々な活動を通して学習できるように配慮されている。<br/>・単元の初めに学習課題が明記され、児童が問題解決に向けて、主体的に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>(3) ・インターネットトラブルや感染症など児童の日常生活に関わる問題を多く取り上げて、保健の学習内容と適切に関連されて取り扱えるよう工夫されている。</p> |     |

| 大観点                       | 小 観 点   | 調 査 の 結 果   |
|---------------------------|---|---|
| 2<br>程 度 ・ 選 択 ・ 取 扱 について | <p>(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。</p> <p>(2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。</p> | <p>(1) 各単元のはじめには、これまでの自分自身の生活について振り返えることで、学習課題に進んで取り組めるようことができるよう工夫されている。(3・4年P50)</p> <p>(2) ・「ほけんのはこ」では、中学校で学習する内容や生活に生かせる知識を資料として掲載している。(5・6年P61)<br/>         ・「もっと！知りたい・調べたい」では、幅広い知識を身につけることができるように、発展的な資料が掲載されている。また、関連するページも明記され、既習内容と関連させながら学びを深めることができる工夫がされている。(3・4年P24・25)</p>  |
| 3<br>組 織 ・ 配 列 等 について     | <p>(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。</p> <p>(2) 他教科等との関連について配慮されているか。</p>        | <p>(1) ・教科書の最初に単元関係なく、学び方や教科書の使い方が示されていたり、単元ごとに目標や学習の進め方が示されていたりして、見通しをもって学習に取り組みやすい。(3, 4年P5~P7)<br/>         ・単元ごとに「これまでに学習したこと」が示されており、単元のつながりを意識しやすい。(5, 6年P16)<br/>         ・終末に「ふり返る 伝える つなぐ」で学習内容をまとめられるようになっている。(5, 6年P48)<br/>         ・「ほけんのはこ」では学習した内容に関連のある資料が示されるとともに、次年度以降の学習の系統性が意識されている。(5, 6年P77)</p> <p>(2) ・領域の始めに「つなぐ」として他教科との関連が示されている。また、その領域に関する仕事も示されており、キャリア教育との関連も図られている。(3, 4年P7)<br/>         ・病気の予防では地域の保健活動について資料が示されており、日常生活との関連が図られている。(5, 6年P78~P81)</p> |

令和6年度使用

小学校・義務教育学校前期課程用  
教科用図書調査研究資料

家 庭

那須塩原市・那須町採択地区協議会

## 令和6年度使用小学校用教科用図書調査研究資料

|  |                                    | 種 目   | 家 庭 |
|--|------------------------------------|---|-----|
| 教科用図書の記号・番号・名称                             |                                    | 発 行 者 名   |     |
| 5・6年                                       |                                    | 東京書籍株式会社  |     |
| 家庭503<br>新編 新しい家庭 5・6 私がつくる みんなでつくる 明日をつくる |                                    |   |     |
| 大観点  | 小 観 点                              | 調 査 の 結 果   |     |
| 1<br>内容<br>について                            | (1) 学習指導要領に示された目標・内容について配慮されているか。  | (1) 本書全体を通して、各題材が「課題発見」、「課題解決・実践活動」、「評価・改善」の三つのステップで構成されており、問題解決的な学習を繰り返し行うことによって、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を育むとともに、家庭や地域の一員として実践できるよう工夫されている。  |     |
|  | A 家族・家庭生活                          | A 家族や家庭生活の学習では、家族とのつながりを深めるための内容が取り入れられるとともに、家庭での実践事例を示すことで、学習が家族や家庭生活と結び付くことができるよう配慮されている。また、2学年とも、よりよい家庭生活を目指して実践できる学習展開となるよう工夫されている。   |     |
|  | B 衣食住の生活                           | B 衣生活では、製作活動におけるポイントや工夫が吹き出しやイラスト、写真で例示されており、製作意欲が高まるような工夫がされている。<br>・ 食生活の学習では、データを基にした食の大切さや環境に配慮した買い物や調理の工夫が明示されている。知識及び技能の習得を図り、食生活をよりよくしようとする実践的な態度を育成することができるよう工夫されている。<br>・ 住生活では、住まい方と着方が複合的に扱われている。5学年では自分の身の回りに視点を置き、6学年では住居に目を向けることができるよう広がりのある内容構成になっている。 |     |
|  | C 消費生活・環境                          | C 家庭科の学習全体に関わる消費生活・環境の学習内容を、5学年の早い段階で学習できるようにするとともに、消費生活と環境について複合的に学習しながら物や金銭の使い方を学習することで、SDGsにつなげられるよう工夫されている。   |     |
|  | (2) 主体的・対話的で深い学びの実現ができるよう配慮されているか。 | (2) ・ 「ステップ1・2・3」の流れで学習を進めていくことにより、主体的・対話的で深い学びになるよう工夫されている。<br>・ 各題材の最初に「家庭科の窓」が設定されており、その題材を学習する上で主となる視点が示されている。児童がその視点を意識しながら学習することにより、深い学びにつながるよう工夫されている。   |     |
|  | (3) 地域の実態に応じる配慮がなされているか。           | (3) ・ 伝統的な内容に「日本の伝統マーク」を付すことにより、児童が日本の伝統文化や郷土・地域の良さを再確認することができるよう工夫されている。<br>・ 「あなたは家庭や地域の宝物」(p.128-133)では、活動例や資料を複数取り上げることにより、児童が家庭や地域への関わりを考え、実践できるよう配慮されている。   |     |
|  | (4) 社会の変化に対応できるように配慮されているか。        | (4) ・ 「SDGsでつくる私たちの未来」(p.43)では、家庭科で学習した内容がSDGsのどの目標とつながるのかが示されている。持続可能な社会を実現するため、児童が自らできることを考え、実践に結び付けることができるよう工夫されている。<br>・ 「買い物について考えよう」(p.38-39)では、現金以外での支払い方法やインターネットでの購入の際に気を付けることについて示すことで、様々な購入方法に対応することができるよう配慮されている。   |     |

| 大観<br>点   | 小<br>観<br>点   | 調<br>査<br>の<br>結<br>果   |
|---|---|---|
| 2<br>程<br>度<br>・<br>選<br>択<br>・<br>取<br>扱<br>に<br>つ<br>い<br>て | <p>(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。</p> <p>(2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。</p> <p>(3) 学習を安全に行う上で配慮がされているか。</p> | <p>(1) ・ 「成長の記録」(p.6-7)では、各学年の目標や学習後の振り返り、家庭で挑戦したいことを記録することで、児童自らが「分かった」、「できた」を実感し、自己肯定感を高めることができるよう工夫されている。</p> <p>・ 各題材の初めに学習の流れを示すことで、児童が見通しをもつことができ、またイラストや写真、動画をふんだんに使用することで、児童の学習意欲が高まるよう工夫されている。</p> <p>(2) ・ 「いつも確かめよう」を、巻頭や巻末、題材の途中に適宜掲載することで、児童が学習をする上でのポイントを繰り返し確認することができるよう工夫されている。また、巻末には、原寸大の作業場面の写真や左利きの実践の写真を大きく掲載することで、どの児童も安心して実習ができるよう工夫されている。</p> <p>・ 「夏休みわくわくチャレンジ」、「生活を変えるチャンス」を複数回設定することで、児童が学習したことを活用して、家庭や地域で繰り返し実践することができるよう工夫されている。</p> <p>(3) ・ 「安全」マークを付すことにより、児童が安心して調理や製作活動に取り組めるよう配慮されている。特に、禁止事項については×印で示し、注意喚起をしている。</p> <p>・ 衛生や安全に関するページを巻頭に掲載することにより、児童の目に留まりやすくするとともに、安全指導の徹底を図ることができるよう工夫されている。</p>                 |
| 3<br>組<br>織<br>・<br>配<br>列<br>等<br>に<br>つ<br>い<br>て           | <p>(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。</p> <p>(2) 他教科等との関連について配慮されているか。</p> <p>(3) 学校の施設・設備の実情について配慮されているか。</p>    | <p>(1) ・ 持続可能な社会については、5学年で詳しく扱うことで、継続的に学べるよう配慮されている。</p> <p>・ 学習内容のつながりを考慮し、大きなまとまりで単元を捉えることができる構成になっている。また、児童の発達の段階に応じて学習内容や実習内容が基礎・基本から応用へと系統的に配列されることで、段階的に学習することができるよう配慮されている。</p> <p>(2) ・ 巻頭の「成長の振り返り」に、他教科における4学年までの学習内容とのつながりが具体的に示されることで、身に付けた知識及び技能と関連付けて学習をスタートすることができるよう工夫されている。</p> <p>・ 教科内、他教科ともに「リンク」マークで関連する事項が掲載されているページが示され、既習事項を確認したり、先を見通したりすることができるよう配慮されている。</p> <p>・ 日頃の生活から防災に向けて気を付ける内容を「日々の備え」で示すことにより、防災学習を意識できるよう配慮されている。</p> <p>(3) ・ ガスコンロやIHクッキングヒーターなど、各学校や各家庭によって使用する設備が大きく変わるものについては、見開きページで紹介することで、どちらにも対応して学習できるよう工夫されている。</p> <p>・ 実習で使用する用具について、用途や収納場所などを確認するためのチェックリストを掲載することで、自校の実情を児童自身が把握することができるよう配慮されている。</p> |

## 令和6年度使用小学校用教科用図書調査研究資料

|                         |  | 種 目   | 家 庭 |
|-------------------------|--|---|-----|
| 教科用図書の記号・番号・名称          |  | 発 行 者 名   |     |
| 5・6年                    |  | 開隆堂出版株式会社   |     |
| 家庭 504<br>わたしたちの家庭科 5・6 |  |   |     |
| 大観点                     | 小 観 点                                    | 調 査 の 結 果   |     |
| 1<br>内容<br>について         | (1) 学習指導要領に示された目標・内容について配慮されているか。        | (1) 本書全体を通して、各題材において「気づく・見つける」、「わかる・できる」、「生かす・深める」の三つのステップで問題解決的な学習を進めることで、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を育むとともに、家庭や地域の一員として実践することができるよう工夫されている。<br>A 家族や家庭生活の学習では、家族とのつながりを深めるための内容が取り入れられるとともに、地域や社会へと視点が広がるような単元構成になっている。このことから、家族や地域の人々とよりよく関わる実践力を育成することができるよう工夫されている。 |     |
|                         | A 家族・家庭生活                                | B・衣生活では、製作活動と衣服についての知識を単元に分けて取り上げている。写真やイラストが見やすく提示され、内容を捉えやすくしている。<br>・食生活では、献立例を複数示したり、食文化についての資料なども豊富であったりするので、食生活をよりよくしようとする実践的な態度が育成できるよう工夫されている。<br>・住生活では、快適な住まい方に関して写真やイラストなどを用いた具体的な資料が提示されており、児童の実践力を育成することができるよう工夫されている。                               |     |
|                         | B 衣食住の生活                                 | C 消費生活についての内容をイラストやフローチャートで考えさせ、実生活との関連を図りながら、必要な情報を適切に収集・整理できるように工夫されている。6学年最後に、環境に配慮した内容を取り上げ、SDGsの実践を意識付けている。  |     |
|                         | C 消費生活・環境                                | (2)・児童の考えや気付きを記入できる欄があることで、意欲や関心を高められ、主体的に課題に取り組むことができるよう工夫されている。<br>・「生かす・深める」等で、児童が対話したり友達と意見交換したりできるような学習活動を多く取り入れ、自らの考えを広げ、深めることができるように工夫されている。   |     |
|                         | (2) 主体的・対話的で深い学びの実現に資することができるよう配慮されているか。 | (3)・本文において「伝統マーク」を使用し、伝統文化について意識させている。「食文化」では、各地域の米やみそ、器、雑煮等を取り上げ、地域の生活文化について興味・関心を高めることができるよう配慮している。<br>・「共に生きる地域での生活」では、地域の一員として自分にできることを考えることで、地域との連携の大切を実感することができるよう配慮されている。  |     |
|                         | (3) 地域の実態に応じる配慮がなされているか。                 | (4)・各学年末においてSDGsと関連させた内容を取り上げることによって、身近なところから環境への取り組みができるよう工夫されている。<br>・「買い物をしてみよう」では、支払いに使用できるカードや買い物をする際の環境に与える影響などを示すことで、考えて買い物をすることができるよう配慮されている。   |     |
|                         | (4) 社会の変化に対応できるように配慮されているか。              |   |     |

| 大観点                          | 小 観 点   | 調 査 の 結 果   |
|------------------------------|---|---|
| 2<br>程 度 ・ 選 択 ・ 取 扱 に つ い て | <p>(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。</p> <p>(2) 補充的な学習、発展的な学習について考慮されているか。</p> <p>(3) 学習を安全に行う上で配慮がされているか。</p> | <p>(1) ・ 題材の初めに「学習のめあて」が示され、どこの段階の学習をしているのか捉えやすくなっている。<br/>         ・ 調理や製作などの過程で、吹き出し等を使って児童へのアドバイスや問いかけをすることで、児童の興味・関心を引き出すことができるよう工夫されている。<br/>         ・ 学習内容によって色分けされ、活動の様子や具体例などが見やすく分かりやすくなっている。また、ポイントとなる言葉や重要語句が太字で強調され分かりやすくなっている。</p> <p>(2) ・ 「教科書の中で参照するページ」のマークを掲載し、参照ページを開くことで繰り返し学習することができるよう配慮されている。<br/>         ・ 教科書下部に用語の解説や用具、歴史など、本文と関連させた「豆知識」を掲載することで、補充的な学習ができるよう工夫されている。</p> <p>(3) ・ 各題材の適した場所に「安全」マークが位置付けられることで、児童が安全に実習に取り組めるよう配慮されている。また、食物アレルギーへの注意喚起が詳しく掲載され、児童が食物アレルギーへの理解を深め、安全に実習できるよう配慮されている。<br/>         ・ 巻末に、衛生や防災についての特設ページが設けられており、児童の安全意識を高めるような工夫がされている。</p>                          |
| 3<br>組 織 ・ 配 列 等 に つ い て     | <p>(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。</p> <p>(2) 他教科等との関連について配慮されているか。</p> <p>(3) 学校の施設・設備の実情について配慮されているか。</p>    | <p>(1) ・ 題材を細かく区切って構成することで、基礎・基本を身に付けられるよう配慮されている。また、6年では、既習を生かせる構成にすることで、学んだことを実生活で活用する力を育むことができるよう工夫されている。<br/>         ・ 「2年間の学習を中学校につなげよう」(P.136-137)では、中学校での学習内容が示され、つながりを意識して学習することができるよう配慮されている。</p> <p>(2) ・ 教科内および他教科との関連箇所がその都度「関連」マークを使って具体的に示されており、既習事項を意識し、つなげて考えることができるよう配慮されている。<br/>         ・ 巻末の「生活の中のプログラミング」では、家電製品のプログラミング例を示すとともに、フローチャートを用いて効率よくご飯と味噌汁をつくるためのプログラミングを考えることで、プログラミング的思考が育成できるよう工夫されている。</p> <p>(3) ・ ガスコンロやIHクッキングヒーターなど、多様な器具・用具を取り上げることで、学校の施設・設備に応じた実習ができるよう配慮されている。<br/>         ・ 巻末の「食生活に関わる調理用具や食器」において、家庭での普及率が高くなってきたIHクッキングヒーターの使い方や注意点を具体的に示すことにより、各家庭の実情に合わせた実践ができるよう工夫されている。</p> |

令和6年度使用

小学校・義務教育学校前期課程用  
教科用図書調査研究資料

外国語（英語）

那須塩原市・那須町採択地区協議会

## 令和6年度使用小学校用教科用図書調査研究資料

| 教科用図書の記号・番号・名称                                       |   |  | 種 目   | 英 語  |
|--|---|--|---|--|
| 5 年  |   |  | 5・6年  | 6 年  |
| 英語 509<br>NEW HORIZON Elementary<br>English Course 5 |   |  | 英語 510<br>NEW HORIZON Elementary<br>English Course My Picture Dictionary  | 英語 609<br>NEW HORIZON Elementary<br>English Course 6 |
|  |   |  | 東京書籍株式会社  |  |
| 大<br>観<br>点  | 小<br>観<br>点   | 調 査 の 結 果  |   |  |
|  |   | 小観点及び内容の全体的なもの   |   | 各学年の特記事項   |
| 1<br>内<br>容<br>に<br>つ<br>い<br>て                      | (1) 学習指導要領に示された目標<br>・内容について配慮されている<br>か。   | (1)  | (1)   | (1)  |
|  | <p>①外国語の音声や文字、語彙、<br/>表現、文構造、言語の働きなど<br/>を理解し、実際のコミュニケーション<br/>の中で活用できる基本的<br/>な技能を身に付けること</p> <p>②コミュニケーションを行う目<br/>的や場面、状況などに応じて、<br/>表現し、伝え合う基礎的な力<br/>を養うこと</p> <p>③外国語の背景にある文化に対<br/>する理解を深め、主体的にコミ<br/>ュニケーションを図ろうとする<br/>態度を養うこと</p> | <p>①・「Sounds and Letters」において、単語のはじめの音に注意<br/>を向けながら聞く活動が設定されており、文字の音に慣れ親し<br/>むことができるよう配慮されている。</p> <p>②・「Enjoy Communication」の「Your Goal」では、聞く活動や<br/>話す活動を通して、児童が伝えたい情報を整理した上で、再度<br/>伝え合うことができるよう工夫されている。</p> <p>③・「Over the Horizon」では、単元に関連した題材を扱い、日<br/>本や世界の文化的背景について理解を深めることができるよう<br/>配慮されている。</p> | <p>①・5年：「はじめの音に慣れ親しもう<br/>(1)」(pp.60-61)</p> <p>②・5年：自己紹介、オリジナルタウン、<br/>観光案内CM など<br/>・6年：好きなものや宝物、世界の国の<br/>魅力、小学校の思い出、将来の<br/>夢など</p> <p>③・5年：日本探検・ことば探検<br/>・6年：世界探検・物語探検<br/>・5、6年：文化探検</p> |  |
|  | (2) 主体的・対話的で深い学びの<br>実現に資する学習及び指導がで<br>きるよう配慮されているか。  | (2)・「Check Your Steps」では、思考ツールを活用して考えを整<br>理し、既習事項を生かしながら様々な形態で発表できる場面が<br>設定されており、実践的なコミュニケーション能力を身に付け<br>ることができるよう配慮されている。   | (2)・5年：自分のこと、身近な地域のこ<br>と、日本のこと<br>・6年：世界の国や生活、世界と地<br>球、思い出と夢  |  |

| 大観<br>点   | 小<br>観<br>点                    | 調<br>査<br>の<br>結<br>果   |  |
|---|--------------------------------|---|--|
|   |                                | 小観点及び内容の全体的なもの  | 各学年の特記事項   |
| 2<br>程<br>度<br>・<br>選<br>択<br>・<br>取<br>扱<br>に<br>つ<br>い<br>て | (1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。   | (1) ・「My Picture Dictionary」には、単語に加え、それを生かした例文、資料を掲載するとともに、「マイ単語」には、伝えたい表現をイラストや文字で表すことができるよう工夫されている。   | (1) ・5年：世界で活躍する日本人、日本の四季、日本の名所など                               |
|   | (2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。 | (2) ・ページ下部には、「Sounds and Letters」や「Small Talk」、「Let's Sing」など、補充的な学習から発展的な学習まで様々な活動が取り上げられている。  | (2) 「Let's Sing」<br>・5年：「It's Sunday!」など<br>・6年：「Say hello!」など |
| 3<br>組<br>織<br>・<br>配<br>列<br>等<br>に<br>つ<br>い<br>て           | (1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。     | (1) ・各単元が、学習内容に慣れ親しむ「Starting Out」、定着を図る「Your Turn」、単元のゴールの活動を行う「Enjoy Communication」、世界の文化を知る「Over the Horizon」で構成され、段階的に学習に取り組むことができるよう配慮されている。<br>・「My Picture Dictionary」にある「Digital Map」には、言語活動に必要な情報や児童の興味・関心を引き出す資料が掲載されており、言語活動の充実を図ることができるよう配慮されている。<br>・デジタル教科書には、書き込み表示機能が付いており、児童が書き込んだものを自由に表示したり、隠したりすることができるよう工夫されている。 | (1) 「My Picture Dictionary」<br>・5年：pp. 4-5<br>・6年：pp. 2-3      |
|   | (2) 他教科等との関連について配慮されているか。      | (2) ・各教科の学習内容やSDGs、郷土教育・伝統文化、異文化理解・多文化共生意識、今日的な課題などの題材が取り上げられており、外国語を通して、様々な内容に関する理解を深めることができるよう配慮されている   | (2) ・5、6年：「Over the Horizon」                                   |

## 令和6年度使用小学校用教科用図書調査研究資料

|                                 |  |   |  | 種 目   | 英 語 |
|---------------------------------|--|---|--|---|-----|
| 教科用図書の記号・番号・名称                  |  |   |  | 発 行 者 名   |     |
| 5 年                             |  | 6 年   |  | 開隆堂出版株式会社   |     |
| 英語 511<br>Junior Sunshine 5     | 英語 512<br>Junior Sunshine 5<br>Word Book   | 英語 611<br>Junior Sunshine 6   | 英語 612<br>Junior Sunshine 6<br>Word Book |   |     |
| 大<br>観<br>点                     | 小観点  | 調 査 の 結 果   |  |   |     |
|                                 |  | 小観点及び内容の全体的なもの  |  | 各学年の特記事項  |     |
| 1<br>内<br>容<br>に<br>つ<br>い<br>て | (1) 学習指導要領に示された目標・内容について配慮されているか。  | (1)   |  | (1)   |     |
|                                 | <p>① 外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどを理解し、実際のコミュニケーションの中で活用できる基本的な技能を身に付けること</p> <p>② コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、表現し、伝え合う基礎的な力を養うこと</p> <p>③ 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養うこと</p> | <p>① ・各單元では、「聞く」、「話す」活動から「読む」、「書く」活動へと、音声から文字の習得が円滑に図られるよう配慮されている。</p> <p>② ・「Activity」では、「～するために～しましょう。」などと、コミュニケーションを行う目的や相手意識を明確にして、伝え合うことができるよう配慮されている。</p> <p>③ ・「Around the World」では、各単元の題材に関連した世界各国の文化や生活について取り上げられており、外国語を通して、他国の文化や生活についての理解を深めることができるよう配慮されている。</p> |  | <p>① ・5、6年：<br/>各 Lessonの2時間目から6時間目の部分</p> <p>② ・5、6年：<br/>各 Lessonの「Activity」の部分</p> <p>③ ・5年：<br/>世界のあいさつ、世界の行事やおまつり、世界のめずらしい授業など<br/>6年：<br/>海外の小学生、世界のさまざまな行事、世界で働く人たちの日課など</p> |     |
|                                 | (2) 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるよう配慮されているか。   | (2) ・各単元の初めにゴールまでの活動が示されており、見通しをもって学習に取り組もうとする態度を養うことができるよう工夫がされている。  |  | ・5、6年 p.128   |     |

| 大観点                           | 小観点                            | 調査の結果  |   |
|-------------------------------|--------------------------------|--|---|
|                               |                                | 小観点及び内容の全体的なもの   | 各学年の特記事項  |
| 2<br>程度・<br>選択・<br>取扱<br>について | (1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。   | (1) ・ 「Let' s play」、「Let' s Try」、「Activity」では、ゲームやインタビューなどの活動が設定されており、学習意欲を高めることができるよう配慮されている。   | (1)<br>・ 5年：「ポインティング・ゲーム」など<br>6年：「ビンゴゲーム」など                              |
|                               | (2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。 | (2) ・ 単元末の「Story Time」では、その単元の既習事項に加え、発展的な単語や表現が紹介されており、次の学年や中学校での学習につながる語彙力や読解力を育成することができるよう工夫されている。  | (2)<br>・ 5年：<br>「Let' s find something new.」など<br>6年：「Hello, everyone.」など |
| 3<br>組織・<br>配列等<br>について       | (1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。     | (1) ・ 各単元が、語句や表現を確かめ伝え合う活動、単元のゴールの言語活動に向けてペアやグループで伝え合う活動、単元のゴールの活動で構成されており、段階的に学習を進めることができるよう配慮されている。<br><br>・ デジタル教科書には、音声読み上げ機能などが付いた学習者支援があり、単元の学習に沿って児童自身で学ぶことができるよう配慮されている。 | (1)<br>・ 5、6年：<br>「Follow Up」、「Let' s try」、「Activity」                     |
|                               | (2) 他教科等との関連について配慮されているか。      | (2) ・ 児童の日常生活や他教科等との関連を踏まえた地域教材が設定されており、児童の興味・関心を高め、話題を広げることができるよう工夫されている。   | (2) ・ 「Story Time」<br>5年：p.23 など<br>6年：p.23 など                            |

## 令和6年度使用小学校用教科用図書調査研究資料

| 教科用図書の記号・番号・名称        |  |  | 種 目   | 英 語                   |
|-----------------------|--|--|---|-----------------------|
| 5 年                   |  |  | 5・6年  | 6 年                   |
| 英 語 513<br>CROWN Jr.5 |  |  | 英 語 514<br>CROWN Jr. My Dictionary  | 英 語 613<br>CROWN Jr.6 |
| 発行 者 名                |  |  | 株式会社三省堂   |                       |
| 大 観 点                 | 小 観 点  |  | 調 査 の 結 果   |                       |
|                       |  |  | 小観点及び内容の全体的なもの  | 各学年の特記事項              |
| 1<br>内容について           | (1) 学習指導要領に示された目標・内容について配慮されているか。  | (1)  | (1)   | (1)                   |
|                       | <p>① 外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどを理解し、実際のコミュニケーションの中で活用できる基本的な技能を身に付けること</p> <p>② コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、表現し、伝え合う基礎的な力を養うこと</p> <p>③ 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養うこと</p> | <p>① 「Let's Talk」の後に、「Let's Read and Write」が設定され、聞いたり話したりした語彙を書くことにより、書く技能の習得がスムーズに行うことができるよう配慮されている。</p> <p>・ 単元末の「Step Up」で、音声で慣れ親しんだ文を読むなど、円滑に読む活動に移行することができるよう配慮されている。</p> <p>② 各 Lesson 導入時の「Panorama」の一場面が、単元を構成する各「Part」で取り上げられており、児童が単元のゴールを捉えたり、自分の考えや気持ちを伝えたりすることができるよう配慮されている。</p> <p>③ 日本や外国の文化に触れる「Hello World」や、世界の物語に親しめる「世界のお話」を通して、外国の文化を理解することができるよう工夫されている。</p> | <p>①</p> <p>・ 5年：「自己紹介カードを書いて、自己紹介をし合おう。」など<br/>6年：「自分たちの共通点を伝え合おう」など</p> <p>② 5、6年：自己紹介(pp.18-19)</p> <p>③ 5年：世界のスポーツ(p.30)<br/>日本、大発見(p.92)<br/>6年：世界のまつり(p.20)<br/>世界の小学校(p.62)<br/>世界のいろいろな仕事(p.92)</p> |                       |
|                       | (2) 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるよう配慮されているか。   | (2) 年に3回設定されている「JUMP」では、単元のゴールとなる言語活動が設定されており、各単元で身に付けた表現を活用することができるよう工夫されている。   | (2) 5年：「自己紹介をしよう。」など<br>6年：住んでいる地域紹介をしよう。」など  |                       |

| 大観点               | 小観点   | 調 査 の 結 果  |  |
|-------------------|---|--|--|
|                   |   | 小観点及び内容の全体的なもの   | 各学年の特記事項   |
| 2<br>程度・選択・取扱について | <p>(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。</p> <p>(2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。</p> | <p>(1) ・ ページ下部では、文字と音のつながり、単語、文の3通りでChant が用意されており、リズムに合わせて学習できるよう配慮されている。</p> <p>(2) ・ 点つなぎやイラストなど、スモールステップでアルファベットに触れる機会が設けられており、児童の学習状況に応じて活動をすることができるよう配慮されている。</p>  | <p>(1) ・ 5、6年：各 Lesson 始め</p> <p>(2) ・ 5、6年：「ABC FUN BOX」</p>  |
| 3<br>組織・配列等について   | <p>(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。</p> <p>(2) 他教科等との関連について配慮されているか。</p>        | <p>(1) ・ 6年の Unit 2 では、過去形の表現を用いた言語活動を行う単元が設定されており、既習内容の表現を繰り返し使うことができるよう工夫されている。</p> <p>・ デジタル教科書には、教科書の登場人物の会話を音声で聞くことができる機能があり、児童が繰り返し聞くことで、その内容を理解することができるよう配慮されている。</p> <p>(2) ・ 「Story Time」では、2学年を通して物語を読んだり聞いたりする活動が位置付けられており、知っている語句や絵から内容を推測する力を養うことができるよう工夫されている。</p> <p>・ プログラミングや世界の食べ物などの題材が扱われており、他教科等との関連を図ることができるよう配慮されている。</p> | <p>(1) ・ 6年 Lesson 3～5、JUMP 2</p> <p>(2) ・ 5年：ケンの冒険<br/>(p.78、p. 108)<br/>6年：ケンの冒険<br/>(p.38、p.78、p.106)</p> <p>・ プログラミング<br/>5年：自動運転車<br/>(pp.106-107)<br/>家庭科<br/>6年：世界の食べ物<br/>(pp.76-77)<br/>6年：世界の給食 (pp.62-63)</p> |

## 令和6年度使用小学校用教科用図書調査研究資料

|                                 |  | 種 目  | 英 語  |
|---------------------------------|--|--|--|
| 教科用図書の記号・番号・名称                  |  | 発 行 者 名  |  |
| 5 年                             |  | 6 年  |  |
| 英語515<br>ONE WORLD Smiles 5     |  | 英語615<br>ONE WORLD Smiles 6  |  |
|                                 |  | 教育出版株式会社   |  |
| 大<br>観<br>点                     | 小 観 点  | 調 査 の 結 果  |  |
|                                 |  | 小観点及び内容の全体的なもの   | 各学年の特記事項   |
| 1<br>内<br>容<br>に<br>つ<br>い<br>て | (1) 学習指導要領に示された目標・内容について配慮されているか。  | (1)  | (1)  |
|                                 | <p>① 外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどを理解し、実際のコミュニケーションの中で活用できる基本的な技能を身に付けること</p> <p>② コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、表現し、伝え合う基礎的な力を養うこと</p> <p>③ 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養うこと</p> | <p>①・各単元の最後に「Sounds and Letters」が設定されており、文字や音に慣れ親しむことができるよう工夫されている。</p> <p>②・「Activity」や「Final Activity」では、活動形態を変えることにより、伝え合う基礎的な力を養ったり、自分の考えを深めたりすることができるよう工夫されている。</p> <p>③・日本文化や異文化理解についての題材が取り上げられており、外国語を通して、自国や異文化への理解を深めることができるよう配慮されている。</p> | <p>②・「Final Activity」のテーマ<br/>5年：オリジナル・メニューを考えて、レストランのロールプレイをしようなど<br/>6年：クラスの「思い出のアルバム」を作ろうなど</p> <p>③・5年：世界の学校の様子、行きたい都道府県、アメリカの手話<br/>6年：日本のよさの紹介、外来語、夢の世界ツアー</p> |
|                                 | (2) 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるよう配慮されているか。   | (2)・「Final Activity」では、巻末ワークシートを活用することで、児童が学習した言語材料を活用し、主体的に学習に取り組み、これまでの学習内容を振り返ることができるよう工夫されている。   | (2)・5年：ワークシート①-④<br>6年：ワークシート①-⑨   |

| 大観点                       | 小観点                            | 調査の結果   |  |
|---------------------------|--------------------------------|---|--|
|                           |                                | 小観点及び内容の全体的なもの  | 各学年の特記事項   |
| 2<br>程度・選<br>択・取扱<br>について | (1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。   | (1) ・ 単元の導入では、主にイラストや写真教材のみ掲載されており、児童が音声に集中して学習できるよう工夫されている。<br><br>・ 「Final Activity」では、表現例が複数提示されており児童が自分の考えをもち、見通しをもって活動することができるよう配慮されている。                           | (1)<br><br>・ 5年：Lesson9 (p. 104)<br>6年：各Lesson   |
|                           | (2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。 | (2) ・ それぞれの活動で、意識するポイントや学習のヒントが表示されており、場面や目的を変えて学習に取り組むことができるよう工夫されている。<br><br>・ 和英辞典などを紹介した「知らない英語の言葉に出会ったら」や、既習事項以外の表現を使った「Let's Enjoy the Music」など、発展的な内容が取り上げられている。 | (2) ・ 5年：栄養バランス・地域の食べ物を使ったメニュー (pp. 82-83)<br>6年：クラスの思い出アルバム (pp. 74-75)   |
| 3<br>組織・配<br>列等につ<br>いて   | (1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。     | (1) ・ 各単元の構成は、「聞くこと」、「話すこと」の活動から「読むこと」、「書くこと」の活動へと段階的に移行することができるよう工夫されている。<br><br>・ デジタル教科書に取り上げられているほとんどの英単語の音声が開けるようになっており、児童が繰り返し音声を確認し、進んで学習することができるよう工夫されている。      | (1) ・ 「Let's Watch」、「Let's Listen」、「Activity」、「Sounds and Letters」の順に構成されている。  |
|                           | (2) 他教科等との関連について配慮されているか。      | (2) ・ 他教科等との関連を踏まえた教材が設定されており、教科等横断的な学習ができるよう配慮されている。   | (2) ・ 国語「The Letter お手紙」<br>6年：pp. 66-69<br>社会「名所・名物マップ」<br>5年：pp. 66-69<br>6年：pp. 56-59<br>道徳教材<br>5年：「A Good Idea! はしの上のおおかみ」<br>(p. 86)<br>6年：「A Good Idea! およげないりすさん」<br>(p. 40) |

## 令和6年度使用小学校用教科用図書調査研究資料

|                                 |  | 種 目   | 英 語   |
|---------------------------------|--|---|---|
| 教科用図書の記号・番号・名称                  |  | 発 行 者 名   |   |
| 5 年                             |  | 6 年   |   |
| 英語 516<br>Here We Go! 5         |  | 英語 616<br>Here We Go! 6<br>光村図書出版株式会社   |   |
| 大<br>観<br>点                     | 小<br>観<br>点  | 調 査 の 結 果   |   |
|                                 |  | 小観点及び内容の全体的なもの  | 各学年の特記事項  |
| 1<br>内<br>容<br>に<br>つ<br>い<br>て | (1) 学習指導要領に示された目標・内容について配慮されているか。<br><br>① 外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどを理解し、実際のコミュニケーションの中で活用できる基本的な技能を身に付けること<br><br>② コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、表現し、伝え合う基礎的な力を養うこと<br><br>③ 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養うこと | (1)<br><br>①・各 Unit の「Step」では、「Story」の一場面が使われており、児童が、「聞く」、「話す」、「読む・書く」のスマールステップを通して表現を習得し、活用することができるよう工夫されている。<br><br>・「言葉について考えよう」では、日本語と外国語の音声や文字、文構造の違いなどに気付き、理解することができるよう配慮されている。<br><br>②・「Picture Dictionary」では、既習語句にマークが付いており、児童が場面や状況に応じて自分の考えや気持ちを伝えることができるよう工夫されている。<br><br>③・話す活動では、相づちや Response の例が提示されており、児童が相手意識をもって対話することができるよう配慮されている。 | (1)<br><br>①<br><br>・5年：日本語と英語のちがいを、心をつなぐ言葉<br>6年：英語になった日本語、文の組み立て、相手の心に届くスピーチ<br><br>②・5、6年：それぞれのPicture dictionary<br><br>③・5年：「How about you?」など<br>6年：「One more hint, please」など |
|                                 | (2) 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるよう配慮されているか。   | (2)・「学年の目標」を設定し、五つの領域ごとにリスト化された到達目標や、自己評価できる欄が設けられており、到達目標の達成に向け見通しをもって学習ができるよう工夫されている。   | (2)・5年：5年生でできるようになること<br>6年：6年生でできるようになること  |

| 大観点               | 小観点   | 調 査 の 結 果  |  |
|-------------------|---|--|--|
|                   |   | 小観点及び内容の全体的なもの   | 各学年の特記事項   |
| 2<br>程度・選択・取扱について | <p>(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。</p> <p>(2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。</p> | <p>(1) ・ 音声とイラスト、文字を関連付けて理解することができるよう、イラストと文字が合わせて表記されており、文字への 興味・関心を高めることができるよう工夫されている。</p> <p>(2) ・ 「ICTを活用しよう」では、活動の目的に応じた ICT機器の活用についての例が挙げられており、授業で ICTを活用することができるよう配慮されている。</p>  | <p>(1) ・ 5、6年：Unit 2-8の導入のページ</p> <p>(2) ・ 5年：p. 49他<br/>6年：p21他</p>   |
| 3<br>組織・配列等について   | <p>(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。</p> <p>(2) 他教科等との関連について配慮されているか。</p>        | <p>(1) ・ 巻末に年間の学習の成果を一覧できる「All About Me」というワークシートが付属しており、各単元で児童自身が学習の成果を確認することができるよう工夫されている。</p> <p>・ デジタル教科書では、ハイライト表示、文字設定、ツールバーの位置などを自由に変更したり、読み上げ速度を13段階から選んだりすることができ、支援が必要な児童や左利きの児童にも配慮されている。</p> <p>(2) ・ 国語や社会、理科等の他教科やキャリア教育、SDGsと関連する箇所にマークが付いており、教科等横断的な学習ができるよう配慮されている。</p> <p>・ 各学年に「災害と英語」を設け、聞く活動を通して防災への意識を高めることができるよう工夫されている。</p> | <p>(1) ・ 5、6年：「All About Me」の使い方</p> <p>(2) ・ 国語 5年：p. 78<br/>社会 6年：pp. 42-43<br/>理科 6年：pp. 54-55<br/>キャリア教育<br/>5年：Unit 5<br/>6年：Unit 7<br/>SDGs<br/>5年：p. 42、p74、pp. 102-103<br/>6年：p. 58、pp. 96-97</p> <p>・ 5年：pp. 67<br/>6年：pp. 31</p> |

## 令和6年度使用小学校用教科用図書調査研究資料

|                                 |  | 種 目  | 英 語  |
|---------------------------------|--|--|--|
| 教科用図書の記号・番号・名称                  |  | 発 行 者 名  |  |
| 5 年                             |  | 6 年  |  |
| 英語 517<br>Blue Sky elementary 5 |  | 英語 617<br>Blue Sky elementary 6  |  |
|                                 |  | 株式会社新興出版社啓林館   |  |
| 大<br>観<br>点                     | 小<br>観<br>点  | 調 査 の 結 果  |  |
|                                 |  | 小観点及び内容の全体的なもの   | 各学年の特記事項   |
| 1<br>内<br>容<br>に<br>つ<br>い<br>て | <p>(1) 学習指導要領に示された目標<br/>・内容について配慮されているか。</p> <p>① 外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどを理解し、実際のコミュニケーションの中で活用できる基本的な技能を身に付けること</p> <p>② コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、表現し、伝え合う基礎的な力を養うこと</p> <p>③ 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養うこと</p> <p>(2) 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるよう配慮されているか。</p> | <p>(1)</p> <p>① ・ 5年のアルファベットの導入では、小文字を形ごとに分類することで、段階的に基礎的な知識を習得することができるよう工夫されている。</p> <p>・ 各単元の「Chant」には、外国語の抑揚を意識したり、自分の言葉に置き換えたりする表記が示されており、実際のコミュニケーションにおいて活用することができるよう工夫されている。</p> <p>② ・ 3回設定されている「Review」では、既習事項を活用する場面が設定され、「コミュニケーションのポイント」では、相手意識をもって話すことができる項目が取り上げられている。</p> <p>③ ・ 単元の導入にある「Introduction」や「Watch the Scene」では、児童に身近で興味をひくような絵や写真が掲載されており、自由な発想で主体的に学ぶことができるよう工夫されている。</p> <p>・ 「Did you know?」や「Friends around the World」では、外国語や外国人、他国の文化などが取り上げられている。</p> <p>(2) ・ 各 Unit 初めの「Goal」での段階的な目標設定や、単元末の活動場面「Activity」が写真で示されており、児童が具体的な単元のゴールを見据えて学習できるよう配慮されている。</p> <p>・ 「Activity」では、自分の考えをメモすることができる欄が設けられており、児童自身の本当の考えや気持ちを伝え合うことができるよう工夫されている。</p> | <p>(1)</p> <p>・ 5年：Let's Read and Write 1 (p. 55)</p> <p>② ・ 5年：自分の学校生活紹介、オリジナルロボット、町案内など<br/>6年：自己紹介、自分の国アピール、先週末にしたことなど</p> <p>③ ・ 5年：「世界の学校ではどんなことを学ぶのかな？」など<br/>6年：「日本語を見つけよう」など</p> <p>(2) ・ 5年：「自分の夢の時間割」など<br/>6年：「日本のみりよく紹介」など</p> |

| 大観<br>点   | 小<br>観<br>点                    | 調<br>査<br>の<br>結<br>果  |   |
|---|--------------------------------|--|---|
|   |                                | 小観点及び内容の全体的なもの   | 各学年の特記事項  |
| 2<br>程<br>度<br>・<br>選<br>択<br>・<br>取<br>扱<br>に<br>つ<br>い<br>て | (1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。   | (1) ・ 単元の導入では、イラストから人物などを探す質問が示されており、児童の学習意欲を高めることができるよう配慮されている。<br>・ 吹き出しのセリフやワードリストの英語は、4線ではなく、1線となっており、児童が正しく理解するために文字が線にかからないよう配慮されている。  | (1) ・ 6年：スポーツ選手、芸能人、声優、映画監督、作者、偉人など   |
|   | (2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。 | (2) ・ 年に3回設定されている「Review」の「Challenge」では、音声を聞いて、掲示物、広告、グラフなどから必要な情報を読み取る活動が設けられており、単元の内容を発展的に学習することができるよう工夫されている<br>・ 「Pre Unit」では、聞く・話す・書く活動を通して、既習事項を補充的に学習する機会が取り上げられている。  | (2) ・ 5年：動物園の掲示板、ハンバーガーショップの広告、ハワイの観光パンフレットなど<br>6年：デパートのフロア図、好きな本の投票、観戦したいスポーツアंकートなど<br><br>・ 5年：pp. 8-11<br>・ 6年：pp. 10-13 |
| 3<br>組<br>織<br>・<br>配<br>列<br>等<br>に<br>つ<br>い<br>て           | (1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。     | (1) ・ 各単元は、言葉を使う場面に出会う「Introduction」と「Scene」、使いながら言葉に慣れる「Step 1、2」と、コミュニケーションを楽しむ「Step 3」、読む・書く活動に挑戦する「Let's Read and Write」で構成されており、段階的に学習を進めることができるよう配慮されている。<br><br>・ デジタル教科書には、「暗記ペン」や「超しおり」などの機能が付いており、児童自身で学習内容の定着を図ったり、児童同士で簡単なメモを交換したりすることができるよう配慮されている。 | (1) ・ 5、6年：各単元  |
|   | (2) 他教科等との関連について配慮されているか。      | (2) ・ 各単元の「Did you know?」と「Did you know plus?」や巻末の「Story」では、外国の文化やSDGsに関連する取組など幅広い題材が扱われており、他教科や他領域の学習との関連が図れるよう配慮されている。   | (2) ・ 5年：世界の学校、誕生日、朝ごはん、アクセント、海外で人気のアニメ、和製英語など<br>6年：ジェスチャー、日本語、ユニバーサルデザイン、世界で活躍する日本人など<br>5年：「Story」の「Look at the Sky」       |

令和6年度使用

小学校・義務教育学校前期課程用  
教科用図書調査研究資料

特別の教科 道徳

那須塩原市・那須町採択地区協議会

令和6年度使用小学校用教科用図書調査研究資料

| 種 目  |  |  |  |  |                         | 道 徳      |
|--|--|--|--|--|-------------------------|----------|
| 教科用図書の記号・番号・名称                               |  |  |  |  |                         | 発 行 者 名  |
| 1 年  | 2 年  | 3 年  | 4 年  | 5 年  | 6 年                     | 東京書籍株式会社 |
| 道徳 112<br>新編<br>あたらしいどうとく 1                  | 道徳 212<br>新編<br>新しいどうとく 2  | 道徳 312<br>新編<br>新しいどうとく 3  | 道徳 412<br>新編<br>新しいどうとく 4  | 道徳 512<br>新編<br>新しい道徳 5  | 道徳 612<br>新編<br>新しい道徳 6 |          |
| 大 観 点  |  |  |  |  |                         |          |
| 小 観 点  |  | 調 査 の 結 果  |  |  |                         |          |
|  |  | 小 観 点 及 び 内 容 の 全 体 的 な も の  |  | 各 学 年 の 特 記 事 項  |                         |          |
| 1<br>内<br>容<br>に<br>つ<br>い<br>て              | (1) 学習指導要領に示された目標・内容について配慮されているか。  | (1) 小学校学習指導要領の趣旨に即して、内容項目の四つの視点が適切に取り上げられている。                                  |  | (1) 各学年における視点別教材数<br>1年(34) A 10 B 9 C 9 D 6<br>2年(35) A 11 B 8 C 10 D 6<br>3年(35) A 8 B 9 C 11 D 7<br>4年(35) A 9 B 8 C 11 D 7<br>5年(35) A 9 B 7 C 12 D 7<br>6年(35) A 8 B 7 C 12 D 8<br>合計 A 55 B 48 C 65 D 41 |                         |          |
|  | A 主として自分自身に関すること   | A [善悪の判断、自律、自由と責任]において、児童の学校の生活など身近な題材を取り上げることで、児童が自分との関わりで考えることができるよう配慮されている。 |  | A 2年「おれたものさし」では実生活のできごとが取り上げられている。   |                         |          |
|  | B 主として人との関わりに関すること   | B 「親切、思いやり」「友情、信頼」について、複数教材取り上げ、思いやりをもつことや相手の立場に立つことなどについて考えられるよう工夫されている。      |  | B 1年「はしのうえのおおかみ」、「はなばあちゃんかわらった」、「ぼくのはなさいたけど」で繰り返し親切にすることについて取り上げられている。   |                         |          |
| C 主として集団や社会との関わりに関すること                       | C [規則の尊重]について1年は三つの教材で、2年からは二つの教材で取り上げられている。また、3～6年では、[伝統文化の尊重、国や郷土を愛する態度]と[国際理解、国際親善]において二つの教材を取り上げるなど、発達の段階に応じて課題となる内容を、重点として考えることができるよう配慮されている。 |  | C 6年「ともにくらすわたしたち」、「エンザロ村のかまど」が、[国際理解、国際親善]について目を向けることができるよう工夫されている。  |  |                         |          |
| D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること                 | D 全学年において[生命の尊さ]で三つずつの教材が設定されており、教材とコラムを組み合わせることで、自ら命を絶つ件数が増える傾向にある時期に合わせて、生命の尊厳について考えることができるよう工夫されている。  |  | D 1年「どきどきどっきんぐ」、コラム「ぼくらはみんないきている」を組み合わせ、生命の尊さについて考えを深めることができるよう工夫されている。  |  |                         |          |
| (2) 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるよう配慮されているか。 | (2) 児童が自分自身の心と向き合ったり、友達の考えと比べたりするときに、巻末にある心情円などの思考ツールを使用し、視覚的に捉えられるようすることで、考えたり議論したりすることができるよう配慮されている。   |  | (2) 登場人物の心の葛藤について考える際に、心情円を活用することで、児童が視覚的に心の動きを捉えることができるよう工夫されている。   |  |                         |          |
| (3) 多様な題材を教材とすることについて配慮されているか。               | (3) 「いじめについて」は、二つの教材とコラム「つながる・広がる」を組み合わせ、様々な視点からいじめについて考えることができるよう工夫されている。   |  | (3) 4年「いじめ」については、扉のページに続いて、直接的な指導教材である「いっしょになって、わらっちゃだめだ」、コラムの「いじめに『NO』の空気をつくる」と、間接的な指導教材である「となりのせき」でユニットを組むなど、多様な見方や考え方ができるよう工夫されている。 |  |                         |          |

| 大観点               | 小観点   | 調査の結果  |   |
|-------------------|---|--|---|
|                   |   | 小観点及び内容の全体的なもの   | 各学年の特記事項  |
| 2<br>程度・選択・取扱について | (1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。                  | (1) 印象深い挿絵や写真を用いることで、児童が共感する気持ちを高めたり、様々な考えをもったりすることができるよう工夫されている。                        | (1) 1年「はしのうえのおおかみ」では、印象深い挿絵から登場人物の気持ちを豊かに想像できるよう工夫されている。                        |
|                   | (2) 問題解決的な学習や道徳的行動に関する体験的な学習の取扱いについて配慮されているか。 | (2) 「問題を見つけて考えよう」では、考える視点や他者の考えと比べ自分の考えを深める展開の工夫が示されており、児童が主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。   | (2) 3年「SL公園で」では、主題を自分との関わりで捉え、自己を見つめ直すことができるよう工夫されている。                          |
| 3<br>組織・配列等について   | (1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。                    | (1) よりよい生き方について考えを深められるように、各学年で、「安心・安全」、「いじめ」、「いのち」、「情報モラル」、「じぶん」の5つのユニットが系統的に取り上げられている。 | (1) 「情報モラル」については、発達段階に合わせ、身近な生活からより広い社会でのモラルについて考えられるよう題材が工夫されている。              |
|                   | (2) 他教科等との関連について配慮されているか。                     | (2) 巻末の教材一覧表には、主題名と他教科、特別活動、外国語活動、総合的な学習の時間等との関連が示されており、内容や実施時期を考慮して教材の配列ができるよう工夫されている。  | (2) 3年「ホタルの引っ越し」では、学習内容に関連した「つながる・広がる」コラムで、SDGsの他、理科や環境教育等につなげることができるよう配慮されている。 |

## 令和6年度使用小学校用教科用図書調査研究資料

| 教科用図書の記号・番号・名称                               |                                   |  |  |                              |   | 種 目   | 道 徳 |
|--|-----------------------------------|--|--|------------------------------|---|---|-----|
| 1 年  | 2 年                               | 3 年  | 4 年  | 5 年                          | 6 年   | 発 行 者 名   |     |
| 道徳 113<br>しょうがどうとく1<br>はばたこうあすへ              | 道徳 213<br>小学どうとく2<br>はばたこう明日へ     | 道徳 313<br>小学どうとく3<br>はばたこう明日へ  | 道徳 413<br>小学道徳 4<br>はばたこう明日へ   | 道徳 513<br>小学道徳 5<br>はばたこう明日へ | 道徳 613<br>小学道徳 6<br>はばたこう明日へ  | 教育出版株式会社  |     |
| 大<br>観<br>点                                  | 小 観 点                             |  | 調 査 の 結 果  |                              |   |   |     |
|  |                                   |  | 小観点及び内容の全体的なもの   |                              |   |   |     |
| 1<br>内<br>容<br>に<br>つ<br>い<br>て              | (1) 学習指導要領に示された目標・内容について配慮されているか。 |  | (1) 小学校学習指導要領の趣旨に即して、内容項目の四つの視点が適切に取り上げられている。                                    |                              |   | (1) 各学年における視点別教材数<br>1年(34) A 10 B 8 C 12 D 4<br>2年(35) A 11 B 8 C 12 D 4<br>3年(35) A 9 B 9 C 12 D 5<br>4年(35) A 9 B 10 C 10 D 6<br>5年(35) A 10 B 6 C 13 D 6<br>6年(35) A 8 B 8 C 12 D 7<br>合計 A 57 B 49 C 71 D 32 |     |
|  | A 主として自分自身に関すること                  |  | A [正直、誠実]、[善悪の判断、自律、自由と責任]では、登場人物の悩みや葛藤、心の揺れなどを見つめ、児童の多様な意見を引き出すことができるよう工夫されている。 |                              |   | A 5年「参考にするだけなら」では、正直に言うことができない主人公の姿に着目し、資料活用を通して、人間に対する理解ができるよう工夫されている。   |     |
|  | B 主として人との関わりに関すること                |  | B [感謝]では、1年、3年、4年で実態に応じて補充教材を使用できるよう設定され、感謝の気持ちについて考えを広げたり、深めたりできるよう工夫されている。     |                              |   | B 1年「『ありがとう』のくすり」、3年「心のこもった給食」、4年「いつも心に『ファイト!』」が補充教材として掲載され、感謝について指導の充実を図ることができるよう工夫されている。  |     |
| C 主として集団や社会との関わりに関すること                       |                                   | C [家族愛、家庭生活の充実]が全学年で重点的に取り上げられており、家族や家庭を中心とした道徳性を育むことができるよう工夫されている。                                    |  |                              | C 4年「ブラッドレーのせいきゅう書」では、教材の最後に「問題を解決しよう」を設け、「問題を見つける」、「解決方法を考える」、「考えたことを生かす」の流れを示すことで、より自分との関わりとして捉えることができるよう配慮されている。                         |   |     |
| D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること                 |                                   | D 低学年では[生命]を、高学年では[環境]を学年の重点的な主題として取り上げ、内容項目の異なる二つの教材とコラムを組み合わせることで、主題について児童が多様な考えに触れることができるよう工夫されている。 |  |                              | D 6年[勤労、公共の精神]の「青い海を取りもどせ」、[自然愛護]の「『ちよつと』の可能性」、コラム「ごみ問題の解決に向けて」を組み合わせることで、価値の理解を深めることができるよう工夫されている。   |   |     |
| (2) 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるよう配慮されているか。 |                                   | (2)・ 児童の多様な意見を引き出し、議論が深まりやすくするために、資料が、登場人物の悩みや葛藤等の心の揺れがあるような終わり方になるように配慮されている。                         |  |                              | (2) 5年「参考にするだけなら」では、どうするべきか悩んでいる姿での終わり方が、児童の想像力を生み、活発な話合いにつながるよう工夫されている。<br>1年「いっしょにあそぼう」では、身近な場面で起こりうるささいな出来事がいじめにつながるないように、話し合える内容になっている。 |   |     |
| (3) 多様な題材を教材とすることについて配慮されているか。               |                                   | (3)・ 文化、芸術、歴史、人物、自然、地域、など題材の幅が広く、各教科等で学習した既存知を生かしながら、道徳的価値について考えられるよう配慮されている。                          |  |                              | (3) 6年「北海道の名づけ親」では、社会科で学習してきたことを生かしながら、人権や伝統・文化の大切さを理解できるよう工夫されている。   |   |     |

| 大観点               | 小観点   | 調査の結果   |   |
|-------------------|---|---|---|
|                   |   | 小観点及び内容の全体的なもの  | 各学年の特記事項  |
| 2<br>程度・選択・取扱について | (1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。                  | (1) ・ 演じて考える体験的な教材や内容を理解しやすいマンガ形式の教材を配置することで、児童の興味関心が高まるように考慮されている。<br><br>・ 児童の発達の段階に即した現代的な課題や時事問題を意図的に教材として取り入れる工夫がなされている。 | (1) 4年「見方を変えて前向きに」では、マンガ形式で登場人物の感情などを視覚的に分かりやすく捉えられるようにすることで、児童の興味・関心が高まるような工夫をしている。<br>6年「『ちょっと』の可能性」では、自然環境を守るために、環境と自分の生活を関連させて考えることができるよう工夫されている。                         |
|                   | (2) 問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習の取扱いについて配慮されているか。 | (2) ・ 「やってみよう」「つなげよう」「もんだいを解決しよう」など、教材文の最後に問題解決的な視点がある。それにより、児童が考え議論し、問いを自分事として捉えられるように配慮している。                                | (2) 3年「なんと言ったえらる？」では、役割演技を取り入れて、実感をもって問題解決に向かうことができるように工夫されている。   |
| 3<br>組織・配列等について   | (1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。                    | (1) ・ 5つの補充教材については、地域教材や自作教材を用いることで学校や児童の実態に合わせた指導ができるよう配慮されている。<br><br>・ 児童の発達の段階に即した内容と文章量の教材が配列されている。                      | (1) 3年「お祭りにこめられている思い」では、地域の伝統文化が取り上げられている。それをきっかけに、自分の地域にはどのような伝統や文化があるのか関心をもてるよう教材設定の工夫がされている。<br><br>2年「くらべてみよう日本とせかい」では、日本と世界の文化の違いについて、写真やイラストなど低学年にも理解しやすい資料提示の工夫がされている。 |
|                   | (2) 他教科等との関連について配慮されているか。                     | (2) 巻末の学習内容一覧に教科、特別活動、総合的な学習の時間との関連が示されており、実体験を想起させ、自分との関わりとして、実感をもって考え方を深められるように配慮されている。                                     | (2) 3年「新関係」では、特別活動の係活動と関連させた内容を取り扱うことで、実感を伴って考えを深められるよう配慮されている。   |

令和6年度使用小学校用教科用図書調査研究資料

| 教科用図書の記号・番号・名称                               |                                   |  |  |                                 |   | 種 目   | 道 徳 |
|--|-----------------------------------|--|--|---------------------------------|---|---|-----|
| 1 年  | 2 年                               | 3 年  | 4 年  | 5 年                             | 6 年   | 発 行 者 名   |     |
| 道徳 114<br>どうとく 1<br>きみがいちばん ひかるとき            | 道徳 214<br>どうとく 2<br>きみがいちばん ひかるとき | 道徳 314<br>どうとく 3<br>きみがいちばん ひかるとき  | 道徳 414<br>道徳 4<br>きみがいちばん ひかるとき  | 道徳 514<br>道徳 5<br>きみがいちばん ひかるとき | 道徳 614<br>道徳 6<br>きみがいちばん ひかるとき   | 光村図書出版株式会社  |     |
| 大<br>観<br>点                                  | 小 観 点                             |  | 調 査 の 結 果  |                                 |   | 各 学 年 の 特 記 事 項   |     |
|  |                                   |  | 小 観 点 及 び 内 容 の 全 体 的 な も の  |                                 |   |   |     |
| 1<br>内<br>容<br>に<br>つ<br>い<br>て              | (1) 学習指導要領に示された目標・内容について配慮されているか。 |  | (1) 小学校学習指導要領の趣旨に即して、内容項目の四つの視点が適切に取り上げられている。  |                                 |   | (1) 各学年における視点別教材数<br>1年(34) A10 B8 C11 D5<br>2年(34) A10 B8 C11 D5<br>3年(34) A9 B9 C11 D5<br>4年(34) A9 B9 C11 D5<br>5年(34) A10 B9 C9 D6<br>6年(34) A8 B9 C10 D7<br>合計 A56 B52 C63 D33 |     |
|  | A 主として自分自身に関すること                  |  | A [希望と勇気、努力と強い意志]、[善悪の判断、自律、自由と責任]において、漫画形式の教材や、一枚の絵や写真からなる教材などを設定することで、児童が興味・関心を高め、自ら考えることができるよう工夫されている。                      |                                 |   | A 6年「気に入らなかった写真」、4年「まあ、いいか。」では、日常の一場面を漫画で表現し、児童が自分との関わりとして考え、進んで話し合うことができるよう工夫されている。  |     |
|  | B 主として人との関わりに関すること                |  | B 「いじめ問題」について、児童の発達の段階を考慮した[友情、信頼]、[相互理解、寛容]の教材が取り上げられており、全学年で「心を通わそう」というコラムを設けるなど、他者との関わりや友達との関係づくりについて考えを深めることができるよう配慮されている。 |                                 |   | B 5年[相互理解、寛容]の「みんな、おかしいよ!」と[友情、信頼]の「ドッジボール対決」をつなぐことで、「いじめ問題」に向き合うことができるよう配慮されている。   |     |
| C 主として集団や社会との関わりに関すること                       |                                   | C 全学年において[よりよい学校生活、集団生活の充実]で教材が二つずつ取り上げられ、学校生活との関わりを、より深く学習できるよう配慮されている。   |  |                                 | C 4年「みんな、待っているよ」、「わたしたちの校歌」では、学級や学校を、自分との関わりとして考えることができるよう配慮されている。                    |   |     |
| D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること                 |                                   | D 全学年において[生命の尊さ]の教材が三つずつ取り上げられており、生命の尊厳について重点を置いて考えられるよう配慮されている。また、環境問題をテーマに、教材とコラムを組み合わせ、現代的な課題に向かい合うことができるよう配慮されている。 |  |                                 | D 6年「クジラとプラスチック」、「命の旅」、コラム「よりよい世界をみざして」の教材を組み合わせ、環境問題について深く考えることができるよう工夫されている。        |   |     |
| (2) 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるよう配慮されているか。 |                                   | (2) 資料を複数提示することで、児童が進んで話し合えるように工夫されている。  |  |                                 | (2) 5年「付録 日本各地で取り組む『防災活動』」では、災害や防災の話題を多面的・多角的に取り上げられ活発に話し合いがなされるよう工夫されている。            |   |     |
| (3) 多様な題材を教材とすることについて配慮されているか。               |                                   | (3) 教材とコラムを組み合わせ、現代的な課題と向き合うことができるよう配慮されている。   |  |                                 | (3) 全学年で、「いじめ問題」、「情報モラル」、「環境」、「共生」4つのテーマについて、教材にコラムを組み合わせ、現代的な課題と向き合うことができるよう工夫されている。 |   |     |

| 大観点               | 小 観 点   | 調 査 の 結 果  |   |
|-------------------|---|--|---|
|                   |   | 小観点及び内容の全体的なもの   | 各学年の特記事項  |
| 2<br>程度・選択・取扱について | (1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。                  | (1) 自分との関わりとして捉えやすい教材が取り上げられており、児童の興味・関心を高める工夫がされている。  | (1) 2年「黒ぼんがにっこりするかな」では、当番活動の役割にふれ、責任感と達成感に共感して考えられるよう工夫がされている。  |
|                   | (2) 問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習の取扱いについて配慮されているか。 | (2) 課題を見つけ、整理し解決していくまでの思考の過程を、系統立てて示している。  | (2) 5・6年生の教材には「問題解決的な話し合い」を手引きに組み込む配慮がなされている。   |
| 3<br>組織・配列等について   | (1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。                    | (1) ・ 学級づくりや学校生活、集団生活が充実できるよう構成を工夫し、学習のふり返りを通して自己の生き方に結び付けて考えられるように配慮されている。<br><br>・ 「なんだろうなんだろう」のコーナーが全学年に掲載されており、哲学的な問いについて楽しみながら考えることができるよう工夫されている。 | (1) 1年「巻末 まなびのきろく」では、学習したことやできたことを記録し、シールを用いて自己評価できるよう配慮されている。<br><br>1年「がっこうってなんだろう」、2年「たのしいってなんだろう」、3年「うそってなんだろう」、4年「ともだちってなんだろう」、5年「しあわせってなんだろう」、6年「じぶんってなんだろう」のように、自分事として考えられる問いが、発達の段階に応じて設定されている。 |
|                   | (2) 他教科等との関連について配慮されているか。                     | (2) 巻末の内容項目別教材一覧には、他教科、特別活動、総合的な学習の時間、図書館活用等との関連が示されており、内容や実施時期を考慮して教材が配列できるよう工夫されている。   | (2) 2年「おせちのひみつ」、3年「すてきなえがお」では、学習の手引きに「つなげよう」を設け、自分との関わりの中を考えさせる問かけが示されている。関連する書籍を紹介するなど、日常生活とつなげることができるよう配慮されている。   |

## 令和6年度使用小学校用教科用図書調査研究資料

| 教科用図書の記号・番号・名称                                  |   |  |   |                                       |   | 種 目  | 道 徳 |
|---|---|--|---|---------------------------------------|---|--|-----|
| 1 年   | 2 年                                       | 3 年  | 4 年   | 5 年                                   | 6 年   | 発 行 者 名  |     |
| 道徳 115 116<br>しょうがくどうとく<br>いきる ちから 1<br>どうとくノート | 道徳 215 216<br>小学どうとく<br>生きる力 2<br>どうとくノート | 道徳 315 316<br>小学どうとく<br>生きる力 3<br>どうとくノート  | 道徳 415 416<br>小学道徳<br>生きる力 4<br>道徳ノート   | 道徳 515 516<br>小学道徳<br>生きる力 5<br>道徳ノート | 道徳 615 616<br>小学道徳<br>生きる力 6<br>道徳ノート   | 日本文教出版株式会社   |     |
| 大<br>観<br>点                                     | 小 観 点                                     |  | 調 査 の 結 果   |                                       |   |  |     |
|   |   |  | 小観点及び内容の全体的なもの  |                                       |   | 各学年の特記事項   |     |
| 1<br>内<br>容<br>に<br>つ<br>い<br>て                 | (1) 学習指導要領に示された目標・内容について配慮されているか。         |  | (1) 小学校学習指導要領の趣旨に即して、内容項目の四つの視点が適切に取り上げられている。   |                                       |   | (1) 各学年における視点別教材数<br>1年(37) A 11 B 8 C 13 D 5<br>2年(38) A 11 B 9 C 12 D 6<br>3年(38) A 11 B 10 C 12 D 5<br>4年(38) A 9 B 10 C 13 D 6<br>5年(38) A 9 B 10 C 13 D 6<br>6年(38) A 10 B 9 C 13 D 6<br>合計 A 61 B 56 C 76 D 34 |     |
|   | A 主として自分自身に関すること                          |  | A [善悪の判断、自律、自由と責任]において、1年から4年まで三つの教材が設定されており、問題をつかむ活動や考える活動を促す発問などが示されている。                          |                                       |   | A 1年「やめろよ」では、みんなで話し合うことで、登場人物の気持ちや考えを深く考えられるよう工夫されている。   |     |
|   | B 主として人との関わりに関すること                        |  | B 全学年[親切、思いやり]が、二つ以上の教材が取り上げられており、各学年で「人との関わり」についてのユニットが位置付けられることで、いじめ問題について多面的に考えることができるよう工夫されている。 |                                       |   | B 2年[親切、思いやり]の「ぐみの木と小鳥」と、[善悪の判断、自律、自由と責任]の「ある日のくつばこで」、心のベンチでのユニットが組み立てられ、考えを深めることができるよう工夫されている。  |     |
| C 主として集団や社会との関わりに関すること                          |   | C 低・中学年では、[規則の尊重]で三つの教材を取り上げるなど重点化されており、発達の段階に応じて、集団や社会との関わりについて深く考えることができるよう配慮されている。                  |   |                                       | C 3年「みんなのわき水」、「ジュースの空きかん」の二つの教材が公共の場所の場面を扱っており、児童が自分との関わりとして考えることができるよう工夫されている。 |  |     |
| D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること                    |   | D 高学年では「よりよく生きる喜び」を二つずつ教材を取り上げ、重点的に学習できるように配慮されている。また、次学年、中学校につながるような教材が配置されるよう工夫されている。                |   |                                       | D 6年「ゴゴ 九十四歳の小学生」を最後に配置し、6年間の学びの総まとめとなるよう工夫されている。                               |  |     |
| (2) 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるよう配慮されているか。    |   | (2) ・ 別冊「道徳ノート」には、自分自身の考えや友達の考えを記録できるようになっている。<br>・ 「ぐっとふかめる」では、友達と話し合ったり役を演じたりすることで深い学びになるように工夫されている。 |   |                                       | (2) 2年「およげないりすさん」では、役割演技をすることを通して、深い学びになるよう、配慮されている。                            |  |     |
| (3) 多様な題材を教材とすることについて配慮されているか。                  |   | (3) コラム「心のベンチ」では、教材に関わる情報を掲載したり、考えを書き込むことができる欄を設けたりすることで、考えを広げることができるよう工夫されている。                        |   |                                       | (3) 5年の「心のベンチ」の「見方を変えると」では、新しい自分に気付くよう配慮されている。                                  |  |     |

| 大観点               | 小観点   | 調査の結果   |  |
|-------------------|---|---|--|
|                   |   | 小観点及び内容の全体的なもの  | 各学年の特記事項   |
| 2<br>程度・選択・取扱について | (1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。                  | (1) 児童の心を捉える漫画や写真など取り入れることで、児童の興味・関心を高めることができるよう工夫されている。                                | (1) 2年「花火にこめられたねがい」で花火の写真を取り上げ、興味をもたせている。  |
|                   | (2) 問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習の取扱いについて配慮されているか。 | (2) 問題解決的な学習や体験的な学習のあとに「ぐっと深める」を示し、自分自身と向き合えるような発問や役割演技などにより、児童が活動するときの参考になるよう工夫されている。  | (2) 3年「気づいていなかったこと」では、実際に役割演技する場面や話し合う様子を写真で示すことで、様々な考えをもつた友達と交流ができるよう工夫されている。                     |
| 3<br>組織・配列等について   | (1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。                    | (1) 各学年で「人との関わり」についてのユニットが位置付けられることで、いじめや人との関わり方について多面的に考えることができるよう工夫されている。             | (1) 6年「二十五人をつないだ金メダル」、「ブランコ乗りとピエロ」、「わたしのせいじゃない」と「心のベンチ」をユニットで学習することなどで、多面的・多角的に考えを深めていけるよう工夫されている。 |
|                   | (2) 他教科等との関連について配慮されているか。                     | (2) 巻末の学習内容一覧には、主題名と他教科、特別活動、外国語活動、総合的な学習の時間等との関連が示されており、内容や実施時期を考慮して教材を配列できるよう工夫されている。 | (2) 3年「きまりはだれのため？」では、情報モラルや体育科、総合的な学習の時間等へ学習を広げることができるよう配慮されている。                                   |

## 令和6年度使用小学校用教科用図書調査研究資料

| 教科用図書の記号・番号・名称                               |                                   |   |  |                            |  | 種 目   | 道 徳 |
|--|-----------------------------------|---|--|----------------------------|--|---|-----|
| 1 年  | 2 年                               | 3 年   | 4 年  | 5 年                        | 6 年  | 発 行 者 名   |     |
| 道徳 117<br>しょうがくどうとく<br>ゆたかなこころ1ねん            | 道徳 217<br>小学 どうとく<br>ゆたかなこころ2年    | 道徳 317<br>小学どうとく<br>ゆたかな心 3年  | 道徳 417<br>小学道徳<br>ゆたかな心 4年   | 道徳 517<br>小学道徳<br>ゆたかな心 5年 | 道徳 617<br>小学道徳<br>ゆたかな心 6年   | 株式会社光文書院  |     |
| 大<br>観<br>点                                  | 小 観 点                             |   | 調 査 の 結 果  |                            |  | 各 学 年 の 特 記 事 項   |     |
|  |                                   |   | 小観点及び内容の全体的なもの   |                            |  |   |     |
| 1<br>内<br>容<br>に<br>つ<br>い<br>て              | (1) 学習指導要領に示された目標・内容について配慮されているか。 |   | (1) 小学校学習指導要領の趣旨に即して、内容項目の四つの視点が適切に取り上げられている。  |                            |  | (1) 各学年における視点別教材数<br>1年(40) A 11 B 9 C 13 D 7<br>2年(40) A 10 B 10 C 13 D 7<br>3年(40) A 10 B 11 C 12 D 7<br>4年(40) A 8 B 11 C 14 D 7<br>5年(40) A 9 B 8 C 14 D 9<br>6年(40) A 9 B 8 C 15 D 8<br>合計 A 57 B 57 C 81 D 45 |     |
|  | A 主として自分自身に関すること                  |   | A [希望と勇気、努力と強い意志]、[個性の伸長]において、教材に続けてコラム「へこんでも立ち直る」が取り上げられ、児童が発達段階に合わせて自分のよさや可能性を認識し、自己肯定感を高めることができるよう工夫されている。      |                            |  | A 2年「なかよしでいたい」のコラムでは、へこんでも立ちなおる心の力を取り上げ、自分の心の状態を見つめることができるよう配慮されている。  |     |
|  | B 主として人との関わりに関すること                |   | B 「いじめを生まない心」が全学年で重点的なテーマとして取り上げられている。また、中学年では「みんなで力を合わせて」という主題を設定しており、[友情、信頼]や[相互理解、寛容]について考えを深めることができるよう工夫されている。 |                            |  | B 中学年では、「ことばのキャッチボール」というコラムが設定されており、友達とよりよい関係を築くことができるよう配慮されている。  |     |
| C 主として集団や社会との関わりに関すること                       |                                   | C [国際理解、国際親善]については、特に高学年で、発達の段階に合わせて集団や社会との関わりや人との共生について深く考えることができるよう配慮されている。               |  |                            | C 6年「ハスの花のよるに」では、世界の人々と共に生きていくときに大切なのはどんなことか考えることができるよう工夫がされている。                               |   |     |
| D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること                 |                                   | D 全学年で[生命の尊さ]を重点的なテーマとして取り上げており、二つの教材を続けて扱うことで、生命について考えを深めることができるよう工夫されている。                 |  |                            | D 5年「命をかがやかせる」のページに続いて、「命をかけて命を守る」と、「命と向き合う人生」を続けて扱い、生命の尊さについて深く考えることができるよう工夫されている。            |   |     |
| (2) 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるよう配慮されているか。 |                                   | (2) 「いろいろなやり方で考えてみよう」のページには発達の段階に応じた思考ツールや対話ツールが掲載されており、児童自身の考えを視覚化したり、まとめることができるよう配慮されている。 |  |                            | (2) 1年いろいろなやりかたでかんがえてみようでは、「ぶうたのやくめ」には心状円・スケールが紹介されている。  |   |     |
| (3) 多様な題材を教材とすることについて配慮されているか。               |                                   | (3) 現代的な課題として、児童が互いの多様性を認め合いながらともに生きる社会について、実感をもって考えることができるような教材が複数取り上げられている。               |  |                            | (3) 2年「オリンピックとパラリンピックのはた」では、いろいろな国の人たちや障害をもった人たちと認め合い、互いに助け合う大切さや、仲良く過ごす喜びを感じることができるよう工夫されている。 |   |     |

| 大観点               | 小観点  | 調査の結果  |  |
|-------------------|--|--|--|
|                   |  | 小観点及び内容の全体的なもの   | 各学年の特記事項   |
| 2<br>程度・選択・取扱について | <p>(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。</p> <p>(2) 問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習の取扱いについて配慮されているか。</p> | <p>(1) 情報モラルについて、発達段階に合わせた情報機器の安全な使い方、日常生活の場面や利用の実態を取り上げ、児童が情報機器とどのように関わっていけばよいか考えられるよう工夫されている。</p> <p>(2) コラム「みんなでやってみよう」、「いろいろなやり方で考えてみよう」では、問題解決的な学習や体験的な学習ができるよう、活動の例が取り上げられている。</p> | <p>(1) 3年「インターネットのじょうほうはかならず正しいの？」では、情報が正しいかどうかを自分で見極める力をつけることの大切さについて取り上げている。</p> <p>(2) 5年「みんなの劇」の「ナイスリターン（思いを伝え合うには）」では、複数の事例を挙げ、様々な立場や場面で役割演技や動作化できるよう工夫されている。</p> |
| 3<br>組織・配列等について   | <p>(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。</p> <p>(2) 他教科等との関連について配慮されているか。</p>                       | <p>(1) 1年は六つ、2～6年は五つの付録教材が設定されており、学校や地域の実態などに即して弾力的に取り扱うことができるよう工夫されている。</p> <p>(2) 巻末の内容項目別教材一覧では、他教科、現代的課題、総合的な学習の時間等との関連が示されている。</p>  | <p>(1) 全学年で四つの視点に対してそれぞれ付録教材を取り上げ、学校や児童の実態に合わせて取り扱うことができるよう配慮されている。</p> <p>(2) 4年「レスキュー隊」では、教材終末の「ひろげよう」の問いを通して、学習内容を社会科や防災教育へ生かすことができるよう配慮されている。</p>                  |

令和6年度使用小学校用教科用図書調査研究資料

| 教科用図書の記号・番号・名称                               |                                   |   |  |                         |   | 種 目  | 道 徳 |
|--|-----------------------------------|---|--|-------------------------|---|--|-----|
| 1 年  | 2 年                               | 3 年   | 4 年  | 5 年                     | 6 年   | 発 行 者 名  |     |
| 道徳 118<br>新版<br>みんなのどうとく1                    | 道徳 218<br>新版<br>みんなのどうとく2         | 道徳 318<br>新版<br>みんなのどうとく3   | 道徳 418<br>新版<br>みんなの道徳4  | 道徳 518<br>新版<br>みんなの道徳5 | 道徳 618<br>新版<br>みんなの道徳6   | 株式会社Gakken   |     |
| 大<br>観<br>点                                  | 小 観 点                             |   | 調 査 の 結 果  |                         |   | 各 学 年 の 特 記 事 項  |     |
|  |                                   |   | 小 観 点 及 び 内 容 の 全 体 的 な も の  |                         |   |  |     |
| 1<br>内<br>容<br>に<br>つ<br>い<br>て              | (1) 学習指導要領に示された目標・内容について配慮されているか。 |   | (1) 小学校学習指導要領の趣旨に即して、内容項目の四つの視点が適切に取り上げられている。  |                         |   | (1) 各学年における視点別教材<br>1年(34) A11 B8 C9 D6<br>2年(35) A12 B8 C9 D6<br>3年(35) A9 B9 C11 D6<br>4年(35) A9 B9 C11 D6<br>5年(35) A9 B8 C10 D8<br>6年(35) A9 B8 C11 D7<br>合計 A59 B50 C61 D39 |     |
|  | A 主として自分自身に関すること                  |   | A [希望と勇気、努力と強い意志]、[個性の伸長]において、児童の興味・関心を引く人物教材を取り上げること、著名な人物の生き方に触れながら、自己を見つめ、考えを深める学びができるよう工夫されている。        |                         |   | A 2年「美宇は、みう」、4年「名人をこす 藤井聡太」、6年「栄光の架橋」では、先人だけでなく現在も活躍する人物が取り上げられている。  |     |
|  | B 主として人との関わりに関すること                |   | B 低・中学年では[親切・思いやり]について、中学年では[友情・信頼]がそれぞれ三つずつの教材が取り上げられるなど重点が置かれており、人との関わり方について子供たちが主体的に考えることができるよう工夫されている。 |                         |   | B 1年「ないちゃった」、3年「ぼかぼか言葉」では、日常の会話をもとに役割演技をし、自分を見つめ深める内容が取り上げられている。   |     |
| C 主として集団や社会との関わりに関すること                       |                                   | C [国際理解、国際親善]の教材を3年から二つに増やすなど、発達の段階に応じて自分と社会との関わりについて、考える範囲を少しずつ広げることができるよう配慮されている。   |  |                         | C 4年「つながっている日本と外国」や6年「世界の子供たちの夢」では、外国の文化に触れることを通じて、自分と社会との繋がりを考えることができるよう工夫されている。     |  |     |
| D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること                 |                                   | D 全学年で[生命の尊さ]について、他の内容項目の教材と組み合わせること、生命についての考えを深めることができるよう工夫されている。  |  |                         | D 1年[生命の尊さ]の「ハムスターの赤ちゃん」、[節度、節制]の「どうしてやめない」といけこないの」を組み合わせることで、多面的・多角的に考えられるよう配慮されている。 |  |     |
| (2) 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるよう配慮されているか。 |                                   | (2) ・ 心のパスポートや学研教科書サイトでは、教材とつなげて考えを深めることができる資料が紹介されている。<br>・ 各資料の最後の「考えよう」では、児童が多面的・多角的に考えることができるような問いが厳選されている。<br>・ 「深めよう」では、発達段階や教材に応じて継続した学びを促す問いが工夫されている。 |  |                         | (2) 4年「道子の赤い自転車」では、きまりやマナーについて継続的な学びができるよう配慮されている。                                    |  |     |
| (3) 多様な題材を教材とすることについて配慮されているか。               |                                   | (3) ・ 現代的な課題として、情報モラルや環境問題について、児童が実感をもって考えることができる教材が取り上げられている。  |  |                         | (3) 5年「アップするの」では、インターネットやSNSなどについて取り上げることで、児童が自分との関わりとして考えることができるよう工夫されている。           |  |     |

| 大観点               | 小観点   | 調査の結果  |  |
|-------------------|---|--|--|
|                   |   | 小観点及び内容の全体的なもの   | 各学年の特記事項   |
| 2<br>程度・選択・取扱について | <p>(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。</p> <p>(2) 問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習の取扱について配慮されているか。</p> | <p>(1) ・ 児童の発達の段階に応じたテーマや人物が取り上げられており、児童が興味・関心をもって取り組むことができるよう工夫されている。</p> <p>・ 視覚的に捉えやすい写真や漫画を配置し、児童が教材の場面の様子を想像しやすくなるよう配慮されている。</p> <p>(2) 問題解決的な学習を「深めよう」として設定することで、児童が物事を自分との関わりとして考えたり、話題を広げたりできるよう配慮されている。また、「心のパスポート」の中に、動作化や役割演技などの体験的な学習を取り入れることで、様々な学び方で考えを深めることができるよう工夫されている。</p>                                   | <p>(1) 低学年では、漫画のキャラクターや写真が取り上げられ、高学年では「内村航平」や「羽生結弦」など著名な人物が教材として取り上げられている。</p> <p>(2) 5年「いじめをなくすために」では、自分だったらどう思うか3つの対場で考える学習活動を取り入れ、様々な考えを引き出せるよう配慮されている。</p>                 |
| 3<br>組織・配列等について   | <p>(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。</p> <p>(2) 他教科等との関連について配慮されているか。</p>                      | <p>(1) ・ 「いのち」、「多様性（みんなで）」、「キャリア（みらいへ）」のテーマについて、内容項目が異なる二つの教材を「ユニット」として扱うことで、現代的課題を自分事として考えられるよう工夫されている。</p> <p>・ 「キャリア（みらいへ）」のユニットを、1～4年は年度当初に扱い1年間への意欲を、高学年は2月後半から3月に扱うことで、進級・進学に向けての意欲をそれぞれ高めることができるよう配慮されている。</p> <p>(2) 巻頭の見開き「つながる私、広がる私」では、現代的な課題を挙げており、教材のタイトル下に現代的課題との関連が示されるなど、他領域等への広がりを視覚的に捉えることができるよう工夫されている。</p> | <p>(1) 6年ユニット教材「未来に向かって」では、二つの教材と心のパスポートを年度末に扱うことで、進学に向けての意欲を高めることができるよう工夫されている。</p> <p>(2) 5年では、「かがやかせよういのち」をテーマにした教材を連続して配列し、関連した「心のパスポート」を設けることで、命、家庭、いじめに繋がるよう配慮されている。</p> |